

平成 28 年

農林水産業気象災害年報

令和 2 年 3 月

岩 手 県

目 次

I 気象の概況

1	年間の気象概況	1
2	旬別の気象概況	1
3	主な気象データ	4

II 農林水産物の生育状況

1	水稻	7
2	畑作物（小麦、大豆）	9
3	野菜（きゅうり、トマト、ピーマン、ほうれんそう、ねぎ、 キャベツ、レタス、だいこん）	11
4	花き（りんどう、小ぎく）	12
5	果樹（りんご、ぶどう）	13
6	飼料作物（牧草、とうもろこし）	15
7	特用林産物（乾しいたけ、まつたけ）	16
8	水産物（養殖わかめ、養殖こんぶ、養殖ほたてがい、養殖かき）	16

III 農林水産業気象災害の発生状況

1	1月18日から21日の暴風雪・波浪災害	17
2	2月14日の強風災害	21
3	4月17日の強風災害	23
4	5月4日・5日及び8日の強風災害	25
5	6月20日の落雷・波浪災害	28
6	6月20日の竜巻災害	28
7	7月3日の強風災害	30
8	8月2日から3日の大雨災害	31
9	8月9日の台風第5号災害	34
10	8月17日の台風第7号災害	36
11	8月19日の大雨災害	39
12	8月21日の台風第11号、及び8月22日から23日の台風第9号災害	41
13	8月26日の大雨災害	45
14	8月30日の台風第10号災害	47
15	9月8日から9日の大雨災害	52
16	10月20日から21日の強風災害	55
17	11月22日の地震・津波災害	57
18	11月25日の低温災害	58
19	12月2日の強風災害	60

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1	1月18日から21日の暴風雪・波浪災害	62
2	8月17日の台風第7号災害	62
3	8月30日の台風第10号災害	63

V 参考資料

1	農林水産部災害対策実施マニュアル	65
2	農作物等気象災害防止対策本部設置要綱	82
3	農業共済事業の種類と仕組み	86
4	漁業共済事業の種類と仕組み	88
5	森林災害復旧造林事業と被害森林整備事業の概要	91
6	森林保険の制度と仕組み	92
7	農作物災害対策要綱	93
8	農作物災害復旧対策事業の実施状況	94
9	平成元年以降における農林水産業気象災害	97

I 気象の概況

1 年間の気象概況

【天候の特徴】

- ・ 1～3月：高温
- ・ 4月、5月、7月：高温、少雨
- ・ 8月、9月：台風等による大雨
- ・ 10月：多照
- ・ 11月：低温、少雨

1月から3月にかけては、冬型の気圧配置の影響が弱く、平均気温は高めに推移した。特に、3月は高気圧に覆われ晴れた日が多く、平均気温は高く、日照時間は多く、降水量は少なかった。

4月から5月にかけては、引き続き平均気温は高めに推移した。

6月は、低気圧や気圧の谷及び前線の影響により、曇りや雨の日が多く、平均気温は平年並から高く、降水量は平年並から多かった。

7月は、天気が大きく崩れることはなく、降水量は少なかった。

8月、9月は台風の影響により大雨となった日があった。

10月は、高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間はかなり多かった。

11月は、天気は周期的に変化し、平均気温は全般に低く、降水量は少なかった。

12月は、冬型の気圧配置が長く続かず、平均気温は全般に高く、日照時間は多かった。

2 旬別の気象概況 ※岩手県の天候のまとめ（盛岡地方気象台作成）より抜粋

〈1月〉：降雪量が少ない

上旬：冬型の気圧配置の影響で曇りや雪の日が多かった。

中旬：冬型の気圧配置の影響は弱く晴れの日が多かった。18日から20日にかけて発達した低気圧の影響で県内は大荒れとなった。

下旬：冬型の気圧配置の影響は弱く内陸では晴れの日が多かった。23日から24日にかけてと29日から31日にかけて、低気圧が本州の南岸を通過したため沿岸南部では雪や雨となった。

〈2月〉：月平均気温が高い

上旬：冬型の気圧配置となることが多かったが、冬型の気圧配置の影響は弱く晴れの日が多かった。

中旬：低気圧の接近や気圧の谷の影響で雪や雨の日が多かった。14日と20日は低気圧の接近により暖かい南よりの風が流れ込んだため気温が上がった。

下旬：天気は周期的に変わり晴れや曇りの日が多かった。27日は低気圧の影響により県内は大雪となった所もあった。

〈3月〉：高温、少雨、日照時間が多い

上旬：期間の前半は移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。3日は低気圧の影響により内陸では大雪となったところもあった。

中旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

下旬：期間の前半は気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多かった。後半は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

〈4月〉：月平均気温が高い、月降水量が多い

上旬：天気は周期的に変化し、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日もあった。

中旬：天気は周期的に変化し、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨または雪の日もあった。17日は、前線を伴う低気圧が急速に発達しながら日本海を東北東に進んだ影響により、強風となった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多かった。

〈5月〉：月平均気温がかなり高い、月日照時間がかなり多い

上旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線及び気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や前線の影響により曇りや雨の日もあった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線の影響により曇りや雨の日もあった。

〈6月〉：中旬、下旬の寡照、20日の竜巻

上旬：天気は周期的に変化し、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日もあった。

中旬：低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多かった。20日の岩手県内は気圧の谷や北日本の上空約5500メートルに流れ込んだ氷点下12度以下の寒気の影響により大気の状態が非常に不安定となり、所々で積乱雲が発達した。このため、奥州市水沢区佐倉河において、発達した積乱雲の通過に伴い突風が発生し、樹木の幹折れやプレハブ小屋の転倒などの被害が発生した。

下旬：低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が多く、23日は大雨となった。

〈7月〉：少雨

上旬：低気圧や気圧の谷及び前線の影響により曇りや雨の日が多かった。

中旬：低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が多かったが、期間の初めと終わりには高気圧の影響により晴れた日もあった。

下旬：前半は湿った東よりの風、後半は低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多かったが、高気圧の影響により晴れた日もあった。

〈8月〉：3つの台風等による大雨

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、気圧の谷や台風第5号の影響で曇りや雨の日もあった。特に、2日は気圧の谷や寒気の影響で内陸は大雨となった。

中旬：前半は高気圧に覆われて晴れたが、後半は台風第7号や気圧の谷等の影響で曇りや雨の日が多かった。17日は台風第7号の影響で大雨となった。

下旬：台風や前線の影響で曇りや雨の日が多く、22日から23日にかけては台風第9号、26日は前線、30日は台風第10号の影響で大雨となった。特に台風第10号では、沿岸を中心に記録的な大雨や暴風となった。

〈9月〉：高温、寡照

上旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。特に、8日から9日にかけては台風第13号から変わった温帯低気圧が三陸沖を北上した影響で沿岸を中心に大雨となった。

中旬：低気圧や前線等の影響で曇りや雨の日が多かった。

下旬：低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。旬平均気温はかなり高かった。

<10月>：日照時間が多い

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

<11月>：低温、少雨

上旬：高気圧と低気圧が交互に日本付近を通過し、天気が周期的に変化した。

中旬：高気圧と低気圧が交互に日本付近を通過し、天気が周期的に変化した。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、後半を中心に低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雪または雨の日が多かった。

<12月>：高温、日照時間が多い

上旬：天気が周期的に変化し、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置等の影響により曇りや雨または雪の日もあった。

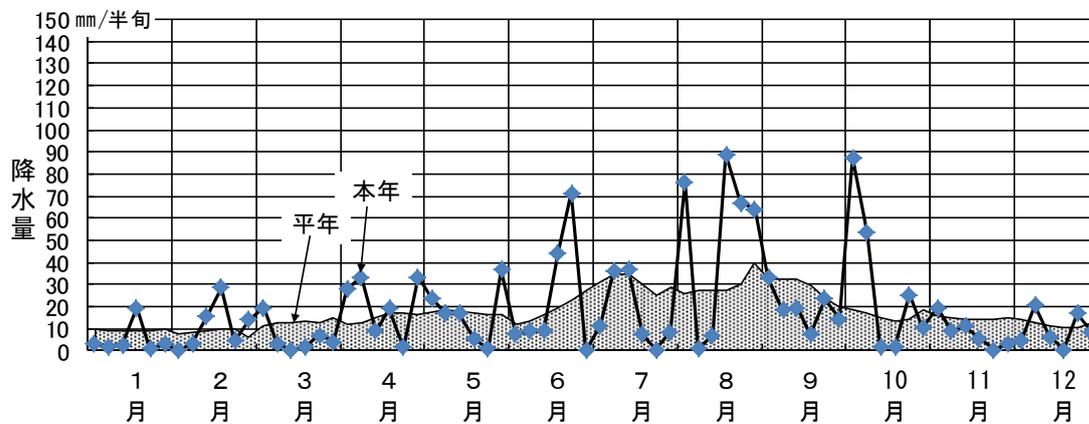
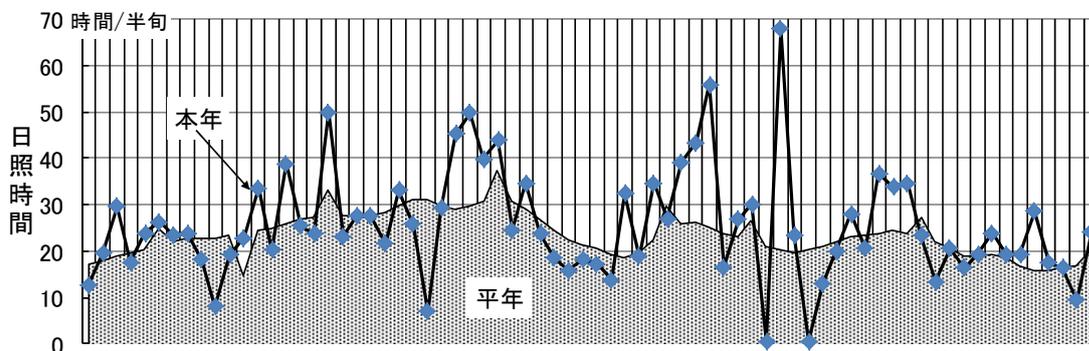
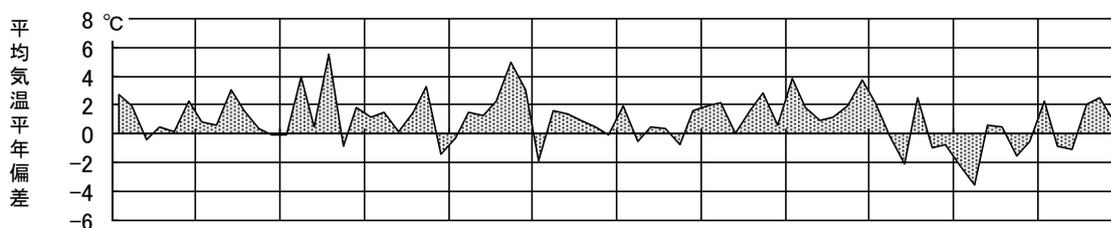
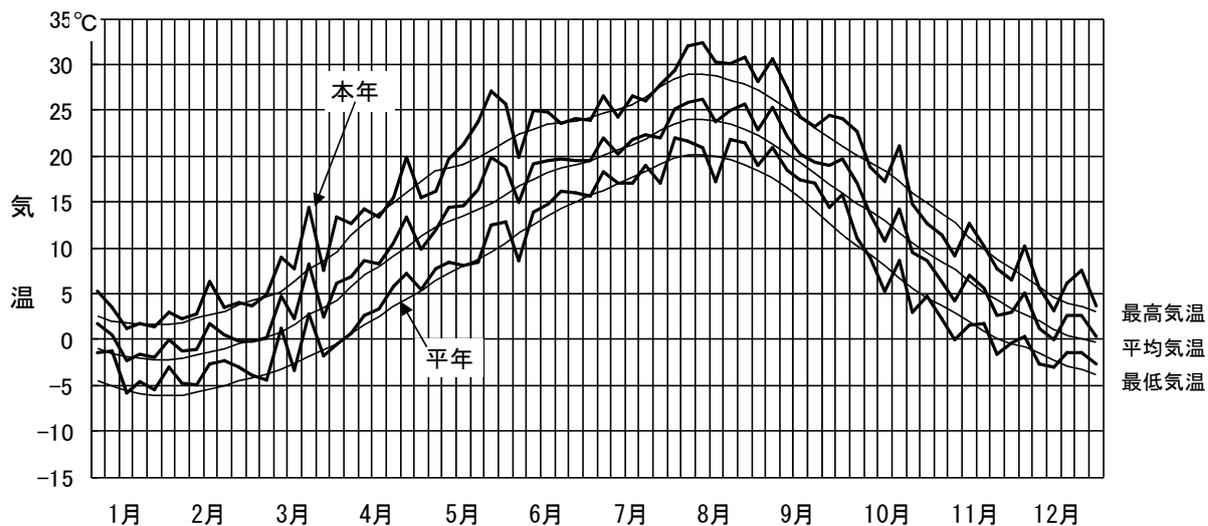
中旬：天気が周期的に変化し、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中頃は低気圧や冬型の気圧配置等の影響により曇りや雪または雨の日があった。

下旬：天気が周期的に変化し、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置等の影響により曇りや雪または雨の日もあった。

3 主な気象データ

(1) 盛岡における気温、降水量、日照時間

2016年の気象経過[旬別：盛岡地方気象台]



(2) 終霜

気象官署	月 日	平 年	昨 年
盛岡	4月25日	5月3日	4月22日

(3) 梅雨入り、梅雨明け（東北北部）

	月 日	平 年 (平年差)	昨 年 (昨年差)
梅雨入り	6月13日頃	6月14日頃 (1日早い)	6月26日頃 (13日早い)
梅雨明け	7月29日頃	7月28日頃 (1日遅い)	7月29日頃 (同じ)

(4) 気象官署（盛岡、宮古、大船渡）における記録更新（第5位まで）

ア 月平均気温

気象官署	月	記録 (°C)	備 考
大船渡	3	5.7	高い方から3位
盛岡	3	4.1	高い方から3位
宮古	3	5.4	高い方から2位
盛岡	5	16.1	高い方から2位
宮古	5	15.2	高い方から3位
大船渡	5	15.6	高い方から2位
盛岡	9	20.9	高い方から2位
大船渡	9	21.2	高い方から4位

イ 日最高気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	2月13日	17.5	高い方から3位
大船渡	2月14日	17.1	高い方から4位
宮古	2月14日	19.8	高い方から3位
盛岡	3月18日	20.1	高い方から2位
盛岡	5月22日	31.8	高い方から4位

ウ 日最低気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	2月14日	7.4	高い方から2位
宮古	2月14日	7.4	高い方から2位
大船渡	3月19日	10.0	高い方から1位
盛岡	5月26日	17.8	高い方から2位
大船渡	5月26日	16.5	高い方から5位

エ 月間日照時間

気象官署	月	記録 (時間)	備考
宮古	10	197.2	多い方から 5 位
大船渡	10	185.6	多い方から 3 位

オ 月間降水量

気象官署	月	記録 (mm)	備考
大船渡	6	313.0	多い方から 4 位
宮古	8	453.0	多い方から 4 位
大船渡	8	408.0	多い方から 4 位

カ 日降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備考
大船渡	1 月 18 日	81.0	多い方から 4 位
宮古	8 月 30 日	130.5	多い方から 3 位
大船渡	8 月 17 日	148.0	多い方から 4 位
宮古	9 月 8 日	193.5	多い方から 4 位

キ 日最大 1 時間降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備考
盛岡	8 月 2 日	62.5	多い方から 2 位
宮古	8 月 30 日	80.0	多い方から 1 位 (通年の極値更新)
宮古	9 月 9 日	49.0	多い方から 2 位

ク 降雪の深さの月合計 (降雪量)

気象官署	月	記録 (cm)	備考
—	—	—	—

ケ 降雪の深さの日合計 (降雪量)

気象官署	月 日	記録 (cm)	備考
盛岡	2 月 27 日	29	多い方から 4 位

II 農林水産物の生育状況

1 水稻（作況指数は「102」、うるち米1等米比率は97.7%）

水稻の移植後、良好な気象条件で経過し、活着期～分けつ初期の生育は旺盛であった。梅雨入り後、生育はやや停滞し茎数も平年に比べて少なく、平年より2～3日程度遅れた。幼穂形成期も平年よりやや遅れたが、減数分裂期は平年並となり、出穂盛期は8月6日と平年より1日早まった。7月第2半旬と第5半旬には低温となったが、梅雨明けとともに気温が高くなった。

登熟初期は高温多照で経過したが、玄米品質の低下が懸念されるほどではなかった。初期登熟は良好であり、沈下籾数歩合は平年を大きく上回った。

8月第4半旬以降、沿岸地域の農地に甚大な被害をもたらした台風第10号をはじめ台風被害が頻発した。9月中旬以降は台風や前線の影響により、日照時間は平年より少なかったが、気温は平年より高く経過し、成熟期は平年並となった。

本年は、6月下旬から生育が遅れ、茎数が少なかったことから県全体で穂数が平年よりやや少なく、一穂籾数も平年よりやや下回ったことから、 m^2 当たり籾数は平年をやや下回った。また、玄米千粒重は平年並であったが、登熟歩合は平年を上回った。粒厚は平年よりやや小粒割合が高くなった。

いもち病発生（穂いもち）は、8月上旬にほとんど降雨がなかったため、県全体では少なかった。地域別にみると、遠野地域の発生ほ場率が平年より高く、東磐井、宮古、気仙地域は平年並であり、地域間差が見られた。

障害不稔や病害による減収要因がなかったことから、本県の作況指数は「102」（やや良、10aあたり収量540kg/10a）となった。

うるち米の1等米比率は97.7%（平成28年12月31日現在）となり、全国第1位であった。もち米の1等米比率は91.7%（平成28年12月31日現在）で全国第2位であった。

主な落等理由は、着色粒（カメムシ類）、形質（その他）及び異種穀粒であった。また、品種別の1等米比率は、「ひとめぼれ」が97.7%、県オリジナル水稻新品種「銀河のしずく」は99.9%であった。その他、平成26年度から検査対象となった飼料用もみは3,126トン、飼料用玄米は18,905トンとなっている。

(1) 播種期・育苗期（播種盛期は平年並の4月15日、苗質は平年よりやや劣る）

播種作業はおおむね平年並の4月9日に始まり、県全体の播種盛期（50%終了）も平年並（4月15日）であった。

4月の月平均気温は平年より高かったが、気温の変化が大きく第6半旬は平年を大きく下回った。育苗期の病害発生は全般に少なく、苗の草丈は平年よりやや短く、充実度（風乾重/草丈）は平年をやや下回った。

(2) 移植期～活着期（移植盛期は平年より1日早い5月16日、活着は概ね良好）

5月はおおむね気温が平年を上回って経過し、ほ場の準備作業は順調に行われた。県全体の移植盛期は5月16日と平年より1日早かった。移植終期（90%終了）は5月24日と平年並であり、適期内に田植え作業が終わった。

移植期は気温が高く、良好な気象条件で経過し、活着は概ね良好であった。

(3) 分けつ期（生育は平年より2～3日遅れた）

気温は6月第1半旬に平年を大きく下回ったが、その後は平年並～上回って経過した。東北北部が6月13日頃に梅雨入り（平年より1日早い）して以降、日照時間は平年より少なく、降水量は第4半旬から第5半旬にかけて平年より多かった。

各農業改良普及センターが実施した一斉生育調査では、6月15日は草丈が平年よりやや短く、茎数はやや多く、葉数は平年並であった。しかし、6月25日調査では草丈がやや短く、茎数・葉数はやや少なく、生育は平年より2～3日程度遅れていた。葉色の目安であるSPAD値は平年並であった。

(4) 本田生育期の土壌と稲体栄養（地上部乾物重 やや劣る・窒素吸収量 やや劣る）

6月25日調査以降、葉色が低下傾向であったこと、乾土効果による土壌中の窒素発現が期

待できないと判断されたこと等から、「ひとめぼれ」、「銀河のしずく」、「あきたこまち」、「いわてっこ」は基準量N 2 kg/10aを上限に、「どんぴしゃり」はN 2 kg/10aの追肥を基本として、幼穂形成期の追肥指導を行った。

(5) 幼穂形成期～出穂期（出穂盛期は平年並の8月6日）

7月の平均気温は平年並であったが、第2半旬、第5半旬に北部と沿岸部が最低気温17℃以下、平均気温も20℃を下回る低温となった。

幼穂形成期は平年よりもやや遅れ、全県平均で7月13日（平年差+2日）であった。東部、北部はほぼ平年並であったが、北上川流域でやや遅れた。減数分裂期は全県平均で7月26日（平年差+1日）とほぼ平年並であった。7月中旬以降の低温の影響で北部は平年よりもやや遅れたが、北上川下流域はほぼ平年並となった。

一部地域で障害不稔の発生が懸念されたが、幼穂形成期や減数分裂期が遅れ、危険なステージを回避したと推定される。なお、東北北部の梅雨明けは、平年より1日遅い7月29日頃（梅雨期間は46日間）であった。

県全体の出穂盛期は8月6日と、平年より1日早く、出穂期間は全般に良好な気象経過であったことから出穂・開花は良好であった。

(6) 登熟期～成熟期（登熟歩合は平年並）

本年は出穂が平年並、登熟初期は高温多照で経過した。9月1日に各普及センターで行った一斉調査では、全県平均で沈下粳数歩合が92.8%（平年87.4%）と高かった。本年は、乳白や心白などの白未熟の発生による玄米品質の低下が懸念されるような高温条件とはならなかった。

8月第4半旬以降、台風10号をはじめ相次いで台風が通過および上陸し、沿岸地域の農地に甚大な被害を与えた。9月中旬以降は台風や前線の影響により、日照時間は平年より少なかったが、気温は平年より高く経過し、成熟期は平年並となった。

水稻生育診断ほにおける成熟期は、平年並の9月17日であった。

(7) 刈取期（刈取盛期は平年より1日遅い10月5日）

県内水稻の刈取盛期は10月5日と平年並（平年差+1日）となった。しかし、刈取終期は降雨などにより平年よりも4日遅くなった。

(8) 収量および収量構成要素（作況指数102）

収量は平年並であり、屑米重は平年より少なかった。

穂数は平年を下回り、一穂粳数も平年よりやや下回ったことから、㎡当たり粳数は平年をやや下回った。地域別に見ると、㎡当たり粳数は北上川流域が平年を下回り、北部は平年並、沿岸部では平年を上回った。

登熟歩合は平年を上回ったが、玄米千粒重は平年並であった。

粒厚分布は、2.1mm以上の粒厚の厚いランクが平年を下回り、1.9mm～2.1mmの粒厚の玄米が平年より多く、やや小粒方向にシフトした。

(9) 品質（1等米比率97.7%と全国第1位。落等原因トップは斑点米カメムシ）

品質では、うるち米の1等米比率が97.7%（平成28年12月31日現在）と全国第1位（全国第2位は長野県97.2%、第3位は山形県95.0%）であった。

もち米の1等米比率は91.7%（平成28年12月31日現在）と全国第2位（全国第1位は北海道93.6%）であった。

2等以下に格付けされた主な理由は、「着色粒（カメムシ類）」が61.2%（総検査数量に占める割合1.4%）、「形質（その他）」が8.5%（同0.2%）、「異種穀粒」が8.1%（同0.2%）であった。また、品種別の1等米比率は、「ひとめぼれ」が97.7%、「あきたこまち」が98.4%、「どんぴしゃり」が99.0%、「いわてっこ」が95.2%、「銀河のしずく」は99.9%であった。（うるち米、平成28年12月31日現在、東北農政局）

その他、平成26年度から検査対象となった飼料用もみは3,126トン、飼料用玄米は18,905トンとなっている。なお、検査結果はまだ公表されていない。

(10) 病害虫の発生（葉いもち・穂いもち 少、紋枯病 多、斑点米カメムシ類 並（斑点米 並））

葉いもちの発生は、県全体では平年より少なかった。これは、県南部では7月後半の降水量が少なく、感染好適条件がほとんど出現しなかったためである。一方、沿岸部では感染好適条件が繰り返し出現したが、平年並みの発生であった。

穂いもちの発生は、8月上旬にほとんど降雨がなかったため、県全体では少なかった。地域別にみると、遠野地域の発生ほ場率が平年より高く、東磐井、宮古、気仙地域は平年並であり、地域間差が見られた。

紋枯病の発生は、7月上旬に平均気温22℃（稲体への進入可能温度）を超える日が出現したことから、早期感染及び水平進展が進み、7月下旬にかけて広く発生が見られた。7月下旬の少雨により水平進展が抑制されたが、8月中旬から9月上旬の高温多雨により、発生は多くなった。収穫期の発生ほ場率は、過去10年間で最も高かった昨年並に高く、発生程度も止葉まで枯れ上がるほ場が散見されるなど、平年より高かった。

斑点米カメムシ類の発生は、越冬世代の発生時期は早まり、第一世代、第二世代は平年並であった。発生ほ場率は6月中旬～8月上旬までは平年並～やや高く推移したが、8月下旬で平年並となり、9月中旬は低くなった。斑点米カメムシの種類は主にアカスジカスミカメであり、アカヒゲホソミドリカスミカメの発生は少なかった。

斑点米の発生は、割れ粳率が平年並であったこと、薬剤散布、畦畔管理が例年並に徹底されたことなどから、平年並となった。

2 畑作物

(1) 小麦

ア 28年産小麦（27年播種）

【播種～初期生育】 県南の一部で播種遅れが生じたが、播種作業は概ね平年並の時期に実施される。出芽および出芽後の生育も概ね平年並に推移するが、晩播および水稲跡圃場では湿害等が散見される。播種の早い麦の一部がやや生育過剰気味。

【越冬後の生育】・根雪期間が平年よりかなり短かく、雪腐病の発生は少ない。生育ステージは平年より早く、主産地では融雪期追肥が概ね適期に実施される。縞萎縮病の発生は平年よりやや多い。

【茎立～出穂・開花】 4月上・下旬を中心に多雨・日照不足傾向が生じ、茎立期以降やや湿害傾向が各地で散見される。4月から5月上旬にかけて平均気温が平年を上回ったため、全体に平年より生育ステージは平年に比べ5～7日程度早まる。

【生育・登熟状況】 出穂・開花期は平年より5日程度早まる。穂数は平年より多く確保されており、全体に生育は良好である。麦の収穫は平年より5日程度早まる見込み。

【刈取り状況】 ・収穫作業は6月22日頃から県中部より始まり、27日以降本格化する。千粒重がやや小さい傾向が見られるが、品質は概ね良好。

【成熟期調査結果】（生育診断圃を中心とした）

- ・出穂 ナンブコムギ・ゆきちからとも5日程度早い。
- ・成熟 ナンブコムギ・ゆきちからとも5日程度早い。
- ・稈長 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年並～長い。
- ・穂長 ナンブコムギやや短め・ゆきちからやや長い。
- ・穂数 ナンブコムギ・ゆきちからとも1～2割程度多。

【収穫量及び検査結果】 農林水産省発表による県平均収量は10a当たり平均収量対比122の214kg/10aとなった（27年産178kg/10a・対比100、26年産165kg/10a・対比93）。

28年産の麦類の検査結果（28年12月末現在）は、検査数量が8,144t（27年産7,080t・26年産6,102t）、一等比率が91.6%（27年産95.5%、26年産・確定値88.1%）となった。

【病害の発生】（病害虫防除所調査結果より）

- ・雪腐病：発生はほとんど見られなかった。
- ・縞萎縮病、萎縮病：発生ほ場率、発生程度とも平年より高かった。
- ・赤かび病：6月上～中旬の巡回調査では、発生ほ場率は平年より高かった。ただし、発生程度中以上（発病率40%以上）のほ場は確認されなかった。品種別では、ゆきちからの発生割合が高かった。

イ 29年産麦（28年播種）

降雨等により稲刈が遅れた影響で播種が遅れた地域も一部生じたが、播種は県南部等を中心に9月下旬頃より始まり、全体的には概ね平年並の時期に行われた。播種後も土壌が湿潤な状態が続きやや湿害傾向が見られた。

28年から29年にかけて根雪期間が短いものの、鳥害や凍上害が散見される。

(2) 大豆

【播種～出芽期】 播種は概ね適期に実施され、出芽も概ね良好であった。しかし6月中旬以降降雨が続き、播種が遅れたものについては出芽不良・湿害等がみられた。

【子葉展開期～本葉展開期】 6月中旬～7月上旬にかけて県全域で湿害が生じ、生育停滞や葉の黄化が広く見られた。7月中旬以降は平年より降水量は少なく生育は回復。

【開花期】 開花期は全体的に見るとやや遅い。7月中旬以降、日照や平均気温が平年を上回る状態が続き、開花期以降生育は旺盛になる。

【莢伸長期～莢肥大期】 8月中～下旬にかけて台風7・9・10号が次々と襲来。豪雨と強風により湿害、倒伏、落葉、土砂流入などの被害が生じる。

登熟は日照・気温とも平年を上回り順調。台風通過後、茎葉の擦過傷からの病原菌侵入によりべと病・葉焼病・斑点細菌病などの発生が目立つ。

【黄変期～成熟期】 登熟期の気温が高く、落葉はやや遅め。黄化や落葉が平年よりやや遅れ、また土壌水分が高い状態が続いたが、10月中旬以降成熟期を迎え、刈取りが県中～県南部から10/20頃より始まる。全体にやや小粒傾向で、汚損粒の発生がやや目立つ。

【諸障害の発生状況】

- 1 出芽不良・湿害：出芽不良及び初期の湿害は、6月中旬～7月上旬を中心に発生。8月中旬以降は台風等による豪雨で葉の黄化等の湿害が広く発生。
- 2 べと病：8月中旬以降雨量が多く、このため湿度の高い状況が続き県全域で広く発生。
- 3 茎疫病：8月中旬以降、昨年ほど発生は目立たないが、排水不良あるいは連作ほ場で散見。
- 4 黒根腐病：8月中下旬以降、発生程度は大きくないが、広く全県で発生が見られる。
- 5 ウイルス病：8月上旬以降発生が報告される。ほ場周辺のモザイク状症状やや目立つ。
- 6 葉焼病・斑点細菌病：8月下旬以降、台風等による強風により茎葉に生じた傷害から感染したと推測され、全県で広く発生が見られる。べと病が当初観察されたほ場も次第に葉焼病・斑点細菌病が目立つようになる。
- 7 ダイズシストセンチュウ：軽米町のコスズ、シュウリュウほ場で発生が確認される。大豆連作圃場(特に畑地)では潜在的に発生していると推測される。
- 8 台風による浸冠水・土砂流入：沿岸部、内陸東南部を中心に大きな被害が生じる。
- 9 雑草害：播種時の土壌処理剤は適度な土壌水分があったことにより、播種時の干ばつが問題となった昨年・一昨年と異なり、全体に効果が現れたほ場が多い。昨年発生が多くみられたイチビは減少したものの、帰化アサガオ類、アレチウリといった難防除雑草と、バサグランの効果が劣るシロザ、エノキグサの発生が目立った。

【収量及び品質】 平成29年2月27日現在の10aあたり収量は、県全体で132kg/10a、平均収量対比は109となった(27年産153kg/10a、26年産136kg/10a)。

平成29年1月31日現在の28年産岩手県産普通大豆の一等比率は48.4%であった(27年産53.8%、26年産33.2%)。

3 野菜

(1) きゅうり

露地普通作型では、定植後7月まで低温や降雨等により生育が遅れたが、8月は上旬より収穫量が急増し下旬まで出荷ピークが続いた。一方、8月中旬以降の台風の影響があった地域では、風雨により果実の擦れや傷、茎葉の損傷等の被害が発生した。その後、9月上旬までは気温が高めとなり順調出荷となったが、中旬以降は収穫終了となるほ場が多かった。

病害虫では早期からべと病や斑点細菌病、モザイク病が多く見られた。また、アブラムシ類の発生もやや多かった。キュウリホモブシス根腐病については、6月が低温となり感染に好適な条件となったことから発生ほ場面積は昨年よりも増加したが、土壌消毒等の対策技術の実践により、被害程度の大きなほ場の面積や割合は昨年よりも減少した。

また、8月は他県産よりフケ果が多く発生し、問題となった。市場到着2～3日後の発生が多かったことが特徴的であった。

収量は前年比94.1%、全体出荷量も93.3%といずれも昨年を下回った。

(2) トマト

雨よけ作型の定植後は概ね順調な生育となったが、6～7月の低温や曇天等により生育・着色が遅れた。しかし、梅雨明け以降は生育が回復し8月上旬に出荷ピークを迎え、その後も9月上旬まで順調な収穫が続いた。9月中旬以降は本県産も夜温低下により減少、収穫終了となった。

病害虫では、生育初期から灰色かび病の発生が広く見られ、7月以降からうどんこ病の発生も多くなった。また、アザミウマ類やアブラムシ類、コナジラミ類の発生も早くから確認され、6月以降はアザミウマ類の多発による白ぶくれ果の発生が見られた。土壌病害では、高温期を中心に青枯病、かいよう病の発生が見られた。

生理障害果では、梅雨時期に軟果、あみ果、すじ腐れ果、お盆以降に裂果が多く発生した。

収量は前年比108.4%、全体出荷量102.1%といずれも昨年を上回った。

(3) ピーマン

4月以降は平均気温が高く、施設作型では生育が促進された。適度な降雨があり露地作型では定植作業が順調に行われたが、強風による枝の折損が一部で発生した。6月から出荷開始となったが、曇雨天や夜温低下により生育が停滞し、7月まで出荷量が低迷した。梅雨明け以降は天候が回復し出荷量も増加したが、露地作型では着果負担の増加により草勢が回復しないほ場も目立った。8月には度重なる台風の通過により、果実品質の低下がみられた。9月に入ると赤果やひび割れ果の発生が増加した。

病害虫は、6月以降灰色かび病やアブラムシ、アザミウマ類の発生が増加し、タバコガは7月以降継続的に発生が確認された。8月以降、斑点病の発生が増加傾向となり、9月に入ると草勢の低下とともに多発ほ場が見られた。土壌伝染性ウイルスPMMoVの抵抗性打破系統の発生が確認された。

収量は前年比98%であったが、面積増加により全体出荷量は前年比104%となった。

(4) ほうれんそう

融雪が早く春先のほ場準備や播種作業は比較的順調に進んだが、5月上旬までの低温・乾燥等による生育停滞が見られた。一部地域では、4～5月に強風による施設等の被害が発生した。6月中旬の梅雨入り以降、湿害や、日照不足による軟弱徒長や抽台が、7月下旬以降は高温による生育停滞、しおれ等の発生が見られたが、夏期出荷量は概ね前年並となった。8月下旬の台風第10号に伴う豪雨により施設の被害や湿害等が発生し、その後の出荷量が減少した地域があった。9月以降、概ね順調な生育となったが、10月以降は天候不順により軟弱株が散見された。

病害虫は萎凋病が7月中旬以降発生し、アブラムシ類は5～10月、アザミウマ類は5～8月を中心に発生した。ケナガコナダニ類は4月から継続して発生したが、被害は比較的少なくて推移した。

生食用露地ほうれんそうは、春どり栽培は概ね順調な生育となったが、秋どり栽培は8月の大雨により生育初期に被害を受け、収穫に至らないものも多かった。

(5) ねぎ

定植は順調に行われ、適度な降雨もあり生育は概ね順調に推移したが、梅雨時期や8月頃など降雨が続く時期には、土寄せ・追肥作業が遅れる傾向にあった。また、梅雨明け以降、高温乾燥等による葉先枯れや、8月下旬の台風の影響による折れや倒伏が発生した地域があったが、生育は概ね平年並に推移した。

病害では6月以降、降雨で防除が遅れ気味になる中、べと病が広く発生する傾向にあり、また、小菌核病、葉枯病、黒斑病、さび病、軟腐病等の発生が見られた。萎凋病は、7月下旬より発生が確認されたが、例年と比較して少発生であった。虫害ではアザミウマ類、ネギコガ、オオタバコガ等の発生が見られた。

(6) キャベツ

高冷地キャベツのほ場準備は順調に進み、平年並の4月中旬から定植が始まった。4月末からの霜や低温の影響による生育のばらつきや、降雨による定植の遅れも見られたが、平年並の6月下旬から出荷開始となった。7～8月は適度な降雨もあり生育は良好で、肥大が早く大玉傾向で推移した。9月以降は降雨や日照不足から生育が悪くなり、下葉からの腐敗等も見られた。

病害は、べと病、株腐病、軟腐病、根こぶ病、根朽病の発生が見られた。虫害は、8月以降、コナガ、アオムシ、タマナギンウワバ等の被害が急増した。

(7) レタス

平場の春レタスは、平年よりやや早い3月中旬から定植開始となり、概ね順調に生育し、出荷時期は平年よりやや早まった。

高冷地レタスの定植は、平年並の4月中旬から開始されたが、5月の降雨による定植遅れも見られた。生育は概ね平年並みで6月から本格的な出荷が始まったが、途中、変形球等の発生や、連続した降雨による生育停滞等が見られ、一時回復したものの、8月以降は細菌性病害が多く発生して出荷量にも影響する傾向にあり、10月前半で収穫終了となった。

病害は、7月以降、べと病や軟腐病、腐敗病、斑点細菌病等が多く発生した。その他、灰色かび病、菌核病、すそ枯病等が見られた。虫害は、アブラムシ類、アザミウマ類、オオタバコガ等の発生が見られた。

4 花き

(1) りんどう

ア 生育期

萌芽・展葉期は平年より1週間程度早い地域が多かった。6月までは降雨量は平年並だったが、7月は小雨傾向が続いた。気温は平年より高めに推移したため、生育は進んだところが多かった。草丈は平年並からやや進んだ生育となり、また、側芽発生期も早かった。

イ 開花期

気温が高めに推移したため全般的に開花が前進化した。地域差はあるが、早生種は概ね8月上旬には開花終期となった。昨年見られた一部の品種での高温による花卉の着色不良や開花遅延などの障害の発生がみられなかった。

一方で晩生種も早生種と同様に平年より開花が早く、9月上～中旬に開花盛期となった。また、極晩生種については平年並～やや遅い開花となった。

ウ 病害虫

主要病害である葉枯病、黒斑病、花腐菌核病は全般的に少ない発生となった。

害虫ではハダニ類が6月以降発生が増え始め、9月頃まで発生が続いたが昨年ほどの発生量とならなかった。リンドウホソハマキの発生時期は平年並で、発生量は期間を通して特に多いことはなかった。また、秋期の発生程度も平年並であった。

(2) 小ぎく

ア 育苗・定植期

8月咲品種は、降雨によりほ場準備が遅れたところもあったが、平年並の4月下旬から5月上旬に定植された。定植後の生育は、概ね順調であった。

一方、9月咲品種は、平年並の5月下旬から6月上旬に定植となり、適雨条件下で生育は順調に推移した。

イ 生育期・開花期

8月咲品種は生育は順調に進み、草丈は概ね確保された。開花期は、県北部でやや遅いところもあったが、ほぼ需要期での開花となった。

9月咲品種も概ね順調な生育であった。開花はやや早かった地域もあるが、概ね彼岸需要期の開花となった。

ウ 病害虫

主要病害では、白さび病が親株や育苗時からみられ、定植後も発生が続いた地域が多かった。また、べと病も県内各地で散見された。

害虫ではアブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類の発生がみられた。オオタバコガは7月以降、県内各地で発生が確認されたが、全体的に発生は少ない傾向にあった。また、一部でキクヒメタマバエの被害が発生した。

5 果 樹

(1) りんご

ア 花芽の状況

平成28年産りんごの花芽の状況は、花芽率を県平均で見ると「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」ともほぼ平年並となった。一方、それぞれの品種で平年以下の地点もあり、地域的なバラツキもみられた。また、弱小花芽率は、「つがる」は平年より高く、「ジョナゴールド」、「ふじ」はほぼ平年並となった。花芽率同様、それぞれの品種で平年より高い地域があり、バラツキが大きい傾向がみられた。

近年、生育期の高温が顕著であり、平成27年も春先から8月中旬まで気温の高い状態が続き、4～7月の期間、干ばつ傾向にあり、花芽率低下が懸念されたが、花芽形成期である6～8月の日照時間が多めで推移したことにより、花芽率は概ね平年並になったと推察される。また、一部地域で花芽率の低くなったり弱小花芽率が高くなったのは、近年の春先の土壤乾燥等により樹勢が低下していることに加えて、平成27年7月までの少雨等でさらに樹が衰弱し、花芽が十分に形成されなかったためと考えられる。

イ 発芽～展葉期

2～3月の気温が高く推移したため、発芽は平年より4～11日早くなった。展葉は県北部でやや生育の停滞がみられたものの、平年並より4～10日早く推移した。

ウ 開花期および結実の状況

4月下旬まで高い気温となったため、花巻以南の平場では昨年同様に開花は1週間ほど早くなったが、それ以降、気温が若干低めで推移したため、他の地域では平年より2～4日早い開花となった。

開花が始まってから、気温が低めとなり降雨日も多かったため、結実率の低下が心配されたが、収量の確保に影響する結実率とはならなかった。ただし、天候不良の影響で訪花昆虫の活動が鈍くなり、中心果の結実が全般的に劣った。結実が低下した要因として、4月12日及び25日の低温(降霜等)、花芽不良、開花期間中の天候不良が考えられた。また、果実の変形やサビ果が多く発生し、収量に影響した地域がみられた。

エ 果実肥大

県下全般に開花が早かったため、6月1日時点での果実肥大は平年の約110～170%となった。その後、生育期間を通じて適当な降雨があったことから、収穫時期の肥大状況は平年並からやや大きめとなった。また、8月降雨等により排水不良となった園地では樹が衰

弱した事例が昨年に引き続き散見された。

オ 収穫期および果実品質

早生種は平年に比べ、糖度は高めとなり、硬度、デンプン指数は平年並となった。開花が早まった分、果実の成熟は早まる傾向が見られたものの、8月下旬になっても夜温が高く推移したため、着色が進まず、果肉先行で成熟した地域が多かった。8月上旬からまとまった雨があり、「きおう」でつる割れが発生した。

「ジョナゴールド」については、硬度はやや低く、糖度、デンプン指数平年並となった。早生種同様、成熟前の9月の気温が高く、日照時間がやや少なかったため、全般的に着色が進まず、収穫が遅れる傾向がみられた。

「ふじ」の果実品質は、平年に比べて糖度、デンプン指数は平年並、硬度はやや低く、蜜入りはやや遅れた。全般的に地色の抜けが遅い傾向があり、収穫が遅れた園地では、11月24～26日の低温により果実凍結が発生したが、果肉褐変等の多発には至らない果実が多かった。また、蜜入りが少ない傾向が見られ、販売に苦慮するケースが多かった。「シナノゴールド」、「玉林」などの黄色品種では、地色の抜けが遅れる傾向があり、収穫も遅れる傾向にあった。

降霜については、5月31日に紫波町、岩手町で発生したものの、実害には至らなかった。

収穫期の強風害では、8月30～31日接近の台風第10号、10月20～21日の季節風などにより、落果や倒木の被害、擦れ果の発生が認められた。

カ 病害虫

県下全般大きな被害はなかったものの、リンゴハダニの発生が見られた。その他、県南地区でふらん病の発生が増加傾向であった。

全県的な発生ではないものの、近年、モモチョッキリゾウムシ、リンゴワタムシ、カイガラムシ類の被害報告が増加する傾向にあり、近年の発生のなかった黒星病被害が確認された。

キ 作柄評価

生産量は、全農岩手県本部の取扱実績（平成29年1月上旬時点）から、数量で前年対比87%となった。これは、果実肥大は平年並であったが、開花期間中の天候不順等による奇形果、サビ果の多発、収穫前の気温上昇による着色不良等によるものと考えられた。ただし、昨年は豊作年であったため、今年の実産量は概ね平年並といえる。

販売単価については、前年比111%となった。全国的に不作傾向で、4月中旬の凍霜害や果実の小玉化などが影響したと思われる。加えて、青森県産りんごの輸出量が増大していることから、国内市場が堅調に推移したためと思われる。

(2) ぶどう

ア 発芽期～展葉期

4月の気温が高めで推移したため、発芽は平年より6日早まったものの、発芽以降、気温が低めで経過したため、展葉は平年より3日早まる程度となった。

イ 開花期～結実期

展葉以降は気温が高めに推移したため、定点観測地点の満開期は平年より8日早い6月9日に観測された。一方、高めの気温により、新梢伸長が旺盛になり、開花期間中、降雨日が多かったこと等により若干の花振るいが見られ、結実率は平年を下回った。

ウ 新梢伸長期

発芽から開花まで生育が早まったことにより、新梢長は平年の150%超でのスタートとなり、それ以降も適当な降雨があったことから収穫期まで平年を上回る新梢長となった。

発芽から開花まで気温が高めで推移したことから、房長は平年より大きめとなり、果粒肥大は、生育期間を通してやや大きくなった。

エ 収穫期

「キャンベルアーリー」、「紅伊豆」、「サニールージュ」等品種全般に着色はやや早く、収穫時期の着色も良好であったが、高温等により「サニールージュ」を中心に着色が遅れる園地もみられた。

6月中下旬は日照不足となったが、生育期間を通して気温が高めで推移したため、糖度は平年より高めとなった。

8月の降雨により、昨年ほどではないが、「紅伊豆」を中心に裂果が見られた。

オ 落葉期

10月上旬まで気温は高めで推移したものの、落葉は平年並だった。

新梢の登熟程度は、概ね平年並だった。

カ 病害虫

近年の中では比較的、降水量が多かったため、病害の発生が懸念されたが全般的に発生は少なかった。一方、醸造用品種を中心に6月上旬頃からうどんこ病の発生が見られ、生食用ぶどうで収穫直前に晩腐病の発生が散見された。害虫の発生は全般的に少なかったが、クビアカスカシバによる主幹等の食害があった。

キ 作柄評価

生産量は、系統取扱の出荷販売実績から、前年比100%の数量となった。これは、開花までの生育が一気に進んだことによる花振るいと収穫期直前の降雨による裂果が原因と考えられた。

販売単価については前年比94%であり、概ね好調な単価が維持された。

6 飼料作物

(1) 牧草

ア 1番草

5月は平均気温が高く県内で生育は早まった。収量はやや不良から量とバラつきがあった。5月下旬、6月中下旬の降雨により1番草の収穫が遅れた地域もあった。

イ 2番草

収量は概ね平年並であった。7月は少雨であったが、降雨のない日が続かずに収穫に苦労した地域もあった。

ウ 3番草

収量は平年並であった。沿岸周辺部と岩泉地区は台風第10号の影響により甚大な被害有り。

(2) とうもろこし

ア 播種～生育・出穂期

消雪が早かったため、堆肥散布や耕起作業が概ね順調に進んだ。しかし、5月下旬の降雨により播種作業がやや遅れた地域もあった。6月中旬～7月上旬まで日照時間が平年より少なく、生育が遅れた地域もあったが、その後天候の回復により生育遅れはほぼ解消した。

イ 収穫期

収穫開始時期は概ね平年並みであり、県内の収量はやや不良～平年並となった。一関地域は播種の遅れにより半月ほど収穫適期が遅れた。また、同地域では8月下旬から9月の日照不足により例年より子実が小さい傾向があった。

ウ 局地的に生じた障害等

沿岸地域と岩泉町周辺部は台風第10号の影響により倒伏や折損など甚大な被害有り。

7 特用林産物

(1) 乾しいたけ

3月末まで降雨が少なく乾燥状態が続いた。4月上旬には降雨があったが、中旬から強風により再び乾燥状態となった。4月下旬には再び降雨があったが、5月初めには気温が急上昇し、春子の発生は短期間で終了したことから、原木乾しいたけの生産量は平成27年を下回る78t（平成29年9月13日・林野庁公表）となった。

(2) まつたけ

8月から9月に降水量が多かったことや、秋期にかけて気温が緩やかに低下したことから子実体が順調に発生し、作柄は全県的に豊作となった。

8 水産物

(1) 養殖わかめ

養殖施設の復旧整備が完了したが、1月に発生した低気圧被害や高水温による生育不良の影響などにより、生産量は前年並みの14,897t（県水産振興課調べ）となった。

(2) 養殖こんぶ

1月に発生した低気圧被害や、平成28年初夏の水温が高めに推移したことで生育不良が発生し、生産量は前年を下回る5,201t（県水産振興課調べ）となった。

(3) 養殖ほたてがい

養殖施設の復旧により生産・出荷の再開が進んだが、台風第10号による種苗の脱落や貝毒の発生による自主規制等により、生産量は前年並みの3,771t（県水産振興課調べ）となった。

(4) 養殖かき

台風第10号による種苗の脱落があったものの、平成25年度に導入した種苗の成貝出荷が本格的に開始されたことで、生産量は前年を上回る3,878t（県水産振興課調べ）となった。

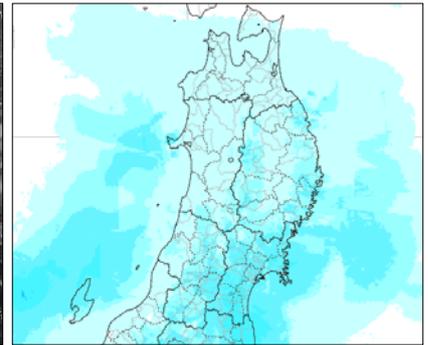
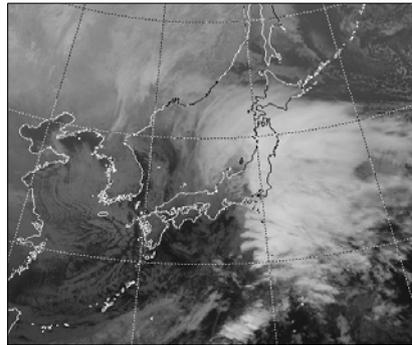
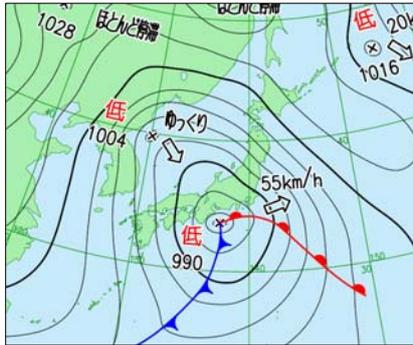
Ⅲ 農林水産業気象災害の発生状況

1 1月18日から21日の暴風雪・波浪災害

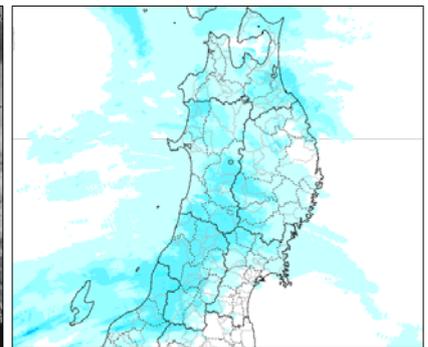
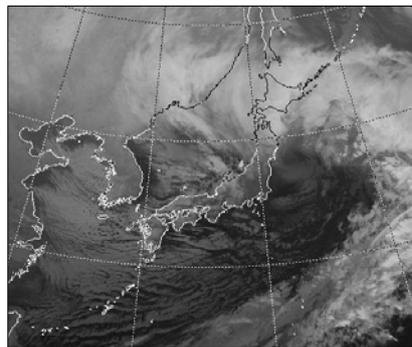
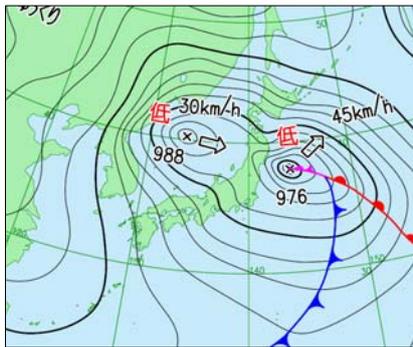
(1) 気象概況

18日から19日にかけて、本州南岸の前線を伴った低気圧が急速に発達しながら三陸沖を北上し、20日以降、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。このため、県内は大雪や低気圧の接近時を中心に雪を伴った北よりの強風となり、海上は高波となった。

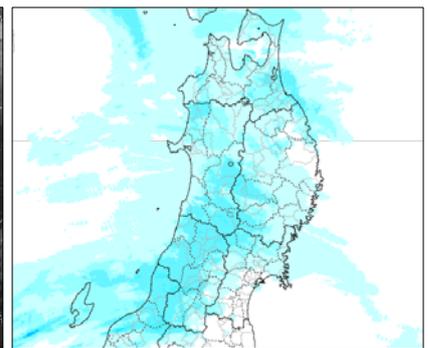
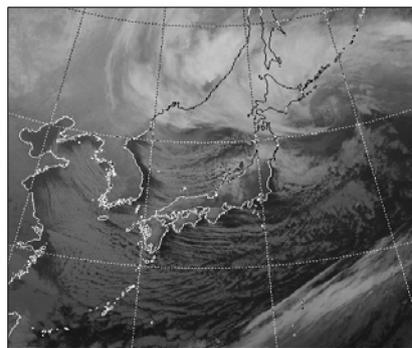
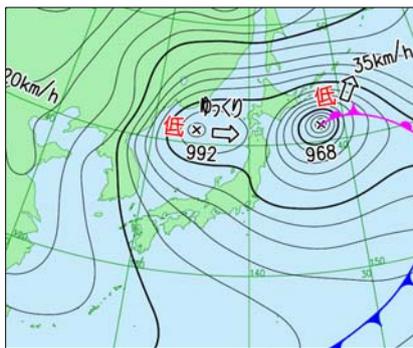
○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(1月18日～21日09時、21時)



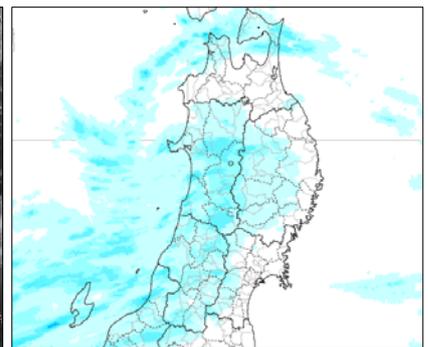
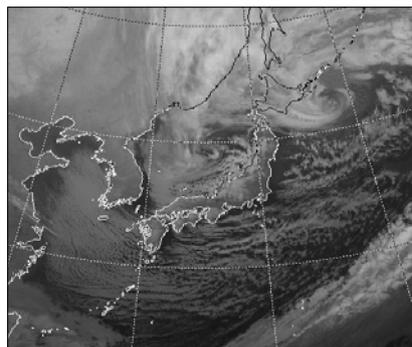
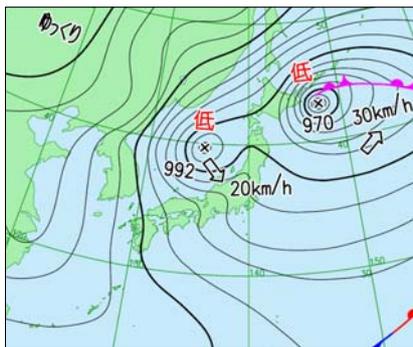
18日09時



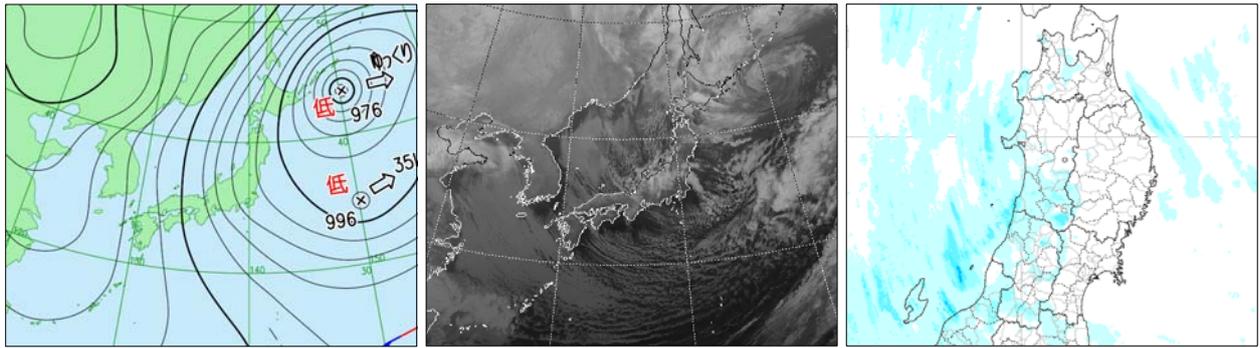
18日21時



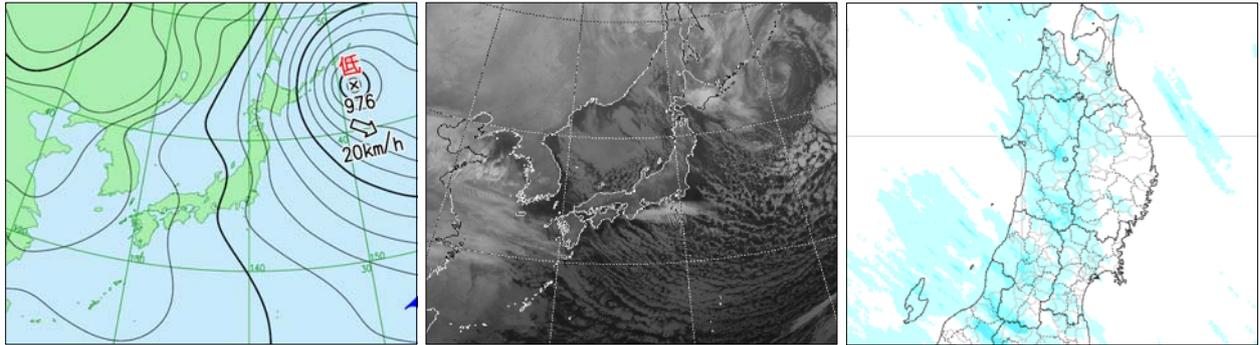
19日09時



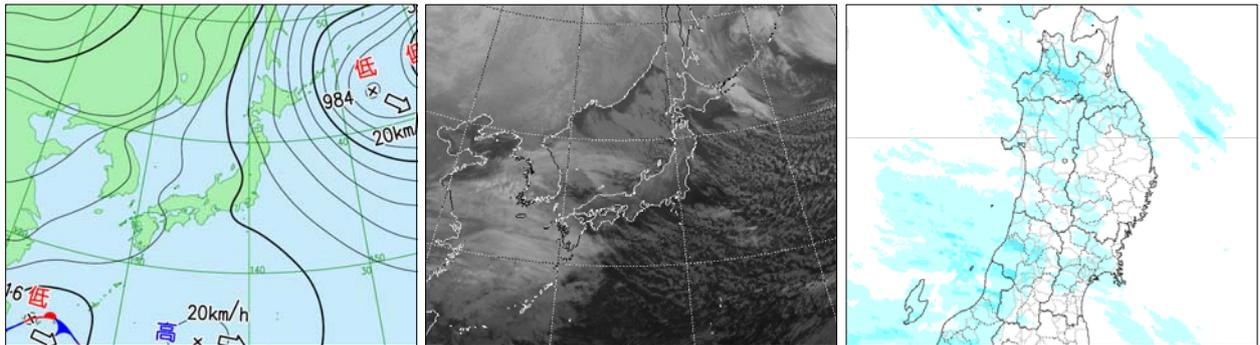
19日21時



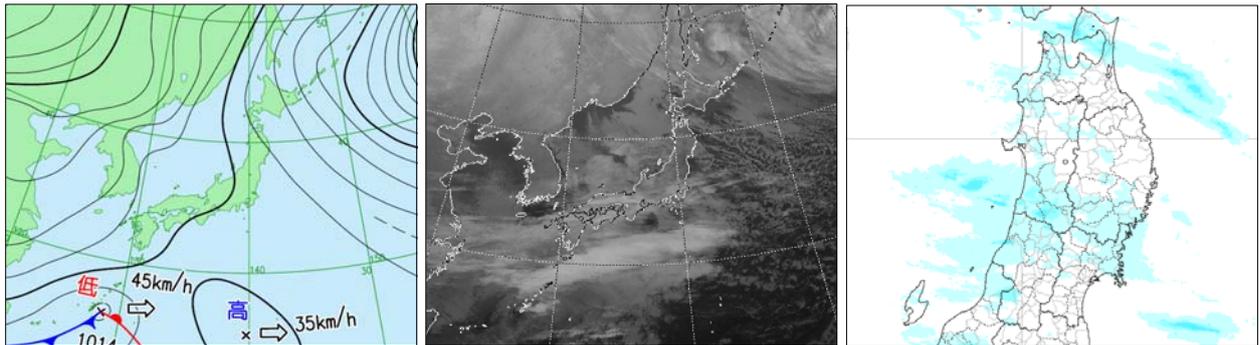
20日09時



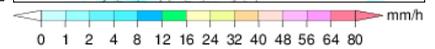
20日21時



21日09時



21日21時



○警報・注意報の発表状況(1月18日～21日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風雪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雪		沿岸北部、沿岸南部、盛岡地域、二戸地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市、一関市
	風雪	岩手県
	強風	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	釜石地域、宮古市、大船渡市、陸前高田市、山田町、岩泉町

	大雪	岩手県
	雷	岩手県
	乾燥	沿岸北部、沿岸南部
	濃霧	岩手県
	なだれ	沿岸北部、沿岸南部、盛岡地域、二戸地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市、一関市
	低温	内陸
	着雪	岩手県

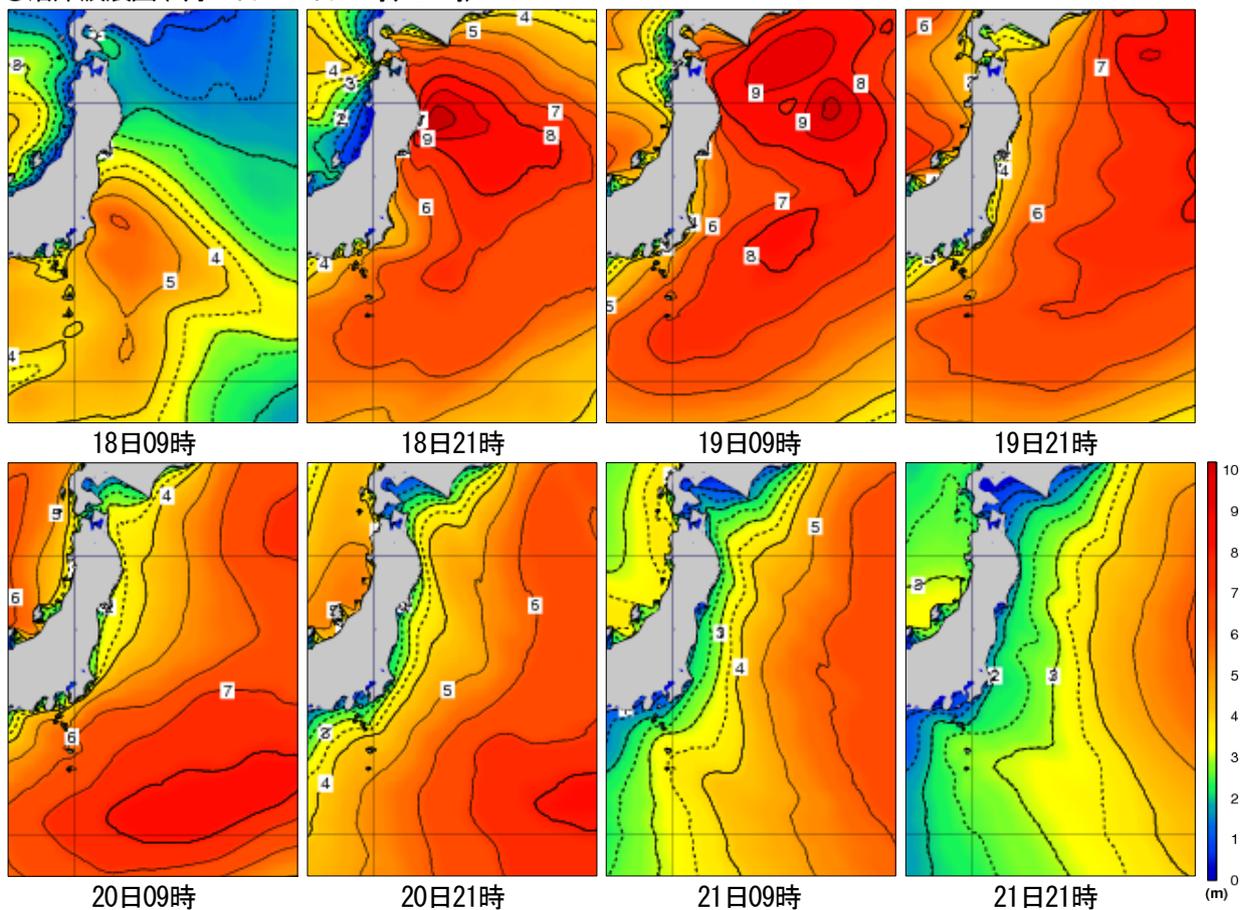
○岩手県気象情報の発表状況(1月15日～19日)

- ・発達する低気圧と強い冬型の気圧配置に関する岩手県気象情報 第1号、第2号
- ・暴風雪と高波及び大雪に関する岩手県気象情報 第3号～第8号

○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)(1月18日～21日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
小本	12.0	北東	18日17時55分	22.6	北北東	18日20時27分
宮古	14.4	北北東	18日19時37分	25.3	北北東	18日19時28分
新町	11.5	北西	18日19時42分	23.8	北北西	18日19時51分
陸前高田	8.4	北北東	18日18時55分	22.6	北	18日19時07分
大船渡	12.1	北北西	18日19時47分	26.7	東北東	18日16時46分

○沿岸波浪図(1月18日～21日09時、21時)



※波の高さ(有義波高)を等波高線で示す。等波高線は実線(1mごと)と破線(4m未満の領域のみ0.5mごと)で表示。

(2) 被害状況

(単位：千円)

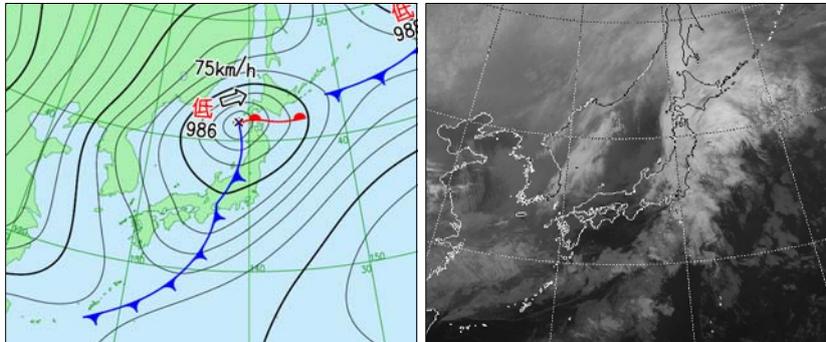
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	124,305	パイプハウス・畜舎等 157棟	一関市、洋野町、田野畑村等12市町村
	農作物等	864	ほうれんそう等0.07ha・800kg	岩泉町、洋野町、田野畑村
	家畜等	1,983	生乳15,314kg、鶏744羽	久慈市、洋野町、田野畑村等5市町村
林業	森林	66,118	倒木239.04ha	宮古市、一関市、岩泉町等9市町村
水産業	漁船	41,776	漁船84隻	久慈市、大槌町、田野畑村等9市町村
	養殖施設	34,192	養殖施設209台	久慈市、普代村、野田村等8市村
	水産施設	22,915	水産関係施設33箇所	久慈市、普代村、田野畑村等7市町村
	水産物	579,562	水産物4,720 t	宮古市、陸前高田市、野田村等8市町村
	漁具	189	タンク1個	宮古市
	漁港施設	5,538,647	防波堤等66箇所	久慈市、釜石市、普代村等11市町村
計		6,410,551		9市6町3村

2 2月14日の強風災害

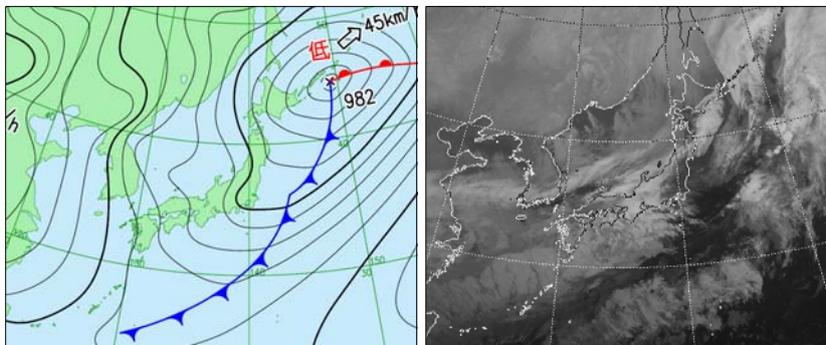
(1) 気象概況

日本海中部の低気圧が発達しながら北東に進んで北海道を通過、そこからのびる寒冷前線が東北地方を通過し、日本付近は冬の気圧配置となった。このため、県内は南よりや西よりの強風となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(2月14日09時、21時)



09時



21時

○警報・注意報の発表状況(2月14日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	強風	内陸、住田町
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	宮古市、山田町、岩泉町
	なだれ	沿岸北部、沿岸南部、盛岡地域、二戸地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市、一関市
	融雪	内陸

○岩手県気象情報の発表状況(2月12日～14日)

- ・融雪となだれに関する岩手県気象情報 第1号
- ・融雪となだれ及び強風に関する岩手県気象情報 第2号
- ・暴風と高波及び融雪に関する岩手県気象情報 第3号～第5号
- ・強風と高波及び融雪に関する岩手県気象情報 第6号

○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)(2月14日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
軽米	10.8	西北西	16時23分	30.6	西	15時27分
山形	11.7	南西	15時46分	22.8	南	15時49分
久慈	14.8	西南西	18時51分	25.1	南西	17時38分
小本	13.7	南西	17時55分	25.7	南	17時46分
遠野	14.1	西	15時47分	25.7	西	15時51分

新町	11.1	西北西	19時07分	24.2	西北西	19時02分
住田	11.3	西北西	16時25分	22.6	西北西	16時24分

※黄色は2月として極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

(2) 被害状況

(単位：千円)

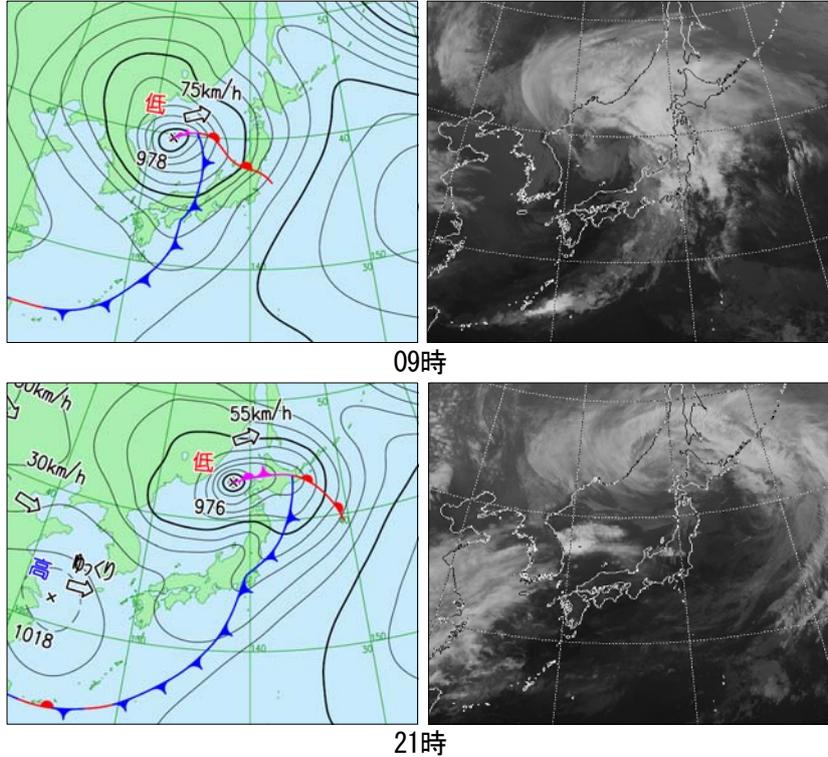
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物等	129	ほうれんそう等0.06ha	大槌町
	農業施設	2,018	パイプハウス15棟	二戸市、釜石市、大槌町
計		2,147		2市1町

3 4月17日の強風災害

(1) 気象概況

日本海西部の低気圧が急速に発達しながら北東に進み、そこからのびる寒冷前線が東北地方を通過した。このため、県内は西よりの強風となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(4月17日09時、21時)



○警報・注意報の発表状況(4月17日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風雪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	強風	内陸、住田町
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	雷	岩手県
	乾燥	岩手県
	霜	岩手県
	なだれ	花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市、八幡平市、雫石町

○岩手県竜巻注意情報の発表状況(4月17日)

- ・岩手県竜巻注意情報 第1号

○岩手県気象情報の発表状況(4月16日～17日)

- ・暴風と高波に関する岩手県気象情報 第1号～第3号
- ・暴風と高波及び雷に関する岩手県気象情報 第4号

○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)(4月17日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
好摩	14.6	南西	20時29分	27.0	南南西	19時52分
岩泉	11.2	西	23時28分	25.3	西南西	23時48分
雫石	12.6	西南西	20時43分	26.5	西南西	20時35分
盛岡	16.2	南西	20時21分	26.9	南西	19時05分
紫波	12.3	南西	19時26分	25.2	南西	19時29分

沢内	12.2	南西	19時30分	27.6	南西	19時07分
若柳	14.6	西	19時36分	27.0	西南西	18時55分
住田	7.7	西北西	19時31分	25.6	西北西	19時23分

※黄色は4月として極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	108,245	畜舎・パイプハウス等 765棟	八幡平市、雫石町、紫波町等29市町村
	農作物等	24	ピーマン0.02ha	田野畑村
	家畜等	17	生乳0.18 t	葛巻町
林業	林業施設	342	椎茸生産設備7件	田野畑村
水産業	漁船	4,300	漁船7隻	宮古市、久慈市、山田町
計		112,928		13市12町4村

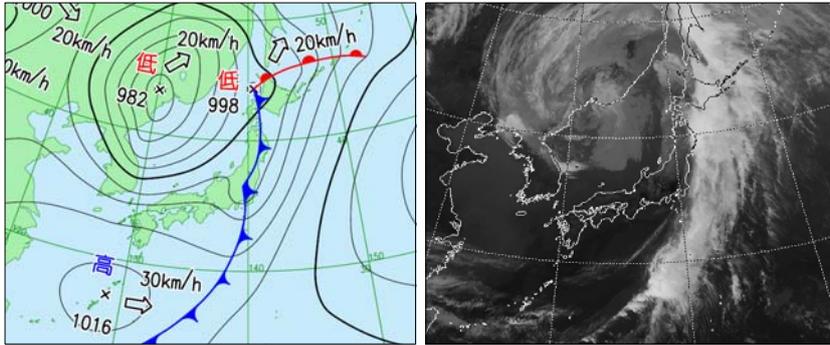
4 5月4日から5日及び8日の強風災害

(1) 気象概況

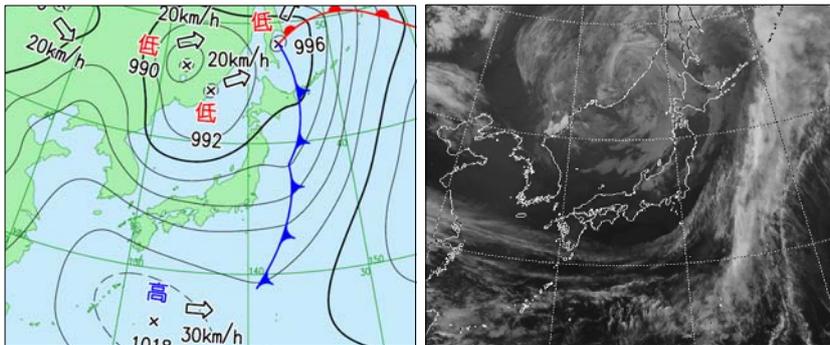
4日は、沿海州や北海道の西に発達した低気圧があって、北海道の西にある低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過した。5日は、日本海北部の発達した低気圧が東に進んだ。このため、県内は南よりや西よりの強風となった。

8日は、発達した低気圧がオホーツク海にあって、日本付近は西高東低の気圧配置となったため、県内は西よりの強風となった。

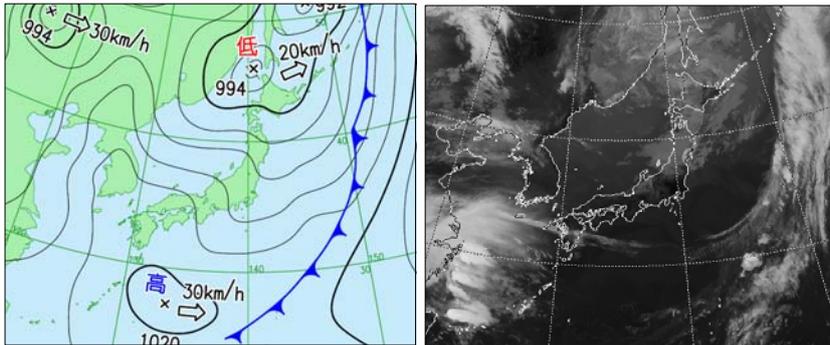
○地上天気図、気象衛星赤外面像(5月4日、5日、8日09時、21時)



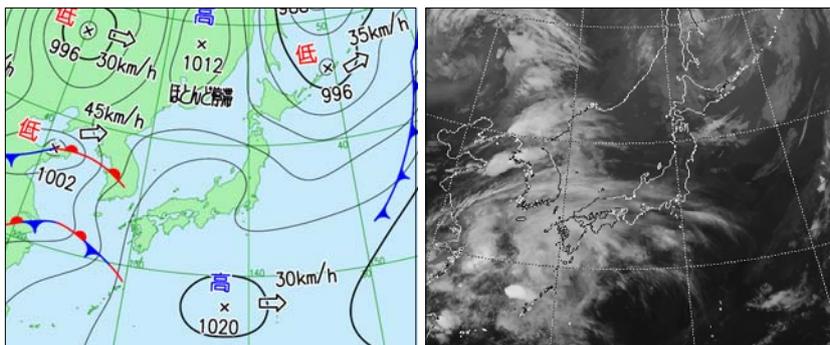
4日09時



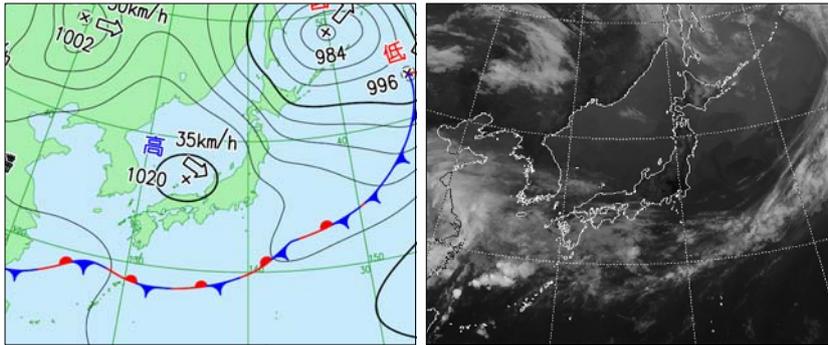
4日21時



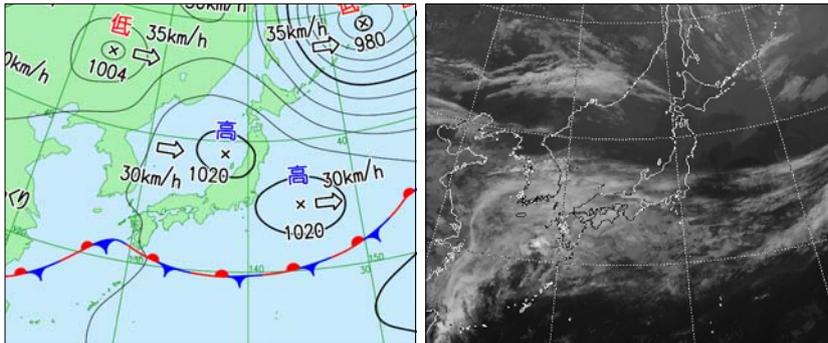
5日09時



5日21時



8日09時



8日21時

○警報・注意報の発表状況(5月4日～5日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	岩手県
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	濃霧	岩手県
	なだれ	花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市、八幡平市、雫石町

○警報・注意報の発表状況(5月8日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	岩手県
	高潮	久慈地域、宮古市、山田町、岩泉町
	乾燥	岩手県
	霜	岩手県
	なだれ	花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市、八幡平市、雫石町

○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)(5月4日～5日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
二戸	8.8	南西	4日15時23分	22.1	南南西	4日16時52分
奥中山	8.4	南	4日07時10分	19.8	南	4日14時52分
好摩	9.9	南南西	4日14時49分	19.3	南南西	4日14時46分
小本	6.8	南南西	4日02時37分	19.9	南南西	4日13時53分
新町	10.2	北西	4日13時21分	19.0	南南西	4日05時20分
雫石	9.5	西南西	5日06時08分	19.1	南西	5日09時37分
沢内	8.4	南西	5日08時52分	19.2	南西	5日06時34分

○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)(5月8日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
久慈	11.0	西	14時36分	20.7	西南西	09時29分
岩泉	10.6	西	09時29分	21.8	西北西	08時45分

川井	10.8	南西	09時31分	24.1	南	09時52分
新町	9.6	北西	13時20分	21.6	北西	11時18分
釜石	10.2	西	06時56分	20.6	西	02時16分
住田	11.5	西北西	09時40分	23.0	西	10時04分

(2) 被害状況

(単位：千円)

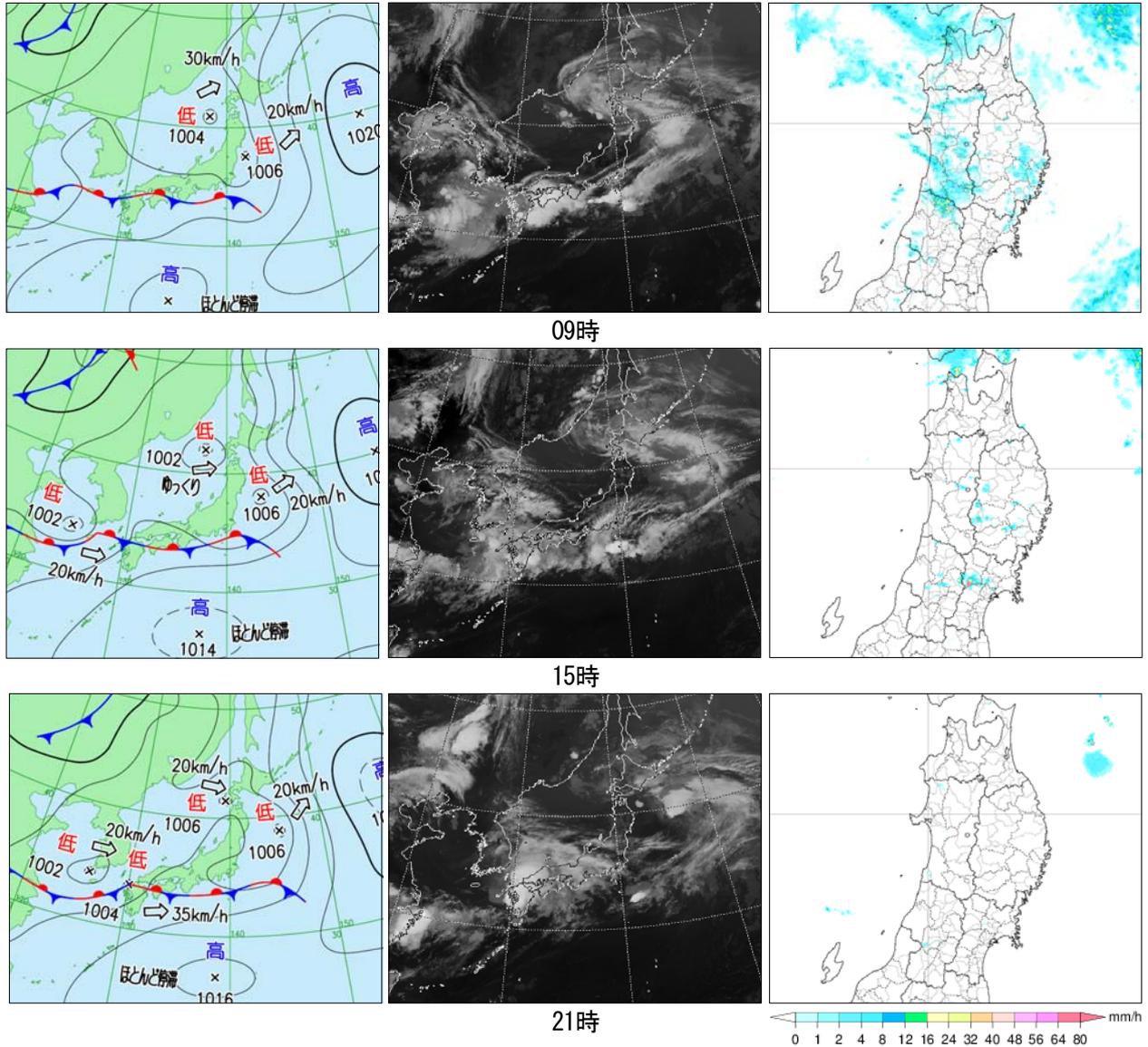
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	7,874	パイプハウス36棟	八幡平市、滝沢市、北上市等5市町
計		7,874		4市1町

5 6月20日の落雷・波浪災害、竜巻災害

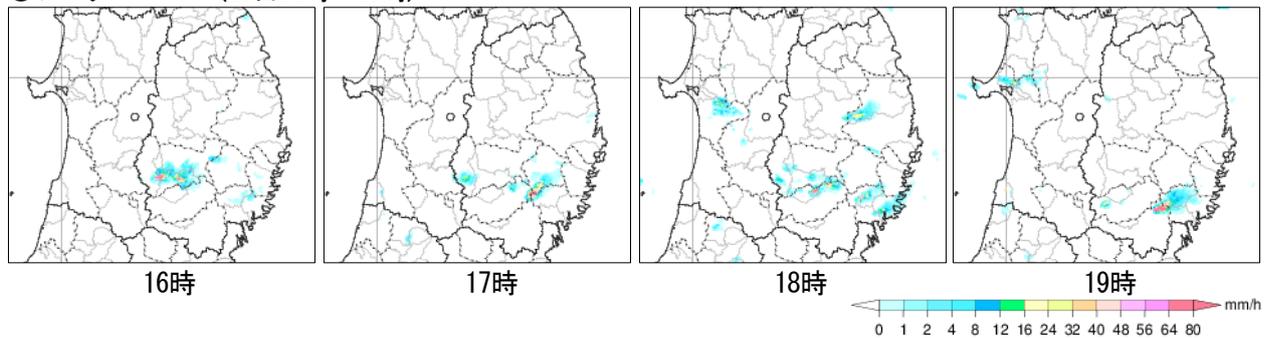
(1) 気象概況

日本付近は気圧の谷となり、東北地方の上空約5500メートルに氷点下12度以下の強い寒気が流入した。このため、県内は大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷を伴う大雨となった。また、奥州市では18時10分頃に竜巻が発生した。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダーエコー(6月20日09時、15時、21時)



○レーダーエコー(20日16時~19時)



○警報・注意報の発表状況(6月20日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	岩手県
	大雨	沿岸北部、沿岸南部、盛岡地域、二戸地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、花巻市、北上市、遠野市
	洪水	沿岸北部、沿岸南部、盛岡地域、二戸地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、花巻市、北上市、遠野市
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県竜巻注意情報の発表状況(6月20日)

- ・岩手県竜巻注意情報 第1号

○岩手県気象情報の発表状況(6月20日)

- ・大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第1号、第2号

(2) 被害状況

- ・落雷・波浪災害

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
水産業	養殖施設	12	養殖施設の破損2箇所	陸前高田市
計		12		1市

- ・竜巻災害

(単位:千円)

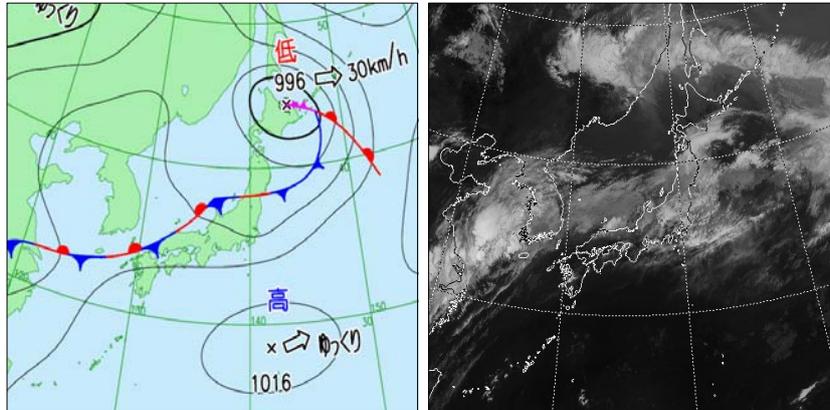
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	10	パイプハウス破損1棟	奥州市
	農作物	1	水稲0.01ha	奥州市
計		11		1市

6 7月3日の強風災害

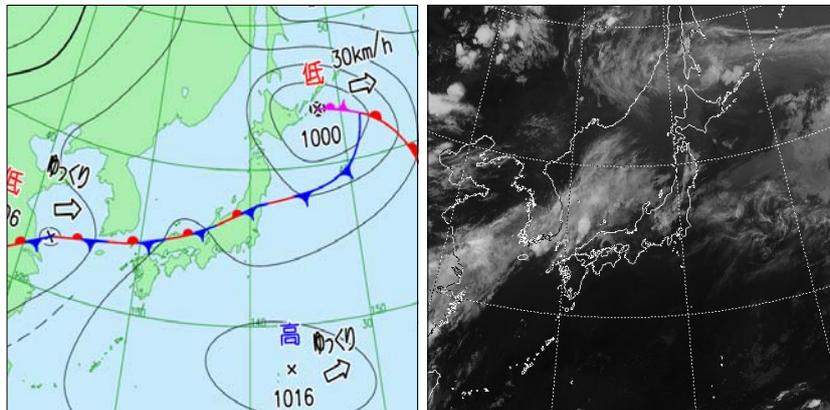
(1) 気象概況

北海道の西に発達した低気圧があつて東に進み、そこからのびる前線が東北地方を南下し、県内は西よりの強風となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(7月3日09時、21時)



09時



21時

○警報・注意報の発表状況(7月3日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	岩手県
	高潮	宮古市、山田町
	濃霧	岩手県

○7月3日の主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
軽米	7.4	西北西	13時57分	19.5	西北西	01時18分
二戸	7.3	南西	03時23分	16.2	南南西	03時58分
荒谷	7.3	南西	00時36分	16.7	西南西	00時47分
紫波	10.4	西	00時41分	17.2	西	00時33分
遠野	8.9	西	00時58分	17.9	西北西	00時53分
釜石	10.4	西	09時12分	18.6	西	09時09分

※黄色は7月として極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

(2) 被害状況

(単位:千円)

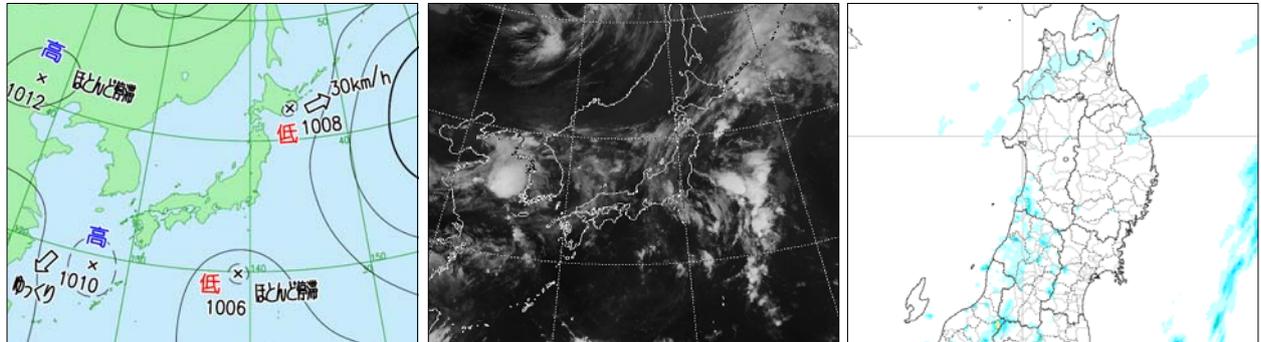
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農作物	453	きゅうり1.7ha	二戸市
計	453		

7 8月2日から3日の大雨災害

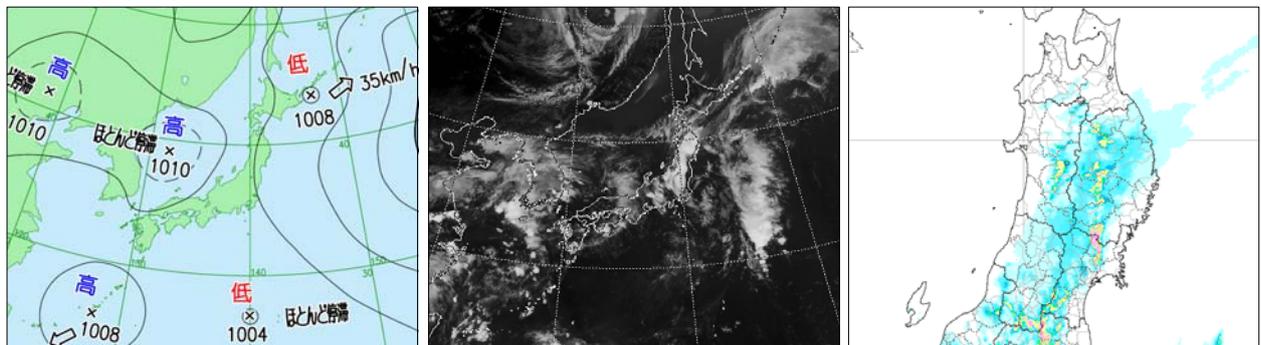
(1) 気象概況

日本付近は気圧の谷となり、東北地方の上空約6000メートルに氷点下6度以下の強い寒気が流入した。このため、県内は大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う局地的な大雨となった。

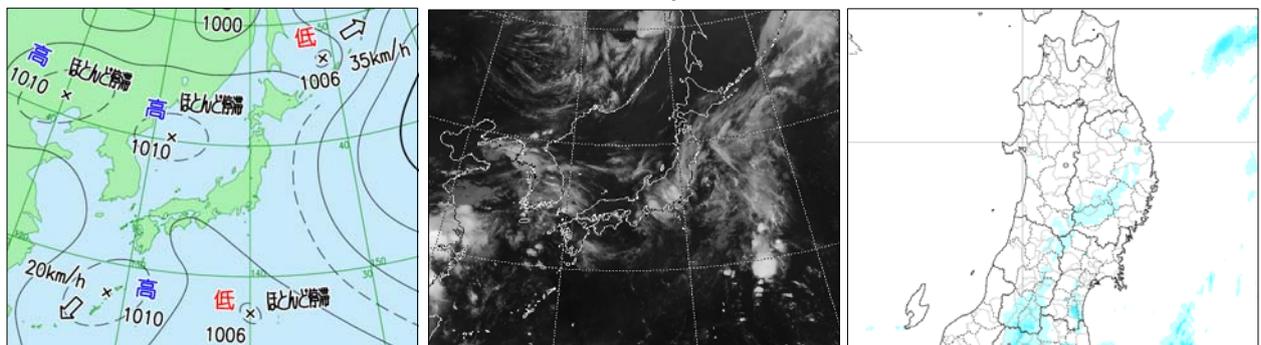
○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(8月2日～3日09時、15時、21時)



2日09時



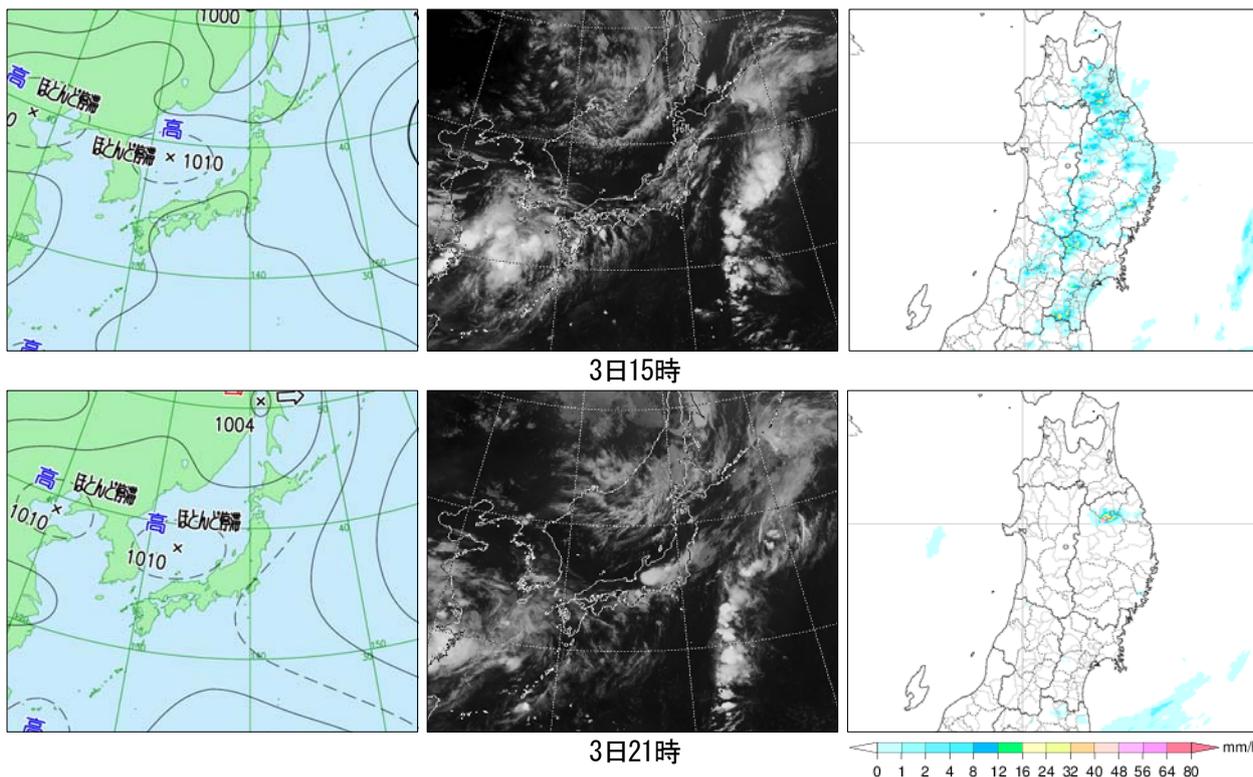
2日15時



2日21時



3日09時



○警報・注意報の発表状況(8月2日～3日:岩手県)

警報	注意報	地域
大雨		内陸
洪水		内陸
	高潮	沿岸北部、釜石地域
	大雨	沿岸北部、沿岸南部
	洪水	沿岸北部、沿岸南部
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(8月2日)

	地域
第1号	盛岡市、滝沢市
第2号	盛岡市、二戸市、滝沢市
第3号	解除

○岩手県記録的短時間大雨情報の発表状況(8月3日)

- ・岩手県記録的短時間大雨情報 第1号

○岩手県気象情報の発表状況(8月2日～3日)

- ・大雨と雷に関する岩手県気象情報 第1号、第2号
- ・大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第3号～第7号

○8月2日～3日の主な地点の降水量(mm)

地点	日(起日)	日最大1時間(起時)
荒屋	55.0(2日)	41.0(2日15時07分)
奥中山	47.0(3日)	34.0(3日20時17分)
盛岡	76.5(2日)	62.5(2日14時18分)
一関	57.0(2日)	49.0(2日14時50分)

※赤色は通年の極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

(2) 被害状況

(単位：千円)

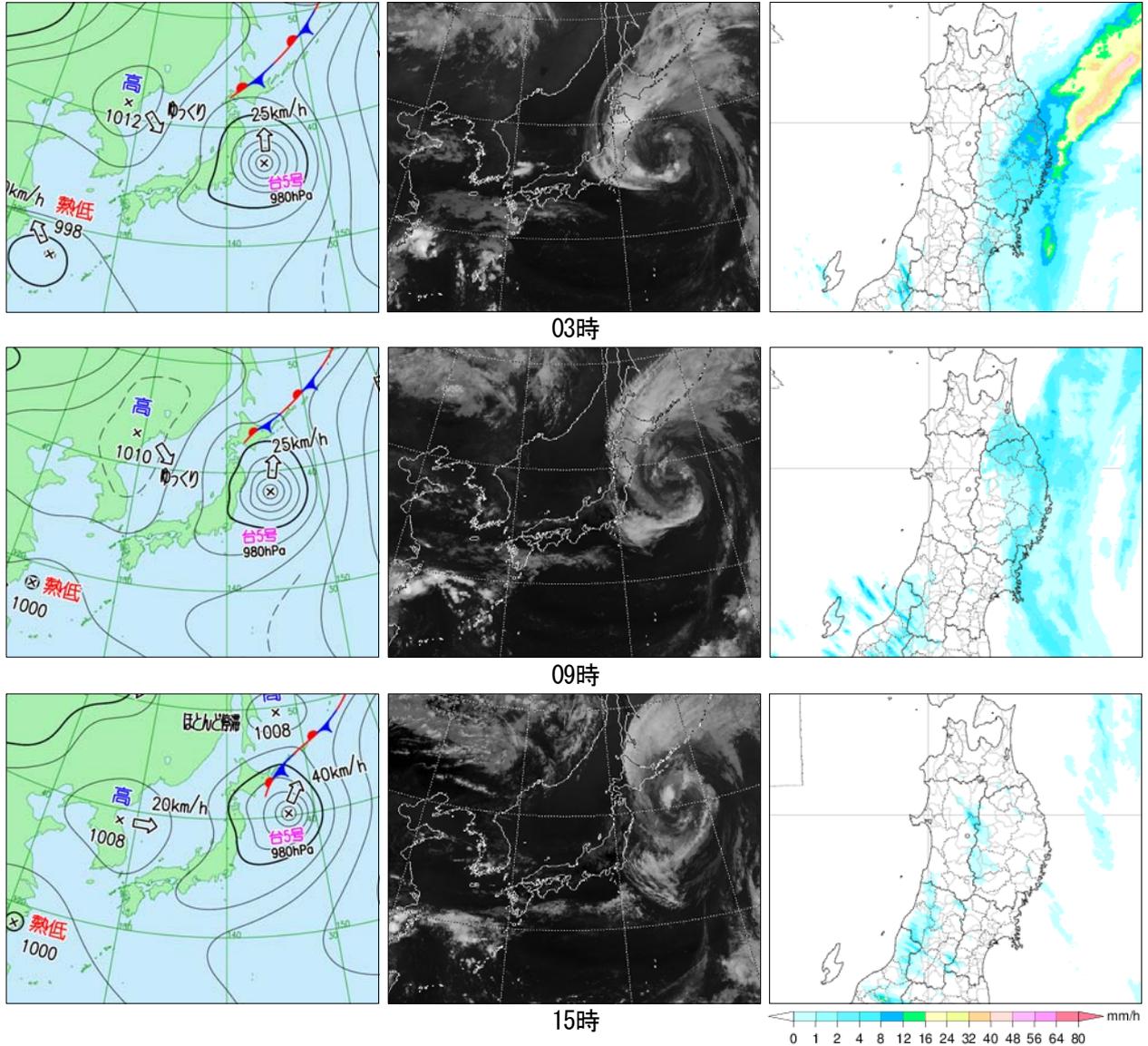
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農産物	391	レタス等1.80ha	一戸町
	農地・農業用施設	16,000	農地6箇所、水路8箇所	一関市、平泉町、一戸町
計		16,391		1市2町

8 8月9日の台風第5号災害

(1) 気象概況

台風第5号が三陸沖を北上し、海上は高波となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(8月9日03時、09時、15時)



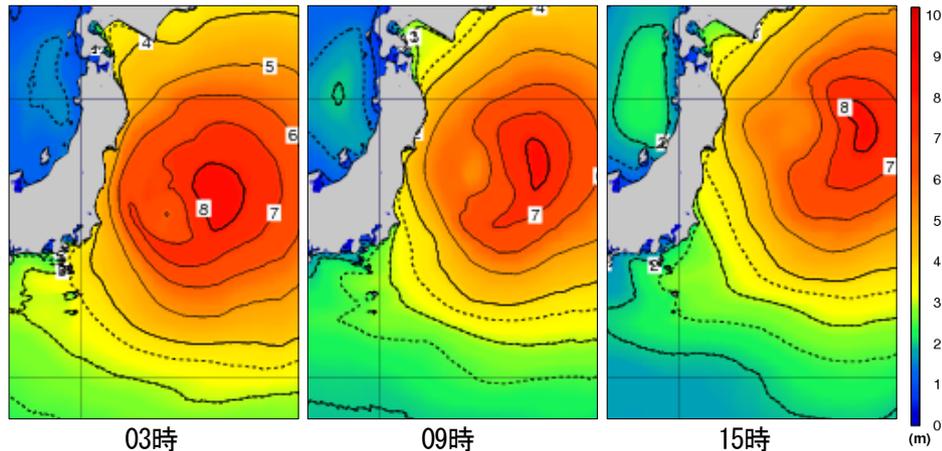
○警報・注意報の発表状況(8月9日:岩手県)

警報	注意報	地域
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	強風	岩手県
	高潮	宮古市
	大雨	沿岸北部、沿岸南部、盛岡市、花巻市、遠野市、葛巻町
	洪水	沿岸北部、沿岸南部
	雷	岩手県
	濃霧	沿岸北部、沿岸南部

○岩手県気象情報の発表状況(8月7日～9日)

・平成28年 台風第5号に関する岩手県気象情報 第1号～第7号

○沿岸波浪図(8月9日03時、09時、15時)



※波の高さ(有義波高)を等波高線で示す。等波高線は実線(1mごと)と破線(4m未満の領域のみ0.5mごと)で表示。

(2) 被害状況

(単位：千円)

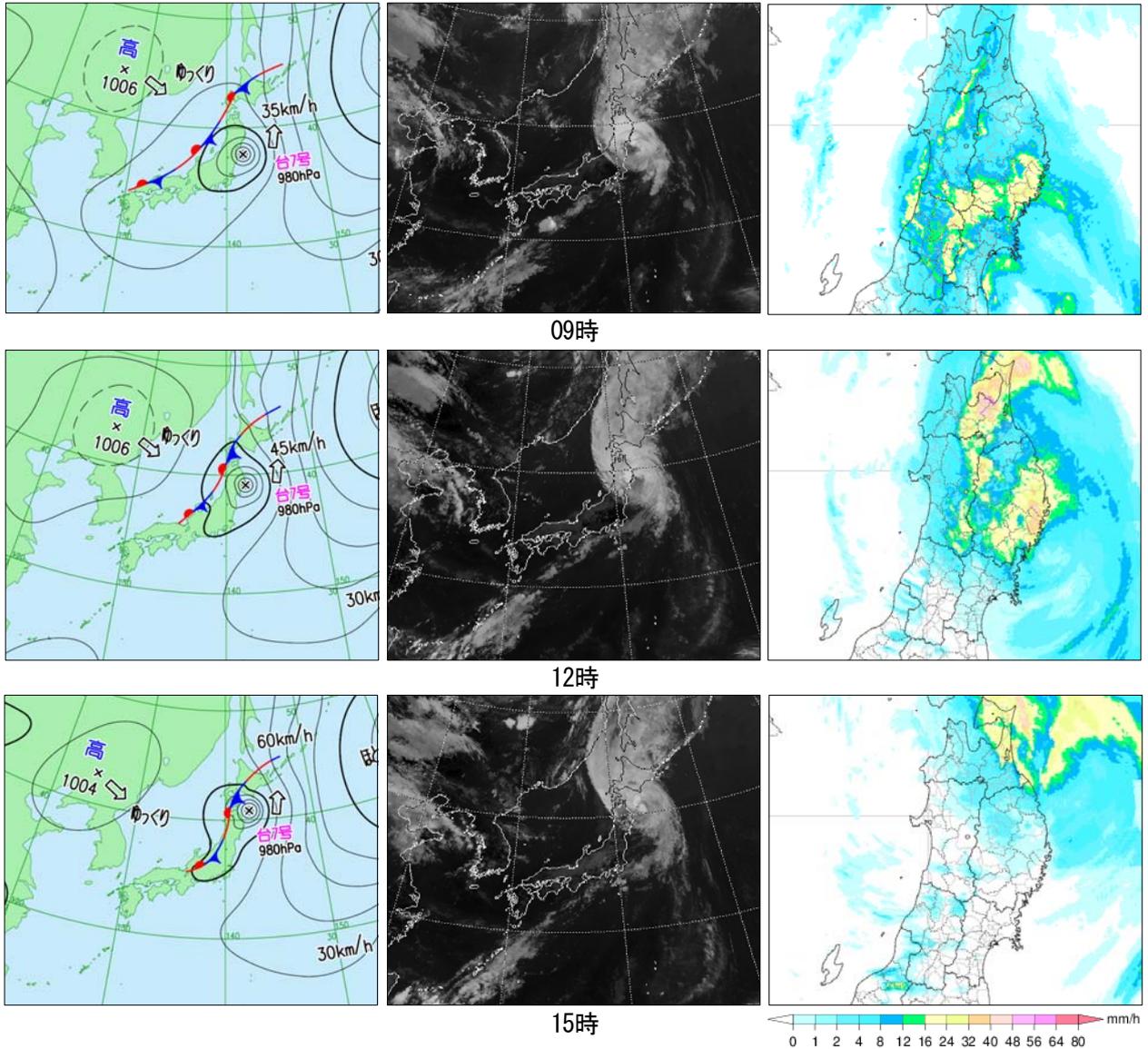
区分	被害額	被害状況	被害地域	
水産業	漁船	2,250	漁船の破損8隻	大船渡市、陸前高田市
	養殖施設	1,100	養殖施設の破損8台	大船渡市
	水産物	30,890	かき45千個、ほたて17千個	大船渡市
	水産施設	100	水産設備の破損1件	大船渡市
	漁港施設	18,040	流木漂着等12箇所	宮古市、大船渡市、釜石市等5市町
計	52,380		5市1町	

9 8月17日の台風第7号災害

(1) 気象概況

台風第7号が三陸沖を北上し、県内は大雨や強風となり、海上は高波となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(8月17日09時、12時、15時)



○警報・注意報の発表状況(8月17日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨		岩手県
洪水		岩手県
	強風	内陸、住田町
	高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(8月17日)

	地域
第1号	遠野市、一関市、釜石市、奥州市、平泉町、住田町

第2号	宮古市、遠野市、一関市、釜石市、奥州市、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町
第3号	宮古市、大船渡市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町
第4号	宮古市、大船渡市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町
第5号	宮古市、大船渡市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村
第6号	宮古市、大船渡市、花巻市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、葛巻町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村
第7号	宮古市、花巻市、遠野市、二戸市、八幡平市、雫石町、葛巻町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村
第8号	宮古市、二戸市、八幡平市、岩泉町
第9号	解除

○岩手県気象情報の発表状況(8月15日～17日)

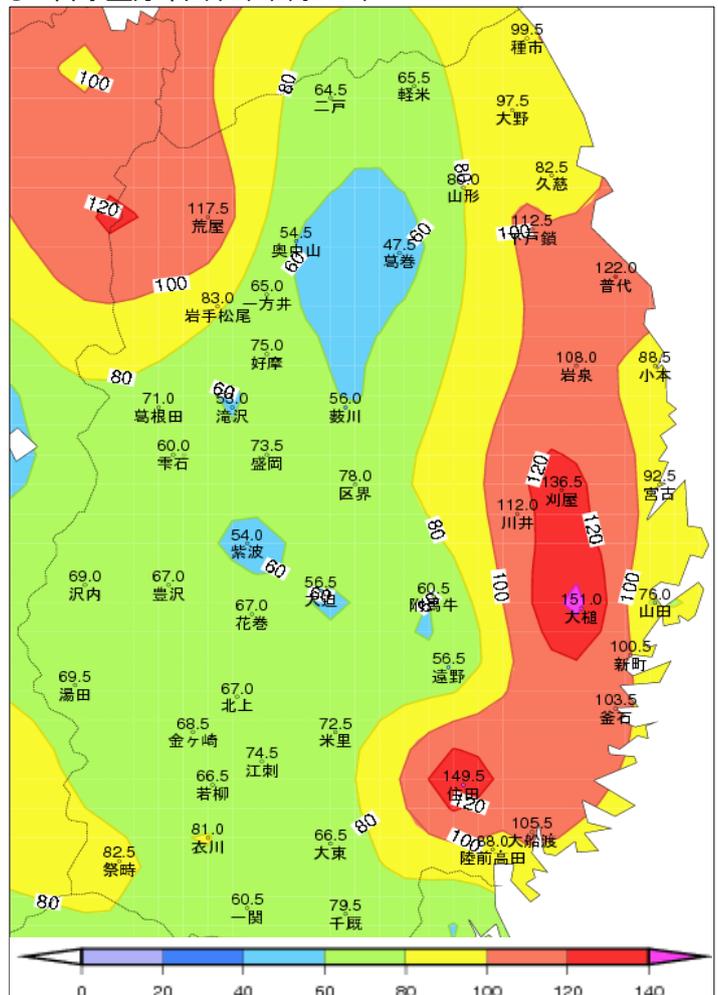
・平成28年 台風第7号に関する岩手県気象情報 第1号～第12号

○主な地点の降水量(mm) (8月17日)

地点	日	日最大1時間(起時)
荒屋	117.5	29.0(13時02分)
下戸鎖	112.5	25.5(13時09分)
普代	122.0	40.5(13時12分)
岩泉	108.0	26.0(12時32分)
刈屋	136.5	30.5(12時20分)
川井	112.0	30.5(09時48分)
大槌	151.0	38.5(11時59分)
新町	100.5	29.5(11時56分)
釜石	103.5	27.0(11時59分)
住田	149.5	34.5(09時54分)
大船渡	105.5	32.0(11時00分)

※黄色は8月として極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

○日降水量分布図(mm) (8月17日)

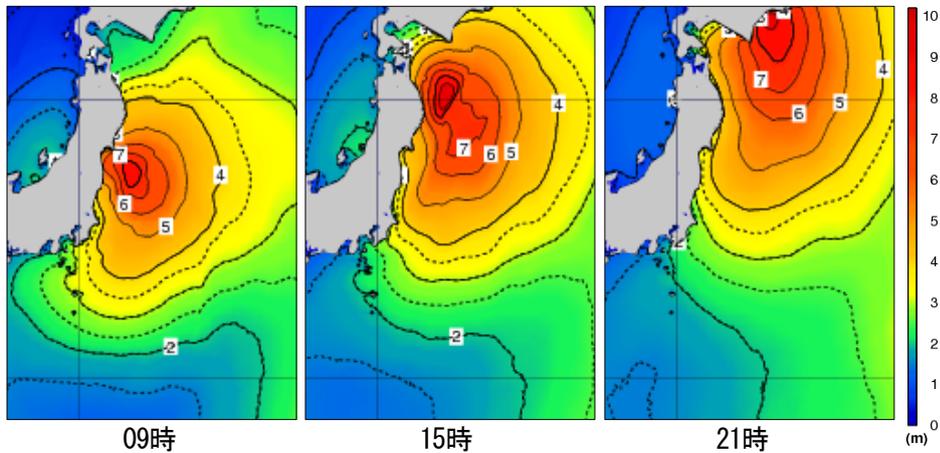


○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s) (8月17日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
岩泉	10.0	西南西	14時06分	21.9	西南西	14時26分
紫波	14.6	北西	12時18分	23.8	北西	12時14分
遠野	13.7	西北西	12時57分	23.0	西北西	13時00分

住田	12.9	西北西	12時34分	22.2	北西	12時31分
大船渡	11.0	北西	12時38分	21.9	北北西	12時52分
千厩	9.5	北西	11時59分	20.3	北西	11時40分

○沿岸波浪図(8月17日09時、15時、21時)



※波の高さ(有義波高)を等波高線で示す。等波高線は実線(1mごと)と破線(4m未満の領域のみ0.5mごと)で表示。

(2) 被害状況

(単位：千円)

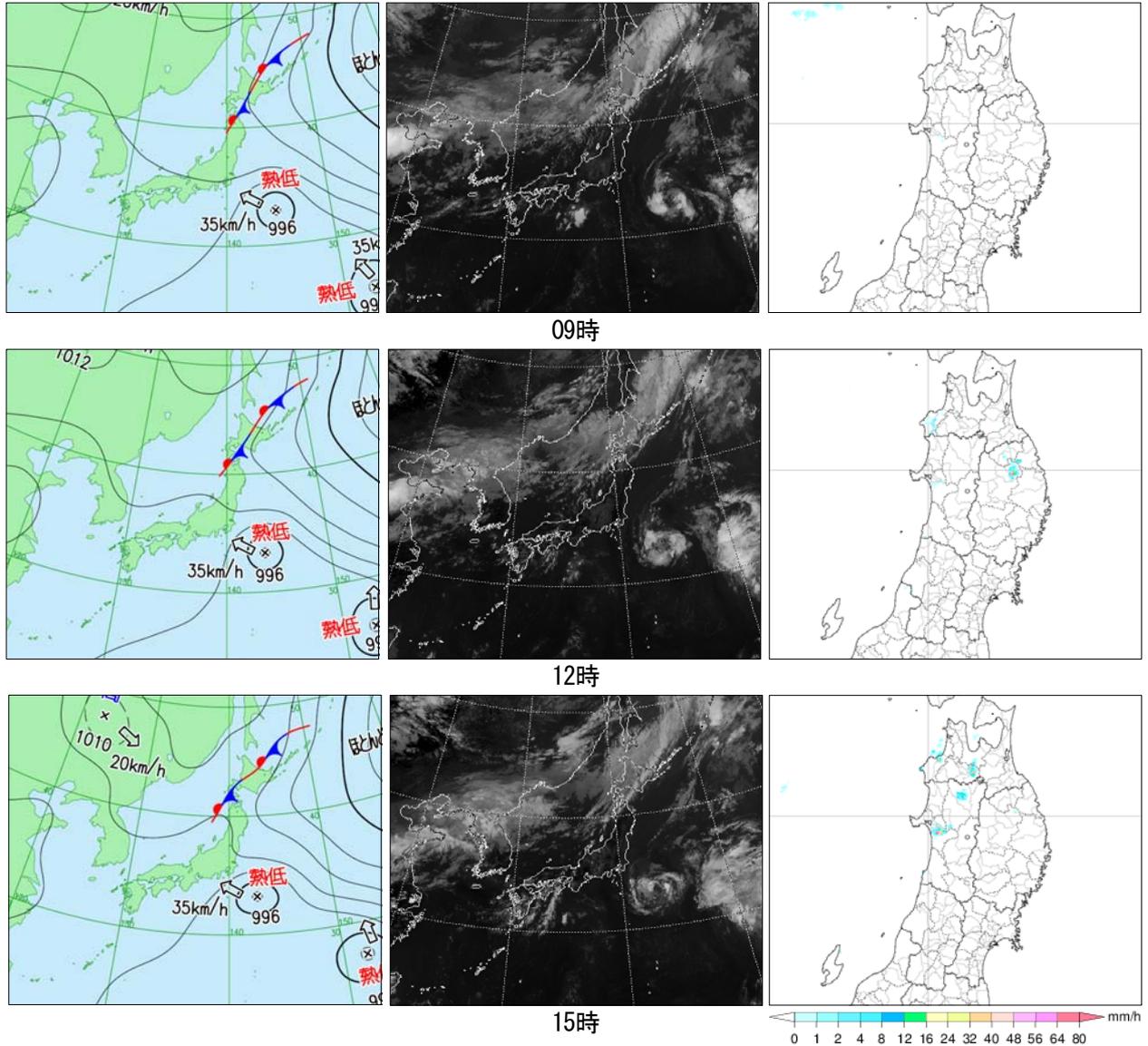
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	560	パイプハウス4棟	一関市、紫波町
	農作物	6,071	水稲0.5ha、大豆等豆類・雑穀21.5ha、きゅうり等野菜4.6ha、ゆり0.1ha	奥州市、一関市、遠野市等7市町村
	農地・農業用施設	161,000	農地15箇所、水路等25箇所	奥州市、一関市、二戸市等9市町
林業	林業施設	32,500	林道42箇所	奥州市、一関市等5市町
水産業	漁船	100	漁船1隻	田野畑村
	漁港	34,415	漁港施設26箇所	陸前高田市、宮古市等7市町村
計		234,646		8市7町2村

10 8月19日の大雨災害

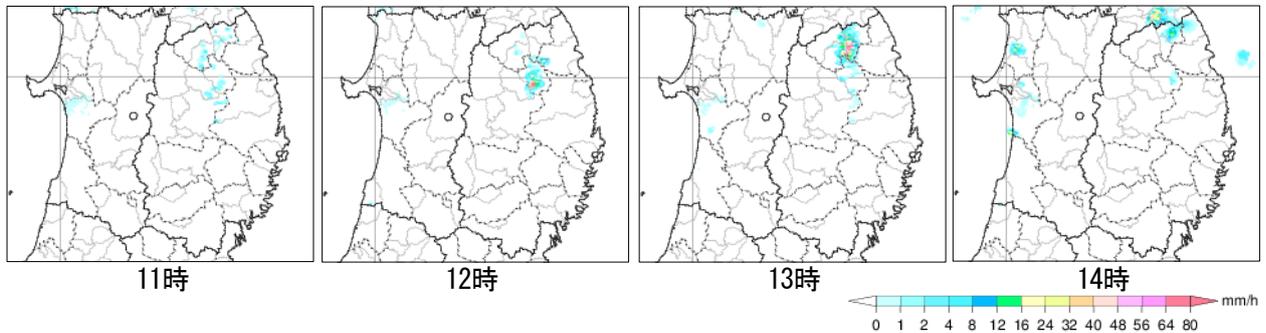
(1) 気象概況

千島近海から北日本にのびる前線に向って、日本の東を北西に進む熱帯低気圧から暖かく湿った空気が流入し、県内は大気の状態が不安定となり北部を中心に局地的な大雨となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダーエコー(8月19日09時、12時、15時)



○レーダーエコー(8月19日11時~14時)



○警報・注意報の発表状況(8月19日:岩手県)

警報	注意報	地域
大雨		二戸市、軽米町、九戸村

洪水		二戸市、軽米町、九戸村
	波浪	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、野田村、洋野町
	高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	大雨	沿岸南部、宮古地域、釜石地域、大船渡地域、盛岡市、花巻市、久慈市、遠野市、一関市、奥州市、葛巻町、普代村、一戸町
	洪水	釜石地域、大船渡市、葛巻町、一戸町
	雷	沿岸北部、盛岡地域、二戸地域
	濃霧	岩手県

(2) 被害状況 (単位：千円)

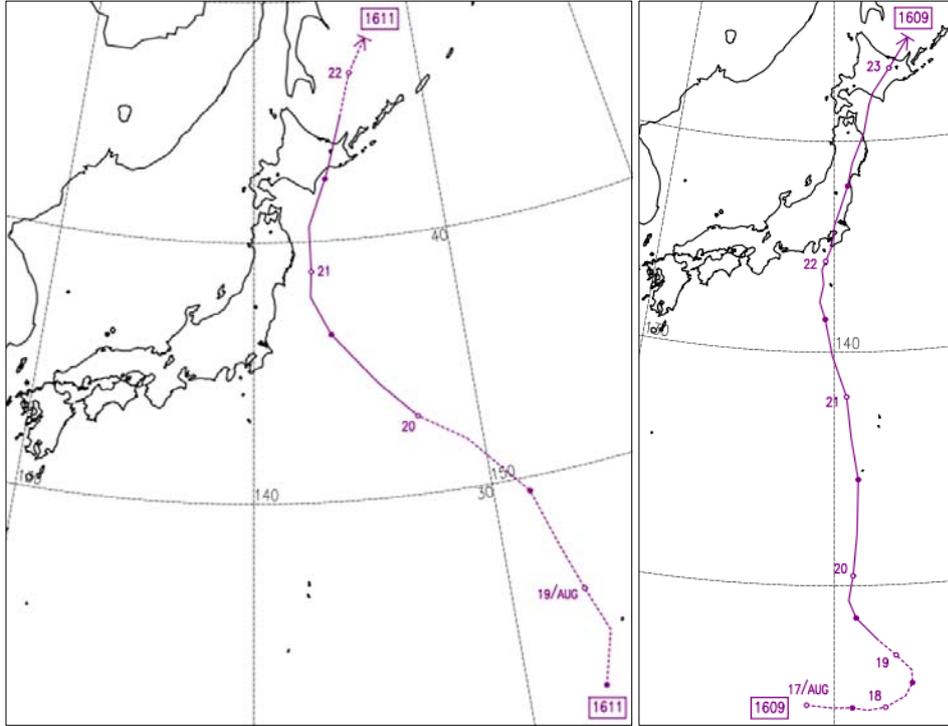
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	2,000	農地2箇所	九戸村
計		2,000		

11 8月21日の台風第11号及び8月22日から23日の台風第9号災害

(1) 気象概況

21日は、台風第11号が三陸沖を北上した。その後、22日から23日かけて台風第9号が房総半島に上陸し、関東地方から北日本を北上した。このため、県内は大雨や強風となり、海上は高波となった。

○台風経路図



台風第11号

台風第9号

経路上の○印は傍らに記した日の午前9時、●印は午後9時の位置で→|は消滅を示す。
経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。

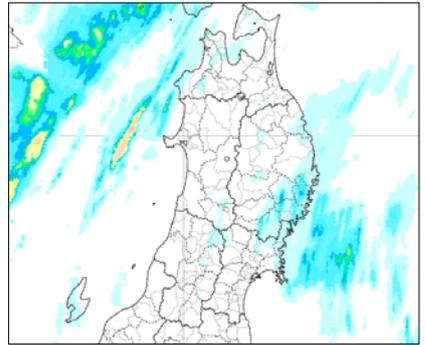
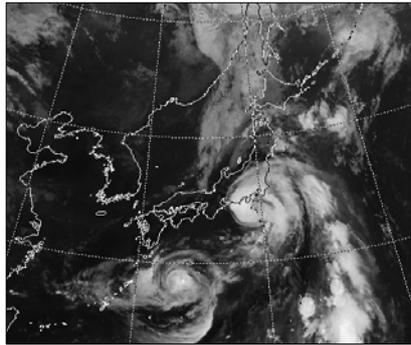
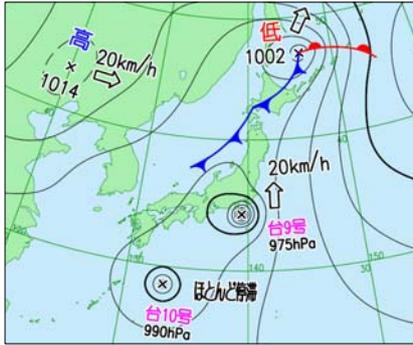
○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(8月21日～23日09時、21時)



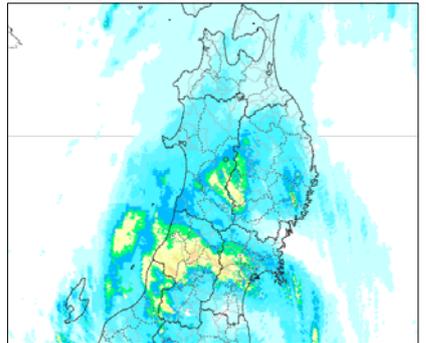
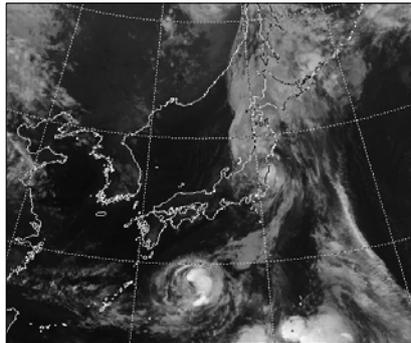
21日09時



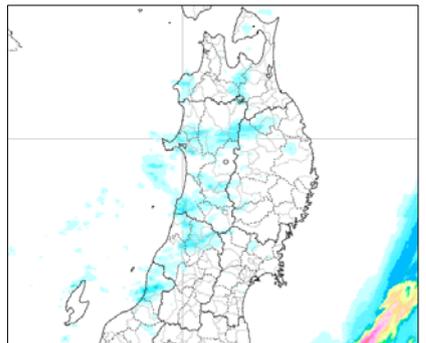
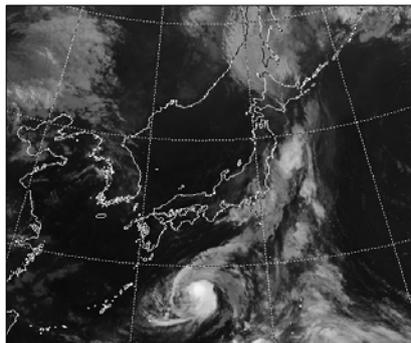
21日21時



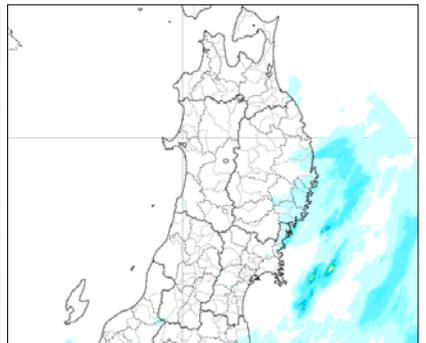
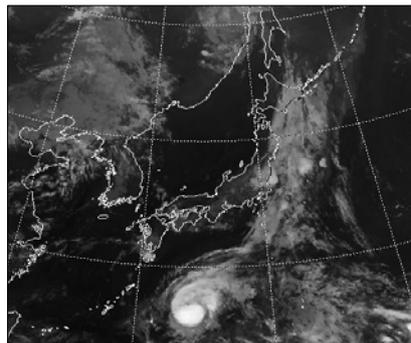
22日09時



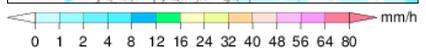
22日21時



23日09時



23日21時



○警報・注意報の発表状況(8月21日~23日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風		沿岸北部、沿岸南部
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨		岩手県
洪水		岩手県
	強風	内陸
	高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	雷	岩手県

	濃霧	岩手県
--	----	-----

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(8月22日～23日)

	地域
第1号	宮古市、釜石市、大槌町、山田町
第2号	宮古市、遠野市、釜石市、二戸市、住田町、大槌町、山田町
第3号	宮古市、遠野市、釜石市、二戸市、八幡平市、住田町、大槌町、山田町
第4号	宮古市、遠野市、釜石市、二戸市、八幡平市、住田町、大槌町、山田町、一戸町
第5号	二戸市、八幡平市、一戸町
第6号	二戸市
第7号	解除

○岩手県気象情報の発表状況(8月19日～23日)

- ・大雨と強風及び高波に関する岩手県気象情報 第1号～第3号
- ・発達する熱帯低気圧に関する岩手県気象情報 第1号
- ・平成28年台風第11号に関する岩手県気象情報 第1号～第8号
- ・平成28年台風第9号に関する岩手県気象情報 第1号～第10号
- ・大雨と雷に関する岩手県気象情報 第1号、第2号

○主な地点の降水量(mm)(8月21日～23日)

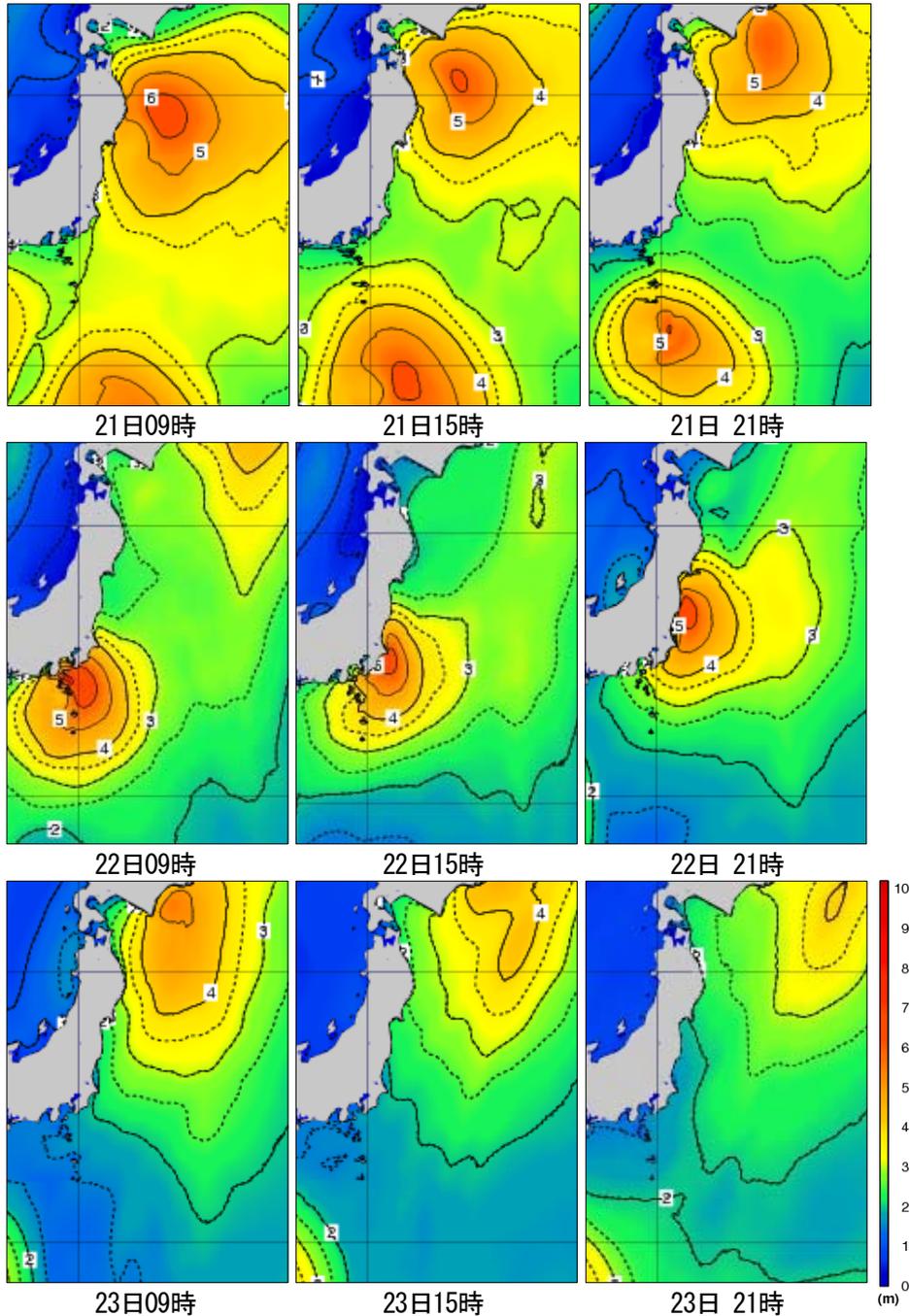
地点名	期間 合計	21日		22日		23日	
		日合計	日最大1時間 (起時)	日合計	日最大1時間 (起時)	日合計	日最大1時間 (起時)
山形	81.0	31.0	15.0(17時57分)	20.5	10.0(22時00分)	29.5	17.5(00時54分)
久慈	80.0	63.0	20.0(18時20分)	10.5	5.0(23時09分)	6.5	6.0(00時30分)
奥中山	90.5	10.5	10.5(16時38分)	43.5	20.0(24時00分)	36.5	22.0(00時14分)
下戸鎖	85.5	48.5	10.0(18時27分)	16.5	7.0(24時00分)	20.5	21.0(00時46分)
岩泉	81.5	39.5	10.5(02時23分)	30.0	16.0(24時00分)	12.0	24.5(00時30分)
刈屋	94.0	34.0	8.0(02時00分)	52.0	25.0(24時00分)	8.0	28.5(00時10分)
大槌	94.0	34.0	13.0(01時26分)	52.0	22.0(23時18分)	8.0	17.5(00時02分)
湯田	95.5	0.0	0.0(—)	64.5	26.5(20時39分)	31.0	21.0(01時16分)
新町	82.0	34.0	8.5(04時01分)	44.5	35.5(23時56分)	3.5	36.0(00時04分)
金ヶ崎	84.5	0.0	0.0(—)	58.5	25.0(22時42分)	26.0	17.5(01時32分)
祭時	93.0	0.5	0.5(04時03分)	79.5	30.5(21時44分)	13.0	12.0(00時08分)

○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)(8月21日～23日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
軽米	10.9	西北西	23日02時39分	20.4	西北西	23日02時45分
久慈	9.9	西南西	23日02時52分	19.5	西南西	23日02時52分
宮古	18.2	南東	23日00時18分	28.9	南南東	23日00時01分
遠野	15.1	西	23日02時12分	25.6	西	23日02時07分
新町	9.1	南南東	23日00時22分	19.5	北西	23日02時36分
釜石	10.3	西	23日02時35分	23.4	西	23日02時28分
江刺	12.8	西北西	23日01時31分	21.9	北西	23日01時28分
大船渡	15.3	南東	22日23時03分	24.7	南東	22日23時02分
千厩	8.8	東南東	22日22時50分	19.1	東南東	22日22時43分

※赤色は通年の極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

○沿岸波浪図(8月21日、22日、23日09時、15時、21時)



※波の高さ(有義波高)を等波高線で示す。等波高線は実線(1mごと)と破線(4m未満の領域のみ0.5mごと)で表示。

(2) 被害状況

(単位：千円)

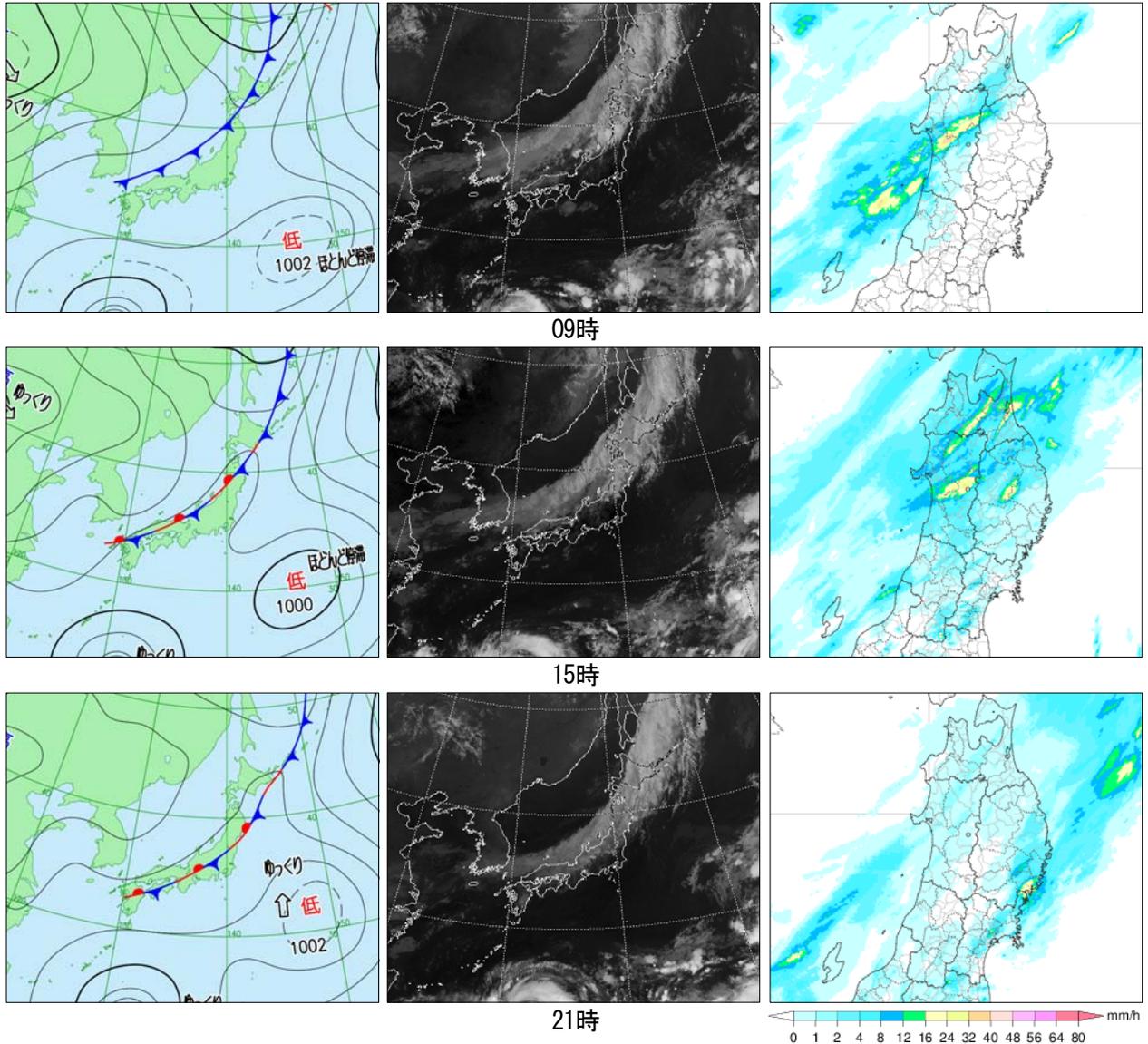
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	33,548	ビニルハウス・畜舎等20棟	奥州市、二戸市等5市町
	農作物	13,111	トマト等野菜0.4ha、ブルーベリー等果樹0.4ha、りんどう0.01ha、ホップ27.5ha	奥州市、遠野市等6市町
	農地・農業用施設	40,000	農地17箇所、水路等21箇所	盛岡市、一関市、二戸市
林業	林業施設	1,600	林道7箇所	住田町
水産業	漁港	29,950	漁港等14箇所	陸前高田市、大船渡市等4市町村
計		118,209		7市6町1村

12 8月26日の大雨災害

(1) 気象概況

オホーツク海の発達した低気圧からのびる寒冷前線が日本付近を通過した。このため、県内は北部を中心に局地的な大雨となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(8月26日09時、15時、21時)



○警報・注意報の発表状況(8月26日:岩手県)

警報	注意報	地域
大雨		沿岸北部、盛岡地域、二戸地域、花巻市、北上市
洪水		沿岸北部、盛岡地域、二戸地域、花巻市、北上市
	強風	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	宮古市、山田町
	大雨	沿岸南部、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、遠野市、西和賀町
	洪水	沿岸南部、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、遠野市、西和賀町
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(8月26日~27日)

	地域
第1号	二戸市

第2号	二戸市、一戸町
第3号	二戸市、八幡平市、一戸町
第4号	二戸市、八幡平市、軽米町、一戸町
第5号	二戸市、軽米町、一戸町
第6号	二戸市、一戸町
第7号	解除

○岩手県気象情報の発表状況(8月25日~27日)

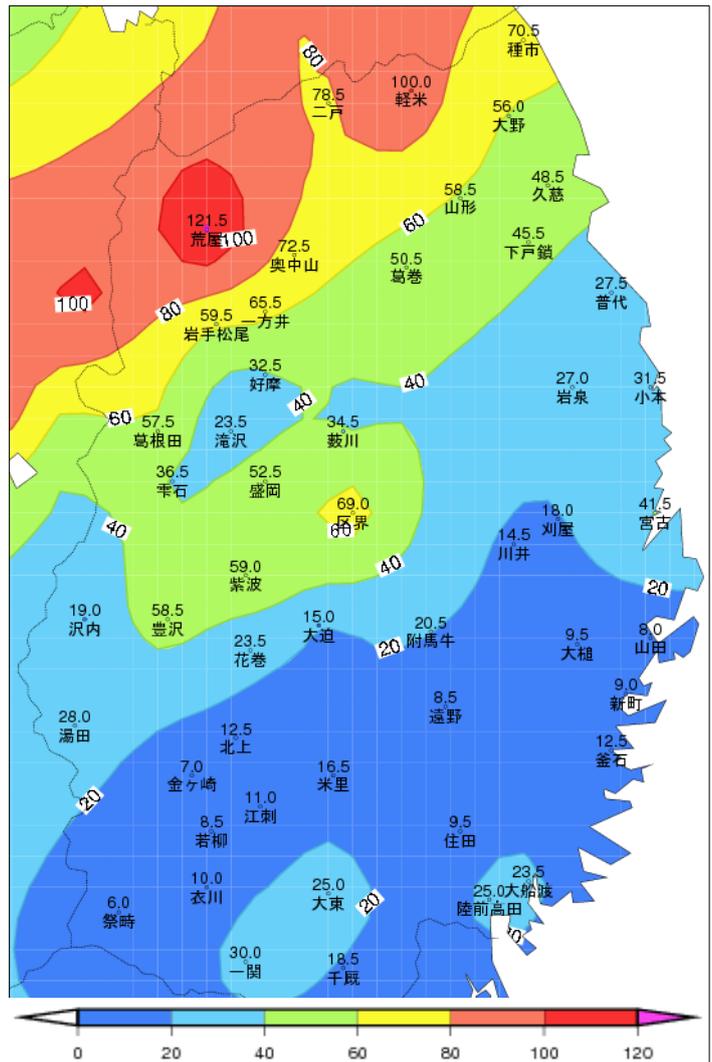
- ・大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第1号~第4号
- ・大雨と雷に関する岩手県気象情報 第5号、第6号

○主な地点の降水量(mm)(8月26日)

地点	日合計	日最大1時間(起時)
種市	70.5	19.5(12時29分)
軽米	100.0	34.5(11時55分)
二戸	78.5	22.5(11時09分)
荒屋	121.5	55.5(10時08分)
奥中山	72.5	29.0(16時26分)

※赤色は通年の極値(1位)を更新した値
(統計期間10年以上)

○日降水量分布図(mm)(8月26日)



(2) 被害状況

(単位：千円)

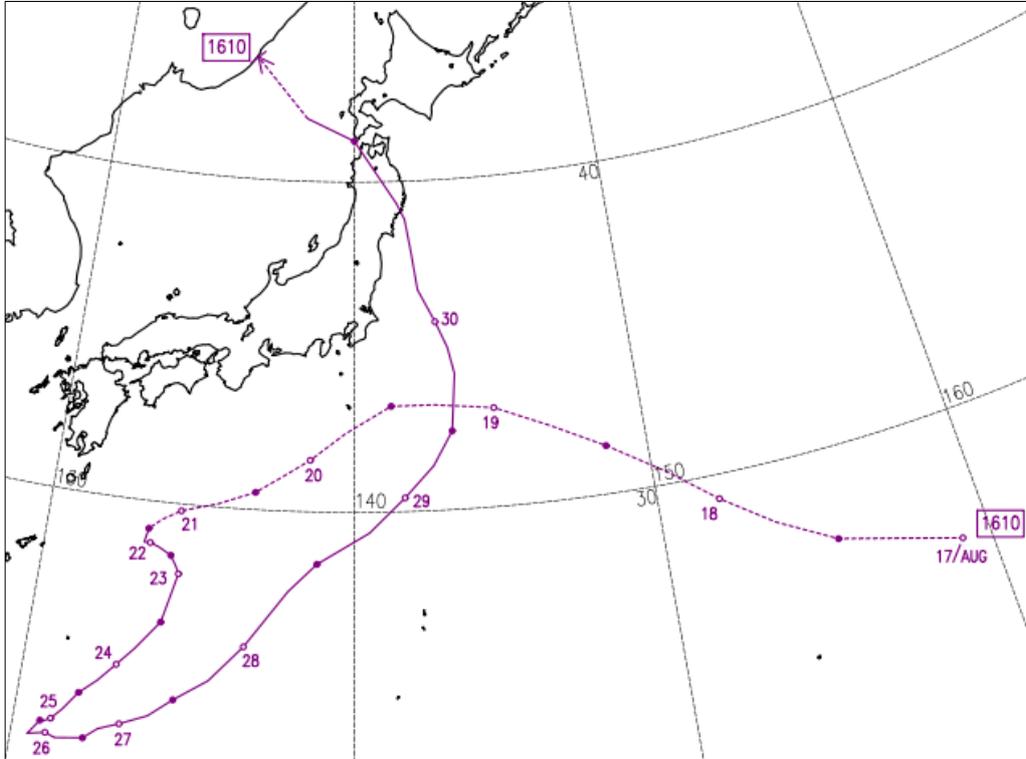
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農地・農業用施設	79,000	農地35箇所、農道等34箇所	二戸市、一戸町
林業 林業施設	4,000	林道2箇所	二戸市
計	83,000		1市1町

13 8月30日の台風第10号災害

(1) 気象概況

大型で強い台風第10号が三陸沖を北上して大船渡市付近に上陸、その後、東北地方北部を北西に進み日本海に達した。県内は非常に強い風や沿岸北部を中心に記録的な大雨となった他、海上は大荒れとなった。

○台風経路図



経路上の○印は傍らに記した日の午前9時、●印は午後9時の位置で→は消滅を示す。
経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。

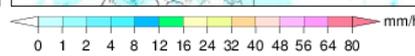
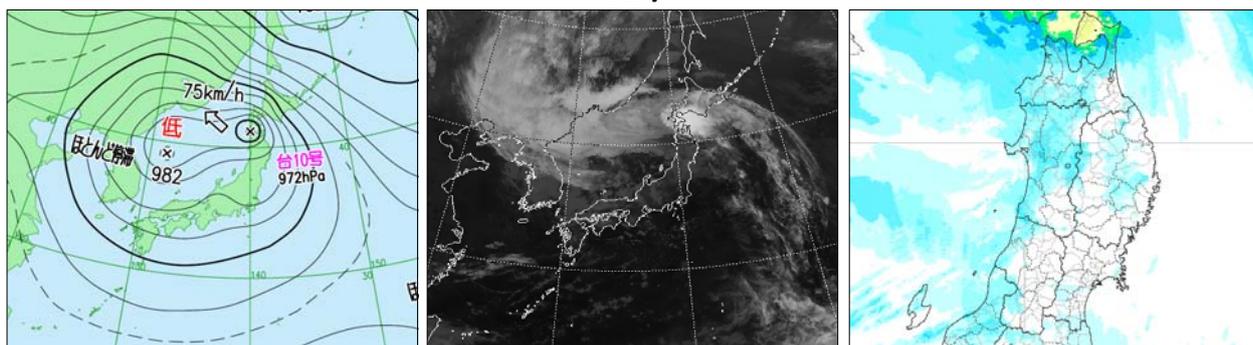
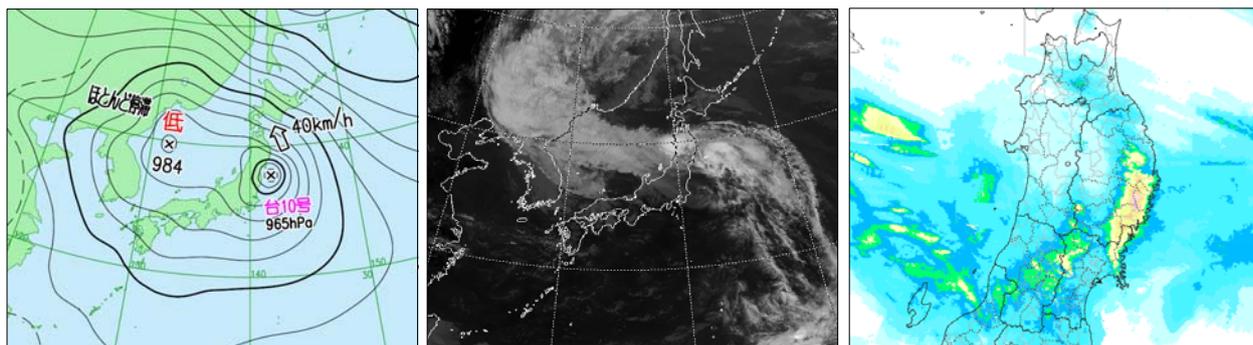
○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(8月30日09時、12時、15時、18時、21時)



09時



12時



○警報・注意報の発表状況(8月30日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風		岩手県
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
高潮		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨		岩手県
洪水		岩手県
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(8月30日~31日)

	地域
第1号	宮古市、大槌町、山田町
第2号	宮古市、久慈市、大槌町、山田町、岩泉町
第3号	宮古市、久慈市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村
第4号	宮古市、久慈市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村
第5号	盛岡市、宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、葛巻町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村
第6号	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、葛巻町、

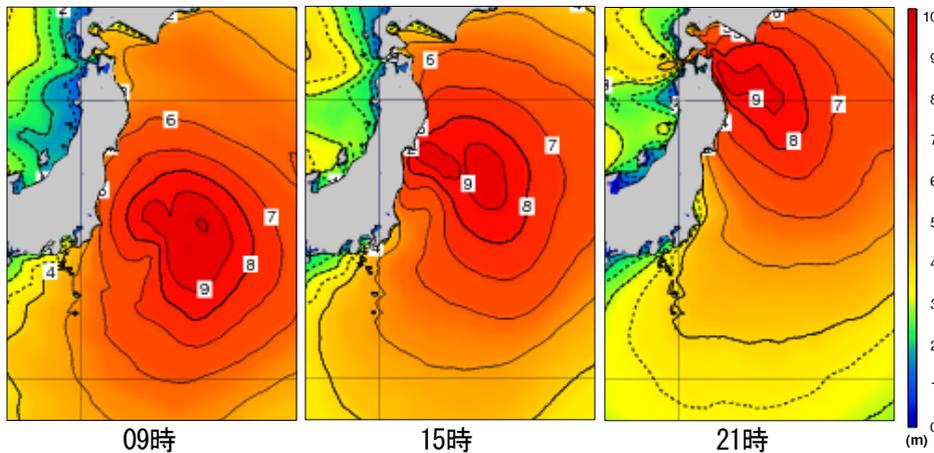
○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s) (8月30日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
軽米	12.9	東	18時48分	26.2	東	16時13分
山形	8.5	北北東	17時22分	25.3	北	17時19分
岩泉	11.3	東北東	15時01分	25.7	北北東	14時47分
小本	16.7	北東	16時51分	25.0	北東	16時50分
区界	12.4	東南東	15時07分	26.6	南東	14時20分
宮古	21.3	南東	18時32分	37.7	南東	18時04分
遠野	13.9	東北東	14時47分	31.1	東	14時38分
釜石	12.7	東南東	14時38分	26.7	東南東	15時04分
大船渡	10.9	東	14時10分	25.3	東南東	14時05分

※赤色は通年の極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

※黄色は8月として極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

○沿岸波浪図(8月30日09時、15時、21時)



※波の高さ(有義波高)を等波高線で示す。等波高線は実線(1mごと)と破線(4m未満の領域のみ0.5mごと)で表示。

(2)被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	4,968,491	パイプハウス・畜舎等648棟、農業機械966台	宮古市、久慈市、岩泉町等24市町村
	農作物	577,672	水稻279.8ha、大豆等豆類・雑穀46.6ha、きゅうり等野菜106.7ha、トルコギキョウ等花き1.8ha、牧草等飼料作物322.0ha、りんご等果樹200.9ha、ホップ等工芸作物23.2ha	宮古市、久慈市、岩泉町等21市町村
	家畜等	74,131	鶏36,090羽、乳用牛3頭、肉用牛3頭、馬2頭、山羊2頭、生乳139t、牧草ロール3,305個、乳製品流出	久慈市、岩泉町、軽米町等11市町村
	農地・農業用施設	8,630,000	農地1,250箇所、水路等881箇所	宮古市、遠野市、岩泉町等19市町村
林業	林業施設	9,265,880	林道1,691箇所、作業道96箇所、治山施設13箇所、林産施設24箇所、特用林産施設19箇所	宮古市、久慈市、岩泉町等19市町村
	林産物	211,933	木材2,194m ³ 、しいたけ等1,029t	宮古市、久慈市、岩泉町等7市町村

	森林・林地荒廃	1,988,107	森林5.8ha、山腹崩壊76箇所	久慈市、岩泉町、住田町等12市町
水産業	漁船	64,776	漁船113隻	宮古市、大船渡市、山田町等9市町村
	漁具	1,083,494	定置網等96件	久慈市、大船渡市、野田村等12市町村
	養殖施設	82,376	養殖棚760件	釜石市、大船渡市、山田町等10市町村
	水産物	426,733	かき、ほたて等236.9t	釜石市、宮古市、山田町等10市町村
	水産施設	57,839	水産関係施設等64件	釜石市、大船渡市、宮古市等9市町村
	ふ化場	1,962,289	さけふ化場9箇所	宮古市、岩泉町、野田村等7市町村
	内水面水産施設	151,880	養魚施設等15箇所	宮古市、久慈市、岩泉町等5市町村
	漁港	4,009,855	漁港等167箇所	宮古市、陸前高田市、大船渡市等12市町村
	計	33,555,456		11市12町4村

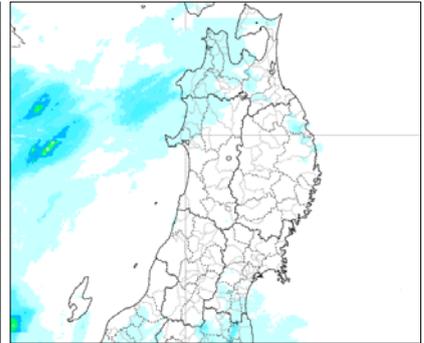
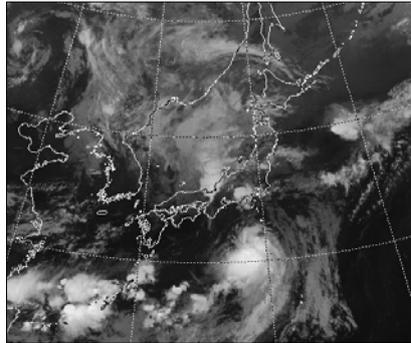
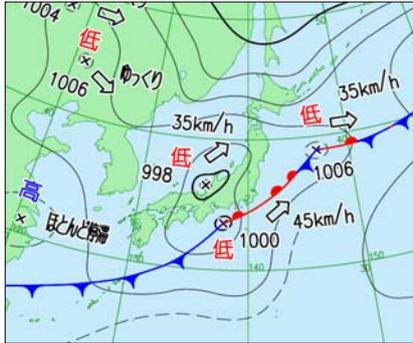
(単位:千円)

14 9月8日から9日の大雨災害

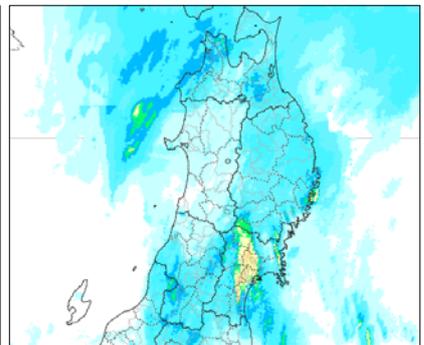
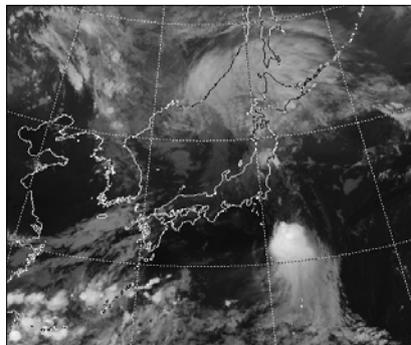
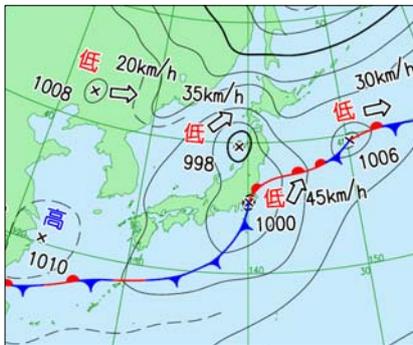
(1) 気象概況

8日から9日にかけて、台風第13号から変わった低気圧が日本の南を北東に進んだ後、三陸沖を北上した。また、別の低気圧が能登半島付近から秋田沖にかけて北東に進んだ。このため、県内は沿岸を中心に大雨となった。

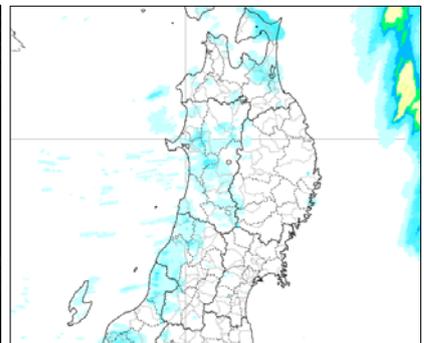
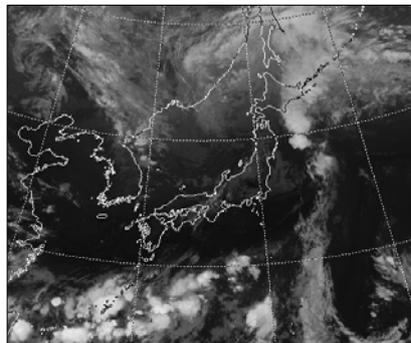
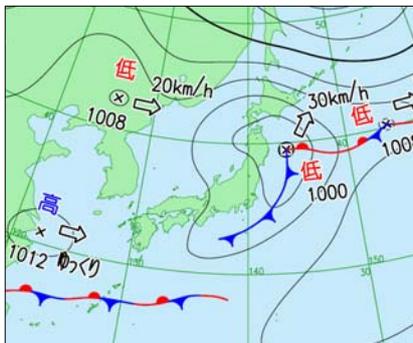
○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(9月8日、9日09時、21時)



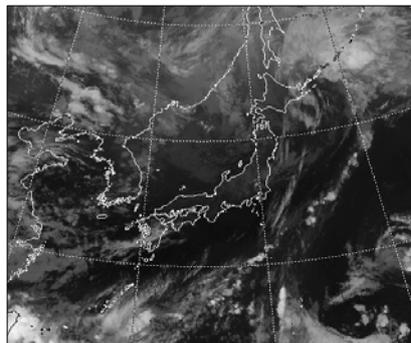
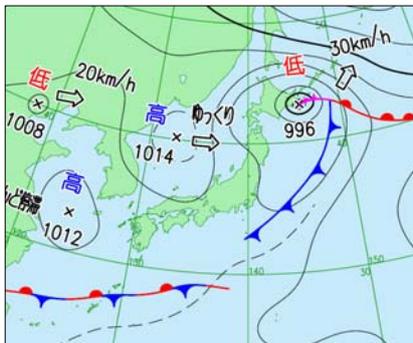
8日09時



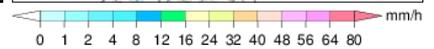
8日21時



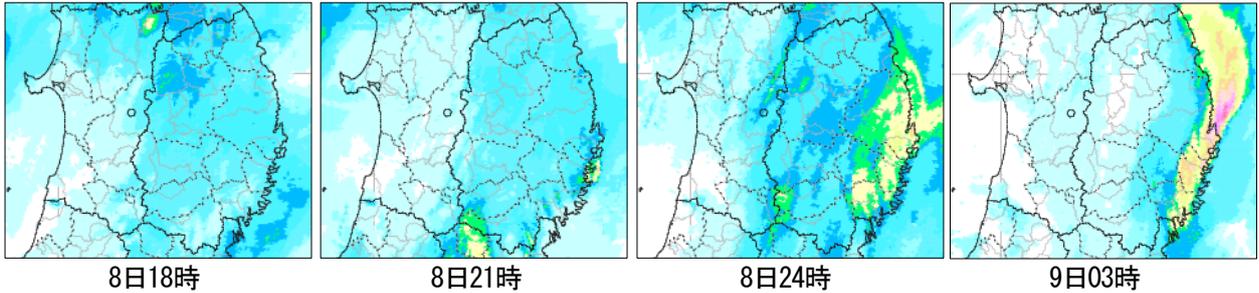
9日09時



9日21時



○解析雨量(9月8日18時、21時、24時、9日03時)



○警報・注意報の発表状況(9月8日～9日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨		沿岸北部、沿岸南部、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、遠野市
洪水		沿岸北部、沿岸南部、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、遠野市
	強風	内陸、住田町
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	大雨	盛岡地域、二戸地域、花北地域
	洪水	盛岡地域、二戸地域、花北地域
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(9月9日)

	地域
第1号	宮古市、釜石市、大槌町
第2号	宮古市、大船渡市、遠野市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町
第3号	宮古市、大船渡市、遠野市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村
第4号	宮古市、釜石市、大槌町、山田町
第5号	宮古市
第6号	解除

○岩手県気象情報の発表状況(9月7日～9日)

- ・平成28年 台風第13号に関する岩手県気象情報 第1号～第3号
- ・大雨と暴風及び高波に関する岩手県気象情報 第1号～第9号

○主な地点の降水量(mm)(9月8日～9日)

地点名	期間合計	8日		9日	
		日合計	日最大1時間(起時)	日合計	日最大1時間(起時)
下戸鎖	116.0	86.5	10.0(19時23分)	29.5	17.5(02時25分)
普代	110.0	59.0	13.5(24時00分)	51.0	24.5(02時22分)
岩泉	113.0	76.5	12.5(24時00分)	36.5	15.5(02時18分)
小本	131.0	56.5	16.5(23時59分)	74.5	34.0(02時03分)
宮古	193.5	73.5	27.5(24時00分)	120.0	49.0(02時22分)
大槌	156.0	62.5	25.0(24時00分)	93.5	35.5(01時23分)
山田	165.5	93.5	29.0(23時30分)	72.0	38.0(03時04分)
新町	155.0	88.0	29.5(23時16分)	67.0	45.5(03時10分)
釜石	137.0	93.5	26.5(22時58分)	43.5	20.5(03時27分)
祭時	112.5	111.5	25.0(22時19分)	1.0	14.0(00時06分)

(2) 被害状況

(単位：千円)

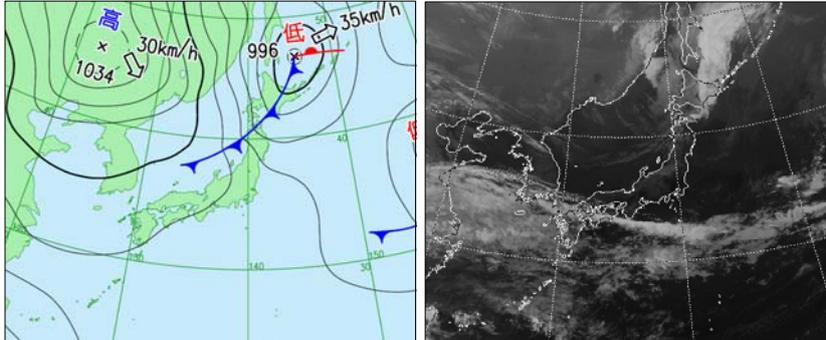
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	12,000	農地4箇所	一関市、山田町
計		12,000		1市1町

15 10月20日から21日の強風災害

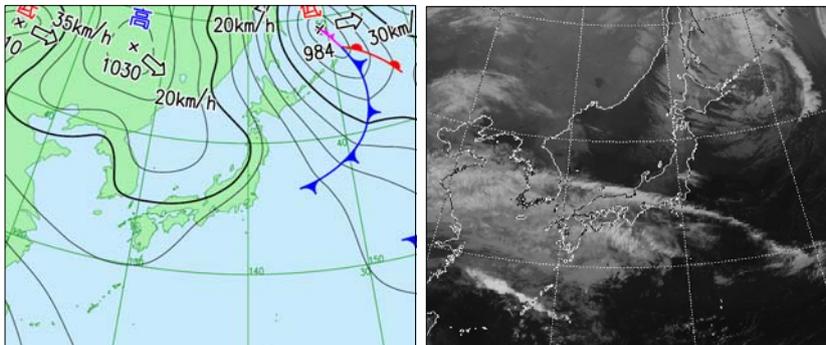
(1) 気象概況

20日、サハリンにある低気圧が急速に発達しながら東北東に進み、そこからのびる寒冷前線が北日本を通過、21日にかけて北日本は西高東低の気圧配置となった。このため、県内は西よりの強風となった。

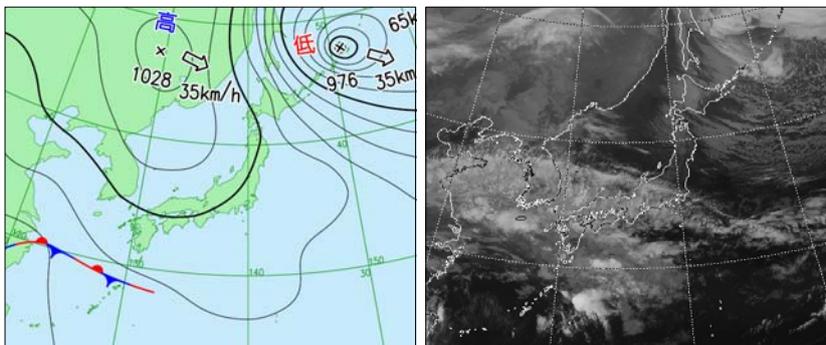
○地上天気図、気象衛星赤外画像(10月20日、21日09時、21時)



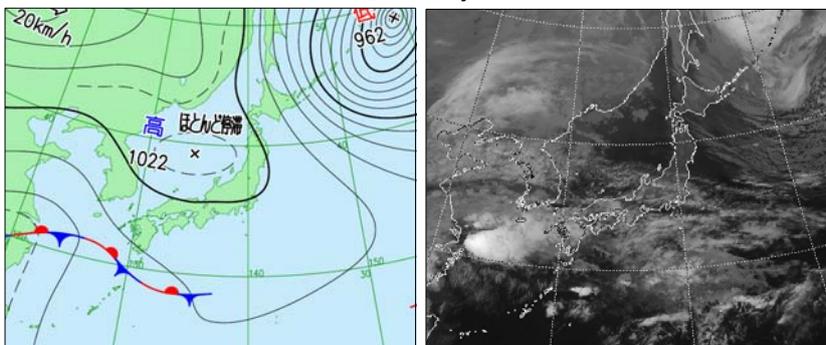
20日09時



20日21時



21日09時



21日21時

○警報・注意報の発表状況(10月20日～21日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	岩手県

	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	沿岸北部
	雷	内陸
	濃霧	岩手県
	霜	岩手県

○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)(10月20日～21日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
岩手松尾	9.6	西北西	20日14時07分	21.3	西	20日17時11分
岩泉	10.9	西	20日17時39分	21.1	西	20日19時39分
小本	8.7	南西	20日10時50分	20.9	南西	20日10時44分
雫石	10.8	西	20日17時25分	20.4	西	20日16時54分
宮古	8.8	西南西	20日14時54分	21.4	西	20日14時50分
川井	10.9	南南西	20日18時31分	27.3	南西	20日20時28分
遠野	11.6	西	20日16時39分	20.3	西北西	20日18時12分
新町	11.2	西北西	20日12時05分	26.7	西北西	20日17時32分
釜石	9.9	西	20日19時03分	22.1	西	20日18時50分
若柳	12.7	西	20日14時55分	21.3	西	20日14時38分
大船渡	16.7	北西	20日18時24分	28.3	北西	20日22時15分

※黄色は10月として極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

(2)被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	1,151	パイプハウス35棟	北上市、陸前高田市、金ヶ崎町等4市町
	農作物	12,542	りんご115.7ha	北上市、奥州市、陸前高田市
計		13,693		3市1町

16 11月22日の津波災害

(1) 概要

11月22日05時59分に福島県沖の深さ12kmでM7.4の地震が発生し、福島県、茨城県、栃木県で震度5弱を観測した他、東北地方を中心に北海道から中国地方にかけて震度4~1を観測した(県内は震度3~1)。この地震により、宮城県仙台港で144cm、福島県の相馬で83cmの津波を観測するなど、北海道から和歌山県にかけての太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島で津波を観測した。岩手県では、久慈港で79cm、宮古で35cm、釜石で23cm、大船渡で33cmの津波を観測した。

○岩手県の津波注意報の発表状況

日時分	内容
22日06時02分	津波注意報発表
22日12時50分	津波注意報解除

○津波の観測値(岩手県:11月22日)

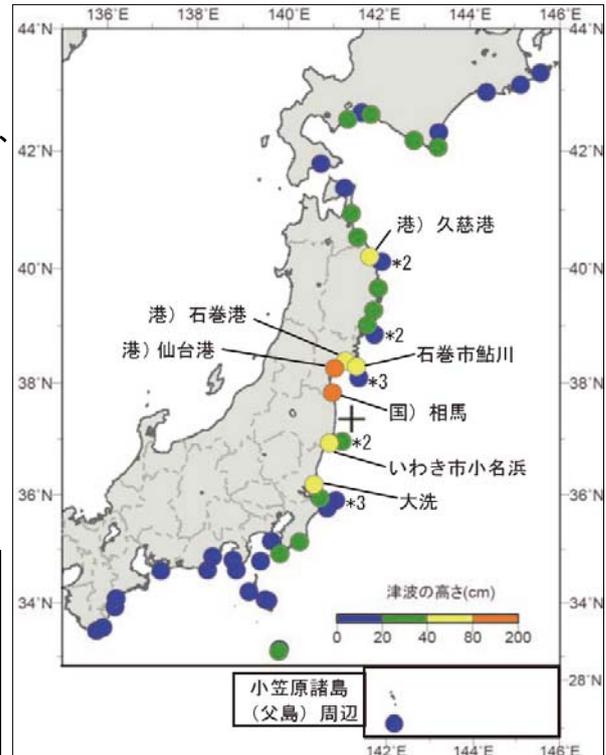
津波観測施設名 (所属)	第一波 到達時刻	最大波 (発現時刻)
久慈港 (国土交通省港湾局)	07時26分	79cm (07時54分)
宮古 (気象庁)	07時05分	35cm (08時09分)
釜石 (海上保安庁)	07時03分	23cm (08時59分)
大船渡 (気象庁)	06時56分	33cm (07時56分)
久慈沖 (国土交通省港湾局)※	—	0.1m (10時28分)

※GPS波浪計により観測された海面昇降を検潮所の観測値と同様の手法で読み取った値(観測単位は0.1m)

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域	
水産業	漁具	4,775	サケ捕獲施設8箇所、定置網1ヶ統	大船渡市、陸前高田市、釜石市等4市
	養殖施設	321	養殖棚2台	大船渡市
計	5,096		4市	



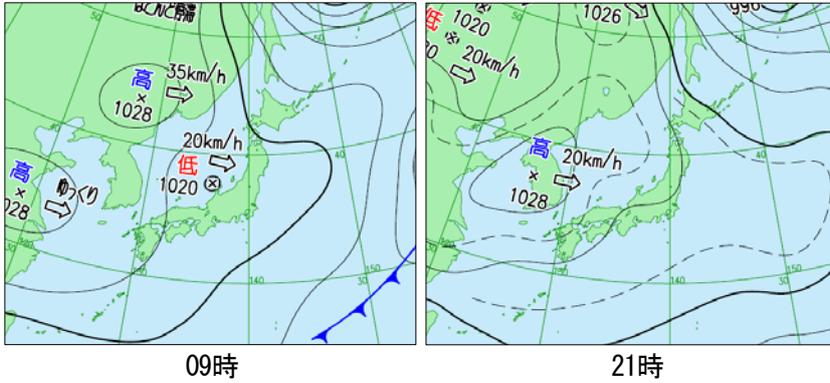
国内の津波観測施設で観測した津波の最大の高さ(+印は震央を表す)

17 11月25日の低温災害

(1) 気象概況

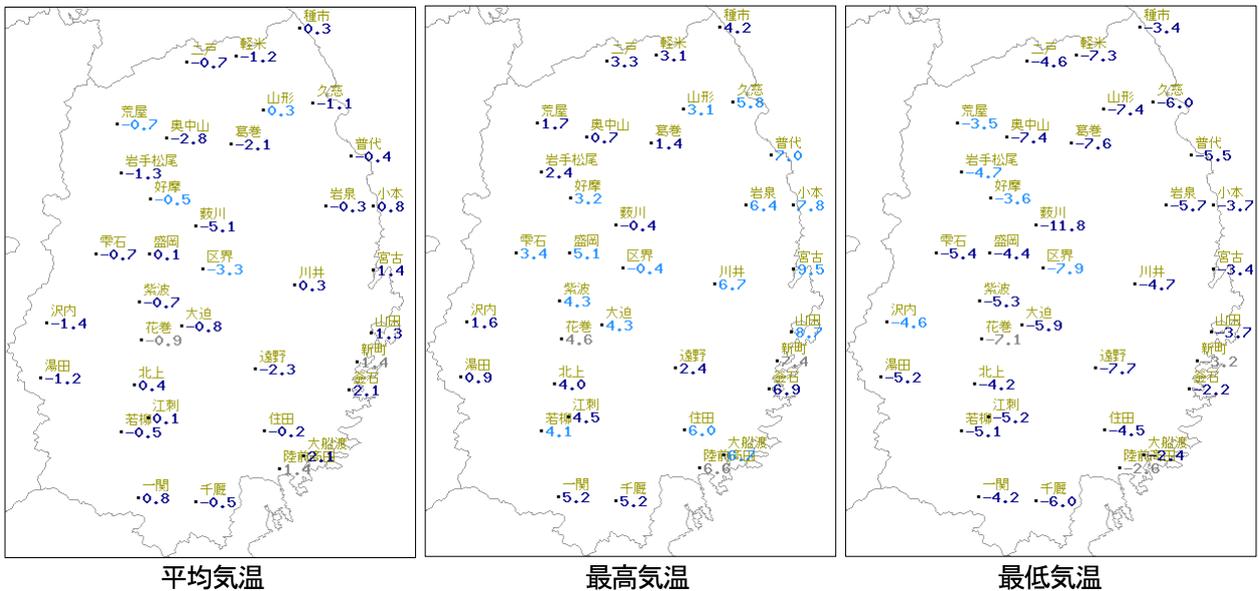
日本付近は気圧の谷となり、東北地方の上空約5500メートル付近に氷点下30度の強い寒気が流入し、県内は終日低温となった。

○地上天気図(25日09時、21時)

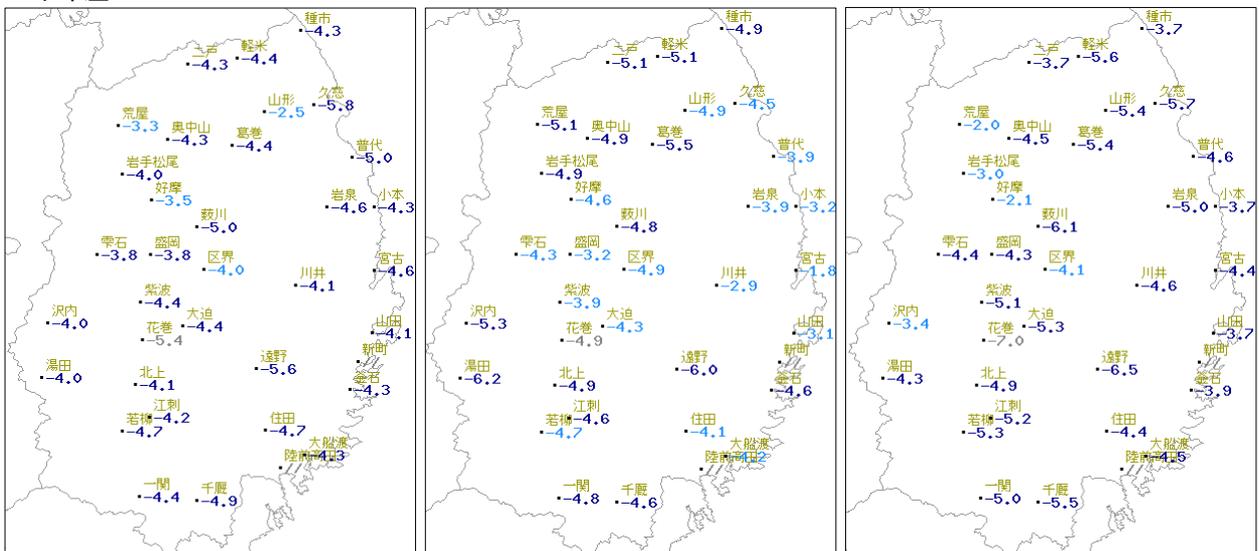


○気温(°C)の実況と平年差(11月25日)

・実況



・平年差



平均気温

最高気温

最低気温



○警報・注意報の発表状況(11月25日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	沿岸北部
	低温	岩手県

(2) 被害状況

(単位:千円)

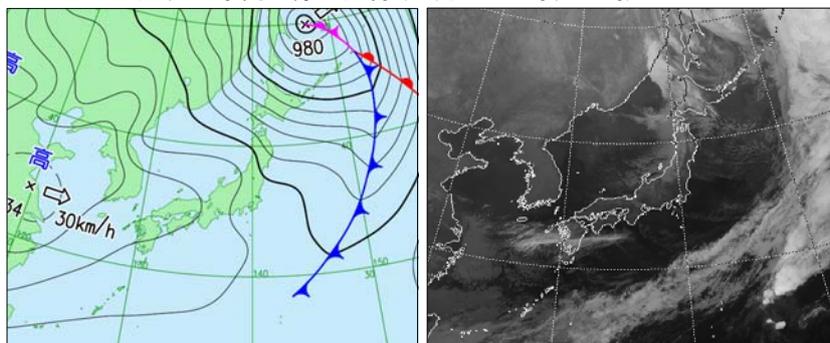
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農作物	1,609	りんご18ha	奥州市
計	1,609		1市

18 12月2日の強風災害

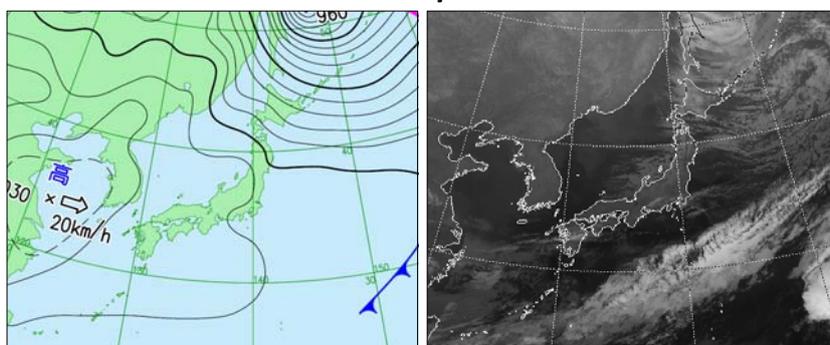
(1) 気象概況

サハリン付近の前線を伴う低気圧が急速に発達しながら北東に進み、日本付近は強い冬型の気圧配置となったため、県内は西よりの強風となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(12月2日09時、21時)



09時



21時

○警報・注意報の発表状況(12月2日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	風雪	岩手県
	強風	内陸、住田町
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	雷	内陸
	乾燥	沿岸北部
	濃霧	内陸

○岩手県気象情報の発表状況(12月2日)

・暴風に関する岩手県気象情報 第1号、第2号

○主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)(12月2日)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	値	風向	起時	値	風向	起時
久慈	12.8	西	09時51分	23.1	西	12時21分
盛岡	11.5	西南西	11時01分	23.6	西	10時54分
宮古	10.5	西南西	09時41分	24.1	西南西	12時05分
紫波	14.2	西	11時50分	23.2	西	13時32分
山田	8.6	西北西	10時55分	25.8	西	11時18分
新町	14.6	西北西	12時01分	29.9	北西	11時52分
釜石	13.3	西	12時01分	25.8	西	10時12分
若柳	18.1	西	11時06分	26.8	西北西	12時00分

江刺	14.8	西北西	12時10分	24.3	西北西	12時51分
大船渡	13.1	北北西	15時05分	25.2	北北西	10時57分
一関	10.7	西北西	11時00分	23.8	西	11時25分

※赤色は通年の極値(1位)を更新した値(統計期間10年以上)

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	2,775	パイプハウス破45棟	花巻市、北上市
水産業	漁船	2,657	漁船7隻	釜石市、宮古市、大槌町
	水産施設	18,260	水産関係施設4箇所	宮古市
計		23,692		5市町

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1 1月18日から21日の暴風雪・波浪災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報を提供した。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

(2) 水産関係被害

漁船や施設の被害については、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。生産物被害についても、漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんする共済金が支払われた。

(3) 漁港施設関係被害

漁港施設について、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（以下「負担法」）の採択基準を満たす被害があり、国に対し40箇所2,812,738千円の採択を申請した。

国による災害査定は、4月18日から5月20日にかけて実施され、40箇所2,600,955千円が採択された。

2 8月17日の台風第7号災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報を提供した。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる農作物等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

(2) 農業施設被害

ア 被災農家への対策

被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

(3) 農地・農業用施設被害

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費40万円以上の箇所について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律（以下「暫定法」）に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し7箇所18,993千円の採択を申請した。

国による災害査定は、10月31日から11月2日にかけて実施され、7箇所18,967千円が採択された。

(4) 林業施設被害

被災した林業施設（林道）について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し3箇所5,422千円の採択を申請した。

国による災害査定は、10月31日から11月2日にかけて実施され、3箇所4,920千円が採択された。

(5) 漁港関係被害

漁港施設について、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（以下「負担法」）の採択基準を満たす被害があり、国に対し1箇所5,180千円の採択を申請した。

国による災害査定は、11月7日から11日にかけて実施され、1箇所5,180千円が採択された。

3 8月30日の台風第10号災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報を提供した。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる農作物等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

ウ 復旧対策事業

農作物災害復旧事業（県単）により、被害を受けた野菜等の播き直しや、土砂流入等により収穫困難となった牧草等の代替飼料の確保を支援した。

(2) 畜産関係被害

家畜導入緊急支援対策事業（県単）により、牛の溺死や搾乳中止により乳牛を廃用する畜産農家に対し、新たな家畜の導入を支援した。

(3) 農業施設被害

ア 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる園芸施設（パイプハウス等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

イ 復旧対策事業

台風第10号による農業被害により被災した農業者に対し、農業経営を維持していくため必要な施設・機械の復旧等について、被災農業者向け経営体育成支援事業により、緊急的に支援した。

また、強い農業づくり交付金により、岩泉乳業株式会社の生乳加工施設の復旧を支援した。

(4) 農地・農業用施設被害

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費 40 万円以上の箇所について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律（以下「暫定法」）に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し 309 箇所 2,583,979 千円の採択を申請した。

国による災害査定は、10 月 31 日から 12 月 21 日にかけて実施され、309 箇所 2,472,111 千円が採択された。

(5) 林業関係被害

ア 林業施設被害

被災した林業施設（林道）について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し 331 箇所 5,959,008 千円の採択を申請した。

国による災害査定は、10 月 26 日から 12 月 22 日にかけて実施され、331 箇所 5,456,785 千円が採択された。

イ 林産施設等被害

次世代林業基盤整備づくり交付金等により、操業停止となった製材工場等の復旧を支援した。

ウ 森林・林地荒廃

災害関連緊急治山事業と治山激甚災害対策特別緊急事業により、林地荒廃被害による再度災害を防止する治山施設を整備した。

(6) 水産関係被害

水産業共同利用施設災害復旧事業と水産業復旧緊急支援対策事業により、被災したサケ・マスふ化場の復旧を支援した。

漁船や施設の被害については、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。生産物被害についても、漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんする共済金が支払われた。

(7) 漁港関係被害

漁港施設について、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（以下「負担法」）の採択基準を満たす被害があり、国に対し 32 箇所 2,394,012 千円の採択を申請した。

国による災害査定は、11 月 7 日から 11 日及び 12 月 5 日から 9 日にかけて実施され、32 箇所 1,990,915 千円が採択された。

V 参考資料

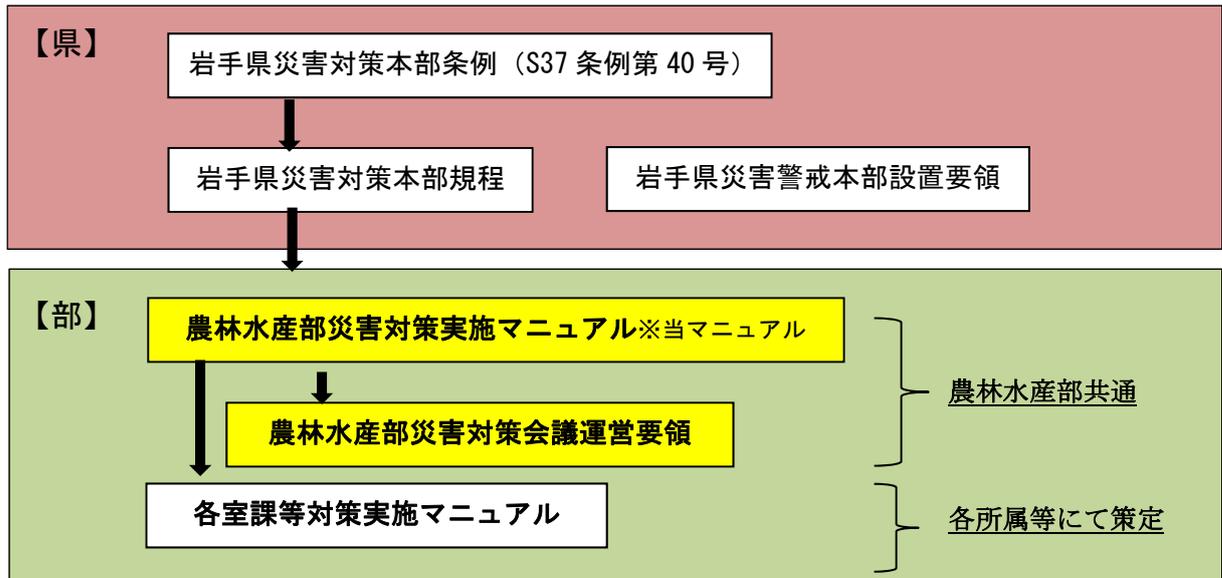
農林水産部災害対策実施マニュアル

制 定 平成 15 年 5 月 1 日
最終改定 平成 27 年 4 月 28 日

このマニュアルは、『岩手県災害対策本部規程（平成 8 年岩手県災害対策本部長訓令第 2 号）』第 9 条の規定により農林水産部の災害対策について必要な事項を定めたものである。

I 災害対策に係る例規等の体系

【災害対策に係る例規等の体系図】



II 災害応急対策の体系

1 『岩手県地域防災計画』

県の地域に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合（以下「災害発生時」という。）において、県が行う災害応急対策は、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」に定めるところにより実施する。

2 『岩手県災害警戒本部』、『岩手県災害特別警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置

災害予防及び災害応急対策は、災害発生規模等により岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部を設置して行われる。

また、岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部が設置された場合は、『岩手県災害警戒本部設置要領』別表又は『岩手県災害対策本部規程』別表第 5 に定める所管区域ごとに、関係する所管区域に地方支部が設置される。

なお、岩手県災害対策本部が設置された場合は、広域振興局に広域支部が設置される。

3 『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部〇〇広域支部運営要領』、『岩手県災害対策本部〇〇地方支部運営要領』

岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部の防災活動又は応急対策の具体的な活動は、これらの要領等に基づいて実施される。

4 「農林水産部災害対策実施マニュアル」

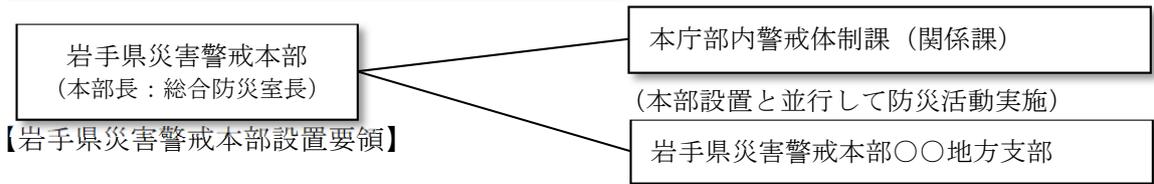
当マニュアルは、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」及び上記要領等を踏まえ、農林水産部における災害対策に係る体制や具体的活動方法等を定めたものである。

《災害応急対策等の体系図》

★岩手県災害警戒本部の設置

主な設置基準

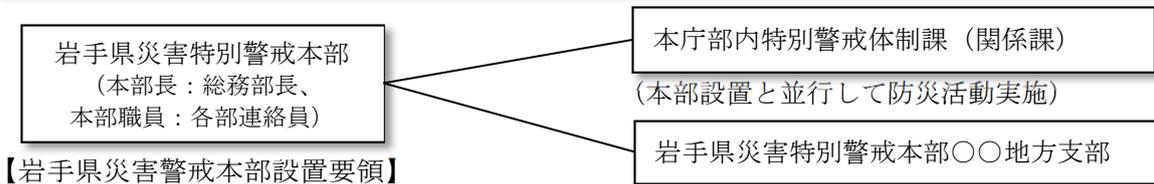
- 気象警報又は洪水警報などが発表された場合
- 北上川上流、雫石川、猿ヶ石川洪水予報のうち洪水警報（はん濫警戒情報・はん濫危険情報・はん濫発生情報）が発表された場合
- 大規模な火災、爆発等が発生した場合で、総合防災室長が必要と認めたとき
- 県内に震度4又は震度5弱の地震が発生した場合
- 原子力事業者から原子力災害対策指針に示された警戒事態に該当する事象等の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害特別警戒本部の設置

主な設置基準

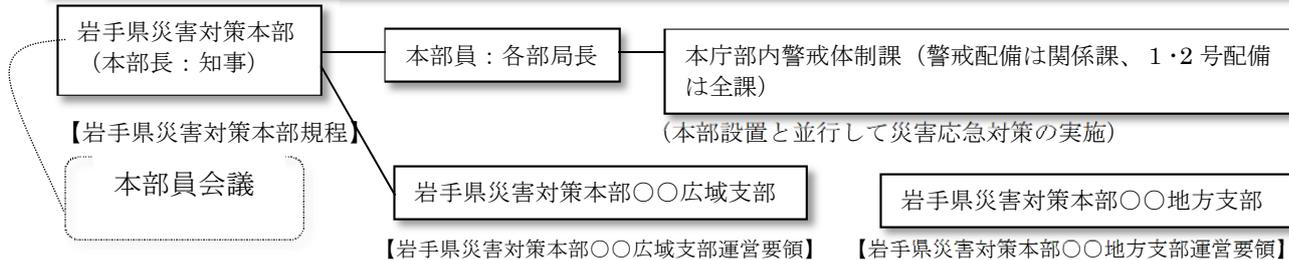
- 災害警戒本部の設置基準において、総務部長が応急措置の実施のため関係機関との調整が必要と判断したとき
- 津波注意報が発表された場合
- 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報レベル3が発表された場合
- 原子力事業者から特定事象に関する通報があった場合
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事故の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害対策本部の設置

主な設置基準

- 相当規模の災害の発生のおそれがある場合
- 相当規模の災害が発生した場合
- 津波警報が発表された場合
- 県内に震度5強以上の地震が発生した場合
- 岩手山等の噴火警戒レベル4が発表された場合
- 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき



Ⅲ 災害対策本部の配備体制

1 職員の配備（県災害対策本部規程第 27 条）

災害発生時における職員の配備は、岩手県災害対策本部が設置された場合の配備体制の区分に応じて実施する。

配備体制の区分は、①指定職員配備（1号）、②主査以上配備（2号）、③全職員配備（3号）となっている。

また、気象予報・警報が発表された場合は、必要に応じ関係課において独自に警戒態勢をとり、防災活動を実施する。

2 配備職員への指示

配備体制に伴う職員への指示は、次のとおりである。

- (1) 本部連絡員は、県災害対策本部の指示により執務する。
- (2) 部内各室課（「V 分掌事務等」に掲げる本庁各室課）の職員は、農林水産部長の指示を受けた所属長の指示より執務する。
- (3) 広域振興局農林水産担当部等（「V 分掌事務等」に掲げる広域振興局農林水産担当部等。以下同じ。）の職員は各地方支部長の指示を受けた所属長に指示により、出先機関（「V 分掌事務等」に掲げる出先機関。以下同じ。）の職員は所属長の指示により、それぞれ執務する。

指定職員配備体制

区 分	説 明
配備基準	<p>1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>(ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちのはん濫警戒情報、はん濫危険情報又ははん濫発生情報（洪水警報） (カ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。）</p> <p>2 次に掲げる警報のいずれかが発表された場合</p> <p>(ア) 気象特別警報 (イ) 高潮特別警報 (ウ) 波浪特別警報</p> <p>3 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>4 津波警報が発表されたとき</p> <p>5 県内に震度5強の地震が発生したとき</p> <p>6 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル4が発表された場合</p> <p>7 八幡平又は栗駒山に噴火警報（居住地域）又は噴火警報が発表された場合</p> <p>8 原子力事業者（原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号。以下「原災法」という。）第2条第3号に規定する原子力事業者のうち本県に隣接する県の区域に同条第4号に規定する原子力事業所を設置するものをいう。以下同じ。）から原子力緊急事態（原災法第2条第2号に規定する原子力緊急事態をいう。以下同じ。）の発生に関する通報があり、かつ、当該原子力緊急事態の影響が本県の区域</p>

		<p>に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策（原災法第2条第5号の規定する緊急事態応急対策をいう。以下同じ。）を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>9 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故（原災法第2条第2号に規定する事業所外運搬に係る事故をいう。以下同じ。）による特定事象（原災法第10条第1項に規定する事象のことをいう。以下同じ。）又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、当該特定事象又は当該原子力緊急事態の影響が本県の区域に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>10 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>	
本 庁	活動要領	部長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。また、必要に応じて次の措置を講じる。</p> <p>(1) 災害対策本部員会議への付議</p> <p>(2) その他必要と認める事項の処理</p> <p>2 予測される災害に対処し、必要と認められる物資、車両、機材等を点検整備し、直ちに使用できるよう準備を整える。</p> <p>3 予測される災害に対処し、必要と認める予防措置を検討し、被害を最小限に止めるために必要な計画を検討する。</p> <p>4 状況の推移に応じて、次の配備体制に応じ得る体制を整える。</p>
		各室課の長	<p>(農林水産企画室長処理事項)</p> <p>本庁関係課、広域振興局農林水産担当部及び出先機関から収集した情報を部長に報告し、かつ、災害対策本部長に報告する。</p> <p>(各室課の長共通処理事項)</p> <p>1 マニュアルに従い、広域振興局農林水産担当部から収集した災害情報等の処理に当たる。</p> <p>2 部長の指示、命令事項の処理に当たる。</p>
	配備職員	農林水産企画室、農村建設課、林業振興課、森林整備課、森林保全課及び漁港漁村課の長並びに部長が特に必要と認める課の主任主査以上の職員及び防災・庶務担当及び各課の長があらかじめ指名する職員	
産 担 当 部 等	活動要領	長 水産担当部長 広域振興局農林水産担当部長等	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、本庁関係課及び農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、支部長に対し応援を要請する。</p>
	配備職員	広域振興局農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員	
出 先 機 関	活動要領	出先機関の長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、農林水産企画室長に対し応援を要請する。</p>
	配備職員	部長が特に必要と認める出先機関の課長以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員	

主 査 以 上 配 備 体 制

区 分		説 明	
配備基準		<p>1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が、主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>(ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 気象特別警報 (カ) 高潮特別警報 (キ) 波浪特別警報 (ク) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちのはん濫警戒情報、はん濫危険情報又ははん濫発生情報（洪水警報） (ケ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。）</p> <p>2 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>3 津波警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>4 県内に震度6弱の地震が発生したとき</p> <p>5 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル5が発表された場合</p> <p>6 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、原子力緊急事態宣言（原災法第15条第2項に規定する原子力緊急事態宣言をいう。以下同じ。）に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県に隣接する県の区域が含まれる場合において、本部長が主査以上配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>7 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>	
本 庁	活動要領	部長	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、災害応急対策を実施する。
		長 各室課の	(農林水産企画室長処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。 (各室課の長共通処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。
	配備職員	すべての室課の主査相当職以上の職員及び各室課の長があらかじめ指名する職員	
担 当 部 等 広 域 振 興 局 農 林 水 産	活動要領	長 水産担当部等の 広域振興局農林	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員	すべての所属の主査相当職以上の職員及び広域振興局農林水産担当部等の長があらかじめ指名する職員	

出先機関	活動要領	出先機関の長	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員		すべての出先機関の主査相当職以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員

全職員配備体制

区分		説明
配備基準		1 大規模な災害が発生した場合において、本部長が本部のすべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。 2 津波警報（大津波）が発表された場合 3 県内に震度6強又は震度7の地震が発生した場合 4 原子力緊急事態宣言がなされた場合において当該原子力緊急事態宣言に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県の区域が含まれる場合又は本県の区域が含まれることが想定される時。 5 その他本部長が特に必要と認めた場合
本庁	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
等産局広 担農域 当農振 部林興 部水興	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
関出 先機	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員

【備考】出先機関の配備体制は、次のとおりとする。

- 1 当該機関の周辺区域において上記の配備基準に該当する災害が発生した場合等に、各配備体制をとるものとする。
- 2 農林水産企画室長からの配備指令があるまでの間の配備体制について、各機関で作成した行動マニュアルに上記と異なる規定をした場合は、それによることができる。

3 本部連絡員（県災害対策本部規程第8条）

本部に、本部連絡員を置き、農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

本部員連絡員の職務

災害対策本部が設置された場合に、本部長の命令伝達、各部門・部内の連絡調整及び情報収集の事務を担当する。

4 緊急初動要員（県災害対策本部規程第28条の2）

本部（及び地方支部）に、緊急初動要員を置き、本部にあつては農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

緊急初動要員の職務

本部（又は地方支部）の体制が整うまでの間、災害応急対策に係る情報収集・指示、本部支援室・地方支部・関係機関との連絡調整等に関する事務を行う。

5 災害対策本部支援室、調査班への職員派遣（県災害対策本部規程第 23 条、第 25 条）

岩手県災害対策本部に本部支援室が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、支援室各班の業務への従事を命ぜられることがある。また、調査班が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、災害地に派遣されることがある。

本部支援室班員は総務部長が、調査班員は本部支援室長が、それぞれ農林水産部長と協議して指名する。



6 農林水産部調査班

農林水産部長が必要と認めた場合、県災害対策本部の調査班とは別に部調査班を設け、現地に職員を派遣することがある。

班員は、農林水産企画室長が部内関係課総括課長と協議して指名する。



7 現地作業班（県災害対策本部規程第 26 条）

本部長は、災害地における応急対策活動上必要があると認められるときは、現地作業班（医療班、防疫班等）を設け、災害地に派遣する。

農林水産部所掌業務に係る「現地作業班」が設置された場合は、班長、副班長及びその他の班員を農林水産部長が指名する。



8 標識の着用（県災害対策本部規程第 35 条）

災害応急対策事務に従事するとき、又は災害応急対策業務に自動車を使用するときは、定められた腕章又は標識旗を着用する。

IV 非常招集

1 非常招集の方法

(1) 配備指令による参集（県災害対策本部規程第 29 条）

① 農林水産部長は、県災害対策本部長から配備指令を受けたときは、速やかに「農林水産部非常招集系統図」（別途定める）により本庁各室課の長に連絡する。

【県災害対策本部長からの配備指令は、携帯電話（災害用）を利用して、部長のほか、副部長、各担当技監及び本部連絡員にも伝えられる。】

② ①の連絡を受けた本庁各室課の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

③ 広域振興局農林水産担当部等の長は、所轄の地方支部長から配備体制の指令を受けたときは、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

④ 農林水産企画室長は、必要に応じて関係する出先機関の長に連絡する。

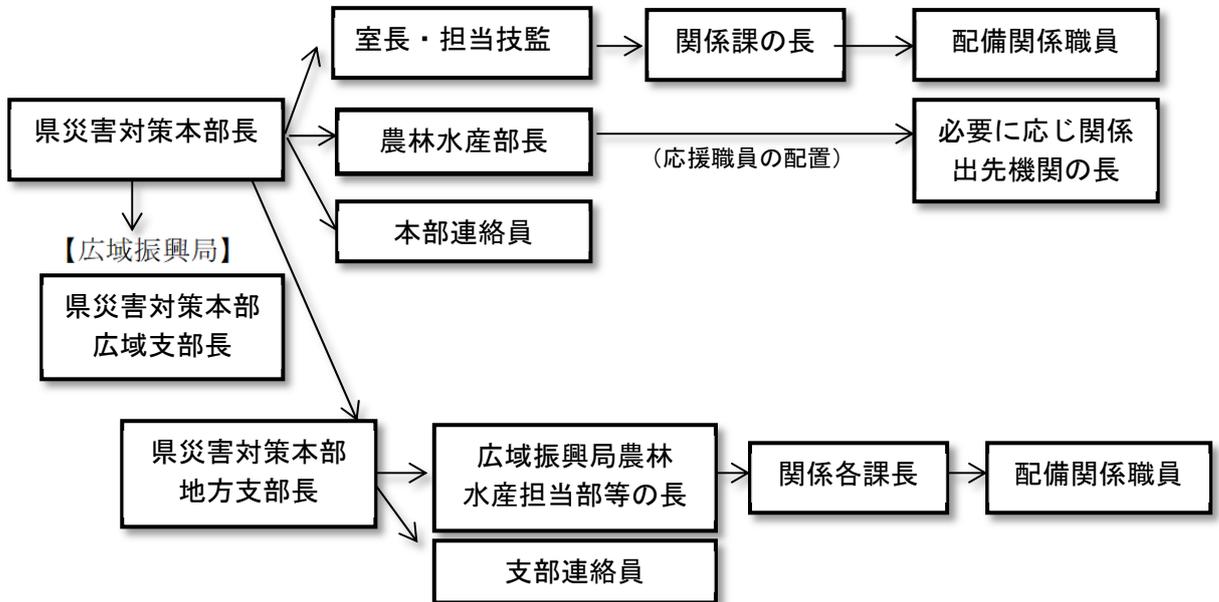
⑤ ④の連絡を受けた出先機関の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に

連絡する。

⑥ ①から⑤の連絡を受けた職員は、速やかに参集し、配備体制をとるものとする。

《非常招集体系図》

【本庁・出先機関】



(2) 自主参集（県災害対策本部規程第 30 条）

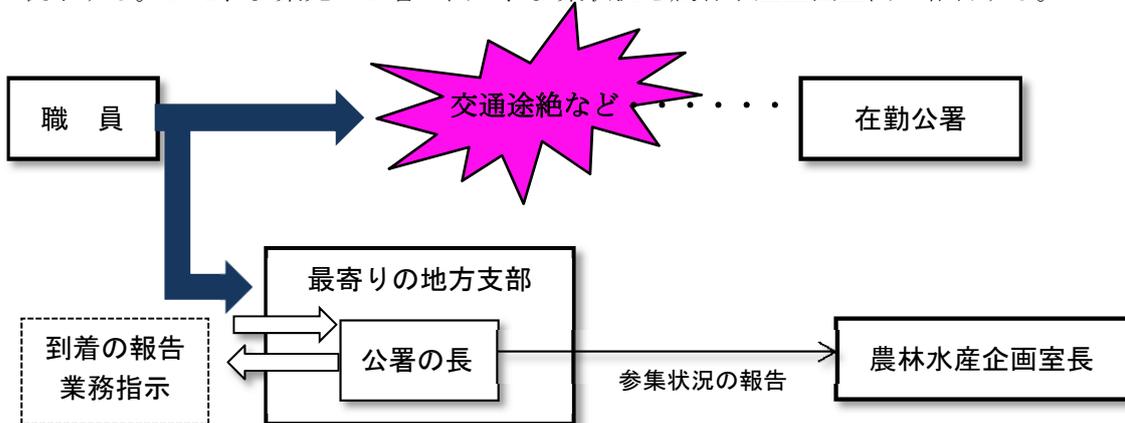
配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外において、配備基準に該当する事態が発生したと認められるときは、配備指令を待たずに、直ちに、在勤公署に参集する。

【自主参集の対象となる災害発生状況と参集職員の範囲は、「Ⅲ 配備体制 1 職員の配備」と同様である。】

2 在勤公署に参集できない場合の対応（県災害対策本部規程第 31 条）

配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外に災害が発生した場合において、交通機関の途絶など、やむを得ない事情により在勤公署に参集できないときは、在勤公署の長に連絡のうえ、最寄りの地方支部に参集することができる。

この場合、参集先の公署の長に到着の報告を行うとともに、その指示に従い、必要な事務に従事する。また、参集先の公署の長は、参集状況を農林水産企画室長に報告する。



3 非常招集事務担当

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び各出先機関の長は、あらかじめ所属職員の中から非常招集事務担当者を指名する。

非常招集事務担当者の職務

- 1 非常招集系統図(配備体制がわかるもの)の作成に関する事。
- 2 災害発生時における職員の出勤状況の把握、職員及びその家族の安否確認に関する事。
- 3 安否不明の職員がある場合、農林水産企画室総務管理担当へその旨報告する事。

V 分掌事務等

災害発生時における本庁各室課、広域振興局農林水産担当部及び各出先機関の分掌事務は、次のとおりとする。

1 本庁各室課

所 属 等	県 災 害 対 策 本 部 規 程 で 定 め る 主 な 担 当 業 務	県 地 域 防 災 計 画 (災 害 応 急 対 策 計 画) で 定 め る 担 当 内 容	そ の 他 の 分 掌 事 務
農 林 水 産 企 画 室	<ol style="list-style-type: none"> 1 部内各課等の統括に関する事。 2 農畜産物、農業施設、農地・農業用施設、林業施設、水産施設、漁港施設等の被害調査及び応急対策の総括に関する事。 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項(岩手県知事部局行政組織規則第12条に規定する農林水産部の分課の分掌事務のことをいう。以下同じ。)に係るものに限る。) 4 災害特別警戒本部の対応に関する事。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集 ・水産関係被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設被害報告 ・農作物等被害報告 ・家畜等被害報告 ・水産関係被害報告 3 広報広聴計画 <ul style="list-style-type: none"> ・所管業務に係る広報資料の収集、作成整理 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集 	
団 体 指 導 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 農業共済に関する事。 2 農業金融、林業金融及び水産金融に関する事。 3 他課等に対する応援に関する事。【保健福祉企画室】 		
流 通 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品の物資の調達及びあっせんに関する事。 2 食料品取り扱い機関との連絡に関する事 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・米穀の調達に係る東北農政局岩手農政事務所に対するあっせん要請 ・農産副食物の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物及びその加工品の調達及びあっせん 	
農 業 振 興	1 経営構造対策事業、山村等		1 農作物気

課	<p>振興対策事業等で整備した施設の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>2 他課等に対する応援に関すること。【商工企画室】</p>		象災害の取りまとめに関すること。
農業普及技術課	<p>1 農作物の被害の技術対策に関すること。</p> <p>2 農業気象に関すること。</p> <p>3 肥料の輸送及びあっせんに関すること。</p> <p>4 病虫害防除用の資機材の調達及びあっせんに関すること。</p> <p>5 病虫害防除に関すること。</p> <p>6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。</p> <p>7 他課等に対する応援に関すること。【市町村課】</p>	<p>1 県、市町村等応援協力計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料及び病虫害防除用資機材の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 <p>2 農林水産物応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 	<p>1 低温・日照不足の異常気象による被害防止対策や関係機関や団体に対する適時適切な情報提供等に関すること。</p>
農村計画課	<p>1 他課等に対する応援に関すること。【経営支援課】</p>		
農村建設課	<p>1 防災ダムの洪水調節及び応急対策に関すること。</p> <p>2 農地・農業用施設、農村生活環境施設並びに農地の保全に係る海岸保全施設及び地すべり防止施設の被害調査及び応急対策に関すること（県土整備部下水環境課の主管に属するものを除く。）。</p>	<p>1 活動体制計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害情報の収集 <p>2 情報の収集・伝達計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害報告 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害報告 <p>3 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（農林水産省農村振興局所管海岸保全施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 <p>4 林野火災応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農業用ダムの流量調整に係る連絡調整 	
農産園芸課	<p>1 農作物の種苗、蚕桑の輸送及びあっせんに関すること。</p> <p>2 農作物の被害に対する応急対策に関すること。</p> <p>3 蚕種及び養蚕の被害に対する応急対策に関すること。</p> <p>4 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。</p> <p>5 他課等に対する応援に関すること。【流通課】</p>	<p>1 市町村等応援協力計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物の種苗及び蚕種に調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 	

畜産課	<ol style="list-style-type: none"> 1 広域農業開発事業により造成された施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 畜産物の被害の応急対策に関すること。 3 家畜、家きん及び家畜飼料の被害の応急対策に関すること。 4 家畜伝染病予防及び家畜防疫対策に関すること。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病被害報告 2 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜飼料の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜対策全般 	
林業振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品の物資の調達及びあっせんに関すること。 2 林産及び特用林産施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 林産物（苗木を除く）の被害調査及び応急多雨策に関すること。 4 国有林関係被害の情報収集に関すること。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害報告 ・林産物（苗木を除く）被害報告 ・国有林関係被害報告 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・木材の調達に係る県木材協同組合連合会に対するあっせん要請 ・木炭の調達に係る県木炭協会及び県木炭移送協同組合に対するあっせん要請 3 応急仮設住宅の建設等及び応急修理計画 <ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅の供与及び被災住宅の応急修理に係る木材の確保 4 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 5 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害情報の収集 ・林産物（苗木を除く）被害情報の収集 	
森林整備課	<ol style="list-style-type: none"> 1 森林火災の予防及び森林火災の発生状況の把握に関すること。 2 林業種苗の調達及びあっせんに関すること。 3 林業道（県有林を除く）及び苗畑施設の被害調査及び応急対策に関すること。 4 国有林及び県有林以外の森林の被害調査及び応急対策に関すること。 5 他課等に対する応援に関すること。【地域福祉課（災害ボランティアに関すること。）】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害報告 ・林産物（苗木）被害報告 ・国有林及び県有林以外の森林被害報告 2 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林業種苗の調達に係る種苗業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・消火資機材の調達及びあっせん ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害情報の収集 ・林産物（苗木）被害情報の収集 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・国有林及び県有林以外の森林被害情報の収集 	
森林保全課	<ol style="list-style-type: none"> 1 治山施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 県有林の被害調査及び応急対策に関すること。 3 林地荒廃の被害調査及び応急対策に関すること。 4 林道施設の被害調査及び応急対策に関すること。 5 他課等に対する応援に関すること【産業経済交流課】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害報告 ・県有林関係被害報告 ・林地荒廃被害報告 ・林道施設関係被害報告 2 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害情報の収集 ・県有林関係被害情報の収集 ・林地荒廃被害情報の報告 ・林道施設被害情報の収集 	
水産振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 水産関係の応急対策に関すること。 2 食料品、生活必需品等の物資の調達及びあっせんに関すること 3 漁船による海上輸送に関すること。 4 漁業災害補償に関すること。 5 海上災害に係る連絡調整及び応急対策に関すること。 6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通確保・輸送計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁船による海上輸送の要請 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産食品の調達に係る県漁業協同組合連合会及び県水産加工業共同組合連合会に対するあっせん要請 ・上記物資の水産庁に対するあっせん要請 3 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産物の調達及びあっせん要請 4 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 5 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁連、漁協との連絡調整 ・港外にいる漁船に対する災害の周知 	
漁港漁村課	<ol style="list-style-type: none"> 1 漁港施設及び漁港区域に係る海岸保全施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 漁場施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 応急対策に係る漁港の利用に関すること。 4 他課等に対する応援に関すること【産業経済交流課】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設等被害情報の収集 ・水産庁所管海岸保全施設被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設被害報告 ・水産庁所管海岸保全施設被害報告 3 廃棄物処理・障害物除去計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港関係障害物の除去 4 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（水産庁所管海岸保全施設、漁港施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 5 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・所管漁港又は港湾に係る保全措置 ・在港船舶に対する災害の周知 ・災害防止のための応急措置 	
競馬改革推進室	<ol style="list-style-type: none"> 1 他課等の応援に関すること。【市町村課】 		
県産米戦略室	<ol style="list-style-type: none"> 1 他課等の応援に関すること。 		

備考 【 】内は「岩手県災害対策本部規程の運用について」（H24.3.30 付け総防第 1213 号県災害対策本部通知）により規定された応援先の室課名であること。

2 広域振興局農林水産担当部等

広域振興局 農政（林）部 林務部 水産部 農林振興センター 農村整備センター 水産振興センター 農村整備室 林務室 林務出張所 家畜保険衛生所 漁業取締事務所 水産技術センター 農業改良普及センター （中央の県域Gを除く。）	1 本庁関係課又は農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	--	--

3 出先機関

病虫害防除所 生物工学研究所 農業研究センター 林業技術センター 内水面水産技術センター 農業大学 中央農業改良普及センター（県域Gに限る。）	1 農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
-------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------	--	--

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、それぞれの業務について、実施マニュアルを作成しておくものとする。

VI 災害情報の収集・伝達及び応急対策

1 災害情報の収集・伝達

災害情報は次の種類別に区分される。

種類	内容	報告様式	伝達手段	伝達者
初期情報報告	被害発生直後にその概要を報告するとともに、災害応急対策の内容とその進捗状況について、逐次、報告するもの	岩手県地域防災計画（様式1）	原則として、電子メール及び県情勢情報ネットワークによるものとし、防災行政無線（電話、FAX）等はバックアップ用として利用するものとする。	市町村本部～地方支部～総合防災室
	災害の規模やその状況が判明するまでの間（災害発生初期）に、種類別に報告するもの	岩手県地域防災計画（様式F及び3、10～16）		市町村本部～地方支部～農林水産部～総合防災室
被害額等報告	被害額等が判明した時に、種類別に報告するもの	同上		市町村本部～地方支部～農林水産部～総合防災室
その他の	前記の報告以外で、必要	任意様式	市町村本部～地方	

報告	な事項について報告するもの			支部～農林水産部 ～総合防災室
----	---------------	--	--	--------------------

※報告様式・・・農林水産部関係を掲載しています。

上記災害報告に関し、当部における具体的な情報伝達経路を次のとおりとする(体系は16頁)。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	報告・伝達	最終報告先
庁舎等被害報告	様式 3	出先機関	農林水産 企画室	関係課に伝 達	農林水産 部長
農業施設被害報告	様式 12	市町村本部			
農作物等被害報告	様式 13	↓ 広域振興局 等(農林水 産担当部) 及び出先機 関			
家畜等関係被害報告	様式 14				
水産関係被害報告	様式 10				
農地農業用施設被害報告	様式 15	農林水産企 画室	農林水産企 画室に報告	農林水産 対策 本部 長(総 合防 災室)	
林業関係被害報告 (林産及び特用林産施 設、林産物、国有林)	様式 16				農村建設課
林業関係被害報告 (作業道(県有林除く)、 苗畑施設、緑資源機構※、 市町村有林、私有林)	様式 16				林業振興課
林業関係被害報告 (林道、治山施設、県有 林、林地荒廢)	様式 16				森林整備課
漁港施設等被害報告	様式 11		森林保全課		
			漁港漁村課		

※ 現・森林農地整備センター

2 応急対策及び指示

- (1) 広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、所管施設等において災害が発生し又は発生するおそれがある場合は、速やかに所要の応急措置を講ずるものとする。
- (2) ただし、相当規模の災害等で、農林水産部長の指示を要すると認める場合にあっては、その指示に基づいて応急対策を講ずるものとする。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	最終報告先
応急対策実施(又は部 長の指示確認)	別紙様式 1	広域振興局農林水 産担当部等及び出 先機関	農林水産企画室又は本 庁関係課(情報伝達と 同様)	農林水産部長

VII 農林水産部災害対策会議

災害対策の連絡調整及び重要事項を協議するため、部内に農林水産部災害対策会議を置き、その構成及び運営については、別途「農林水産部災害対策会議運営要領」で定める。

【会議の概要】

	内 容	備 考
構 成	部長、室長、担当技監、各課総括課長	状況に応じて、部長が指定した者によって開催できる
協議事項	1 災害情報 2 災害に関する予防措置の検討、諸計画の樹立 3 応急対策 4 応急対策に関する部内職員の配置及び応援職員の派遣 5 その他	
招 集	県災害対策本部設置基準に該当する災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合に部長が招集	
庶 務	農林水産企画室総務管理担当者	

【災害に応じた主な構成員】

災害の種類	主 な 構 成 員		
	緊急を要する場合 (警戒配備による招集課長等) ※ここでの課長は、総括課長をいう。	拡大構成員 ※左記に同じ。	その他
震度5強以上の地震	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	状況に応じて、部長が指定した者
津 波	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
台 風	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	
大 雨	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
山 火 事	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長		
火 山 噴 火	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
その他の災害	状況に応じて、部長が指定した者		

※1 本表は、勤務時間外で、概ね災害直後に招集される会議を想定しているものであること。

※2 勤務時間内については、原則全構成員の対応となること。

※3 拡大構成員は、何らかの応急措置を伴う課（V分掌事務参照）の長が対象となること。

Ⅷ その他関係事項

1 各所属等において措置すべき事項

対象者	措置すべき事項	措置する時期	備考
農林水産企画室長	農林水産部非常招集系統図作成	毎年度当初	本庁のみ
農林水産部長	本部連絡員の指名	毎年度当初	本庁のみ
部長 (広域振興局農林水産担当部等の長)	緊急初動要員の指名協議	毎年度当初	本庁及び広域振興局等
本庁各室課の長 広域振興局農林水産担当部等の長 出先機関の長	非常招集系統図(配備体制区分がわかるもの)作成	毎年度当初	本庁は農林水産企画室に提出
同上	各分掌事務に係る実施マニュアル及び職員の事務分担作成	毎年度当初	
同上	非常召集事務担当者の指名	毎年度当初	

農作物等気象災害防止対策本部設置要綱

(設置)

第1 岩手県地域防災計画（災害応急対策計画）に基づき、農作物等気象災害の未然防止及び災害が発生した場合における対策の迅速かつ適切な実施を図るため、農作物等気象災害防止対策本部（以下「本部」という。）を置く。

(所掌事務)

第2 本部は、次に掲げる事項に関し必要な調査及び連絡調整を行う。

- (1) 気象災害に係る情報の収集、広報及び啓発に関すること
- (2) 気象災害による農作物等被害の防止及び回復に関すること
- (3) 気象災害の発生に対処する農業経営安定化対策の推進に関すること
- (4) 関係機関及び関係団体との協調推進に関すること
- (5) その他必要な対策に関すること

(組織)

第3 本部は、本部長、副本部長及び委員をもって組織する。

- 2 本部長は農林水産部長を、副本部長は農林水産企画室長及び農政担当技監をもって充てる。
- 3 委員は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4 本部長は、部務を総理し、会議を主宰する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長があらかじめ定める順序により、その職務を代理する。

(会議)

第5 本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

- 2 災害発生時において、農林水産部災害対策実施マニュアルに基づく農林水産部災害対策会議（以下「対策会議」という。）が設置された場合には、本部協議事項は対策会議において協議する。

(幹事長及び幹事)

第6 本部に幹事長及び幹事を置く。

- 2 幹事長は、農林水産企画室企画課長をもって充てる。
- 3 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 4 幹事長及び幹事は、本部の所掌事務につき委員を助ける。

(地方支部)

第7 広域振興局及び広域振興局農林振興センター（以下、「広域振興局等」という。）の所管区域（別表3に掲げる区域をいう。）ごとに地方支部を置く。

- 2 地方支部の所掌事務及び会議の招集は、本部に準ずるものとする。
- 3 地方支部は、地方支部長、副地方支部長及び委員をもって組織する。
- 4 地方支部長は広域振興局等の農政部長、農林部長又は広域振興局農林振興センター所長をもって充て、副地方支部長は、盛岡広域振興局農政部にあっては農業振興室長、その他の広域振興局等の農政部、農林部及び農林振興センターにあっては農作物等気象災害防止対策の事務を所掌する課長及び所管区域を所掌する農業改良普及センターの所長（花巻地方支部にあっては中央農業改良普及センター副所長）をもって充てる。
- 5 委員は、地方支部長が関係出先機関の職員のうちから指名する者をもって充てる。
- 6 地方支部長及び副地方支部長については、第4の規定中、本部長にあっては地方支部長と、副本部長にあっては副地方支部長とそれぞれ読み替えて準用する。

(庶務)

第8 本部の庶務は、農林水産企画室において処理する。

(補則)

第9 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年8月8日から施行する。

この要綱は、平成18年8月17日から施行する。

この要綱は、平成21年7月28日から施行する。

この要綱は、平成26年3月24日から施行する。

この要綱は、平成27年7月2日から施行する。

別表 1（要綱第 3 関係）

職 名	
農林水産企画室	企画課長
団体指導課	総括課長
流通課	総括課長
農業振興課	総括課長
農業普及技術課	総括課長
農村計画課	総括課長
農村建設課	総括課長
農産園芸課	総括課長
畜産課	総括課長
県産米戦略室	県産米戦略監
中央農業改良普及センター	所長

別表 2（要綱第 6 関係）

職 名	
農林水産企画室	主任主査
団体指導課	金融共済担当課長
流通課	6次産業化推進担当課長
農業振興課	担い手対策課長
農業普及技術課	普及担当課長
農村計画課	団体指導・国営担当課長
農村建設課	水利整備・管理担当課長
農産園芸課	水田農業課長
畜産課	畜政担当課長
県産米戦略室	主任主査
中央農業改良普及センター（県域普及グループ）	普及課長

別表3 (要綱第7関係)

広域振興局等	所管区域
盛岡広域振興局	盛岡市、八幡平市、滝沢市、岩手郡、紫波郡
県南広域振興局	奥州市、胆沢郡
花巻農林振興センター	花巻市、北上市、和賀郡
遠野農林振興センター	遠野市
一関農林振興センター	一関市、西磐井郡
沿岸広域振興局	釜石市、上閉伊郡
宮古農林振興センター	宮古市、下閉伊郡（普代村を除く。）
大船渡農林振興センター	大船渡市、陸前高田市、気仙郡
県北広域振興局	久慈市、下閉伊郡のうち普代村、九戸郡（軽米町及び九戸村を除く。）
二戸農林振興センター	二戸市、九戸郡のうち軽米町及び九戸村、二戸郡

農業共済事業の種類と仕組み

1 制度共済（共済掛金国庫負担金対象）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
農作物共済	水稻 麦	気象災害（冷害・風水害・干害等）、病虫害、鳥獣害、火災 上記事故による減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少（災害による減収分と品質低下分の補償：品質方式・災害収入共済方式）	【当然加入制】 ・水稻 30a以上（盛岡地域、岩手中部、胆江地域） 25a以上（磐井、東南部、宮古地域、岩手北部） ・麦 30a以上（全組合）	【一筆・半相殺・全相殺方式】 共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×基準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める補償割合の中から組合員が選択した割合） 【水稻品質・麦災害収入共済方式】 基準生産金額の6～9割
	りんご ぶどう	【減収総合方式】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害 【特定危険方式】 特定の事故のみの限定方式（暴風雨、降ひょう、凍傷、降霜） 【災害収入共済方式】 減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少 【樹体共済】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害による樹体の枯死、流失、滅失、埋没及び損傷	・栽培面積10a以上（最低加入基準） 【特定危険方式】 ・20a以上の栽培面積で早・中・晩生種ごとに10a以上の栽培面積と栽培経験5年以上	【半相殺・全相殺・樹園地単位方式】 単位当補償金額×標準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める最低割合～最高補償割合の中から組合員が選択した割合） 【災害収入共済方式】 基準生産金額の最低割合（4～6割）～8割 【樹体共済】 共済価格の最低割合（4～6割）～8割
	大豆 そば ホップ	・気象災害（冷害・風水害・干害等） ・病虫害、鳥獣害、火災	・栽培面積5a以上（最低加入基準）	【一筆単位方式】 耕地ごとの基準収穫量の7割×単位当補償金額 【半相殺・全相殺方式】 農家ごとの基準収穫量の（8割：半相殺・9割：全相殺）×単位当補償金額 ----- 【全相殺方式】 農家ごとの基準収穫量の8割×単位当補償金額
蚕繭 （春・初秋・晩秋）	・気象災害（風水害、地震等） ・病虫害、鳥獣害、火災	最低加入基準：蚕種の掃立量；春蚕繭（1箱以上）、初秋蚕繭（0.5箱以上）、晩秋蚕繭（0.5箱以上）	【全相殺方式】 基準収繭量の8割×単位当補償金額（蚕期ごと（小蚕期ごと）に計算）	

※岩手県で引受の対象としているものは次のとおり

- ・特定危険・半相殺方式及び特定危険・樹園地単位方式
- ・減収総合・半相殺方式及び減収総合・樹園地単位方式

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
家畜共済	牛 馬 豚	死亡（胎児の場合、人工授精等の後 240 日以上経過していることが要件）、 廃用（胎児・肉豚を除く）、 病気（胎児・肉豚を除く）、 傷害（胎児・肉豚を除く） 【事故除外】 特定の事故のみ限定	・乳牛の雌等（乳用子牛等、乳用成牛） ・肉用牛等（肥育用子牛・肥育用成牛、その他の肉用子牛等、その他の肉用成牛）（等の中に（人工授精等の後 240 日以上）胎児が含まれる・子牛は出生後 6 か月未満・成牛は出生後 6 か月以上）	・共済金額＝共済価額×付保割合（共済価額：家畜個体評価額の合計額、付保割合：組合共済規程で定める最低割合～8割の間で選択） ・高被害率農家（死産事故多発農家）には、共済金の支払いに一定の限度が設けられるが、火災や自然災害、伝染病による死産事故の場合は限度適用前の共済金額の範囲内で支払われる
園芸施設共済	プラスチックハウス・ガラス室・鉄骨ハウス	・気象災害（風水害、雪害、地震等） ・火災、破裂、爆発 ・航空機の墜落及び接触等 ・車両の衝突等 ・病虫害、鳥獣害	・組合員であり、ハウスを所有し農作物を栽培管理していること ・1a 当たりの再建築価額が 3 万円未満の施設や畜舎、蚕室、タバコ乾燥室など農作物の栽培以外で使用されている施設は除く	・共済金額＝共済価額（施設時価額）×付保割合（付保割合：組合共済規程に定める最低割合～8割の間で選択） ※平成 27 年 2 月より補償拡充（①耐用年数の見直しと補償価格の引上げ、②農家選択による補償の追加、③撤去費用の追加） ※施設内農作物の共済金額＝施設の再建築価額（新築価額）×該当施設内農作物の価額算定率（花き類、果菜類、葉菜類ごとに栽培のために投下した生産費）×付保割合

2 任意共済（共済掛金国庫負担金対象外）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
建物共済	建物 家具類 小農器具	(火災共済) ・火災、落雷、破裂、漏水（除く凍結損害）、車両飛込、落下、盗難に伴う汚損 等 (総合共済) ・火災共済に加え ・風水害、雪害、地震、噴火、津波、その他の自然災害	・所有又は管理している住宅、農作業場、畜舎等 ・上記住宅に收容されている家具、家財 ・農作業場等に收容されている小農器具	(火災事故) ・共済期間＝掛金納入日の午後4時から1年間 ・共済金額＝損害額×（加入金額／再建築価額×加入割合）で算定される額 ※加入割合8割以上：損害共済金＝損害額（加入金額限度） ※加入金額8割未満：加入割合によって支払（風水害事故） ・損害額が再建築価額の5%又は1万円を超えた場合に支払 ・共済金額＝（損害額－1万円）×（加入金額／再建築価額）
農機具共済	農機具	(火災共済) ・火災、落雷、獣害、盗難、衝突 等 (総合共済) ・火災共済に加え ・墜落、転覆、風水害、雪害、クローラの切断、自然災害 (更新共済) ・総合共済に加え ・将来の買替費用の積立	・所有または管理している未使用の状態取得した農機具	・共済金額＝損害額×（加入金額／新品価格）で算定される額 ※損害額1万円以上の事故から対象 ※機械の腐食等の自然消耗等は対象外

漁業共済事業の種類と仕組み

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁獲共済	1号漁業	採貝採藻業のうちわかめこんぶあわび	【収獲高保険方式】 漁獲金額が不漁等により減少した場合の損失補償	【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者全員をまとめて漁協が契約者となる「集団契約」 【漁協自営加入】 対象漁業を営む漁協が契約	【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式 【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式 【支払上限付低事故てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式 【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震若しくは噴火又はこれらによる津波により操業の制限を受け、かつ、責任期間中の漁獲金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式 【地震等比例てん補付約定限度内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式
	2号漁業	漁船漁業 定置漁業		【連合加入】 漁協ごと・漁業区分ごとに漁業者がまとめて加入(個別契約、漁業者集団契約) 【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)	

引受対象	補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
<p style="text-align: center;">特定養殖共済</p>	<p>わかめ こんぶ ほたて貝 かき えぞいしかげ貝 ほや</p> <p>過去5年間の養殖単位の生産金額のうち最高と最低を除く3年平均</p> <p>× 契約年の台数、または幹繩の延長数</p> <p>× 一定割合(養殖種類ごとに一律)</p>	<p>【収穫高保険方式】</p> <p>生産金額が不作等により減少した場合の損失補償</p>	<p>【義務加入】</p> <p>漁協ごと・区域ごとに全員加入</p> <p>【連合加入】</p> <p>漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとまって加入</p> <p>【任意加入】</p> <p>1人からでも加入できる</p>	<p>【全事故比例てん補方式】</p> <p>減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】</p> <p>共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式</p> <p>【支払上限付低事故てん補方式】</p> <p>損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【地震等限定てん補方式】</p> <p>事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震若しくは噴火又はこれらによる津波により操業の制限を受け、かつ、責任期間中の生産金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】</p> <p>通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁業施設共済	漁具 定置網	新調価格 × 引受現存率	【物損保険方式】 漁業に供用中の 漁具・養殖施設 が受けた損害 (戦争、盗難等を 除く)を補償	【漁具】 定置網ごとに加入 【養殖施設】 水域ごと、養殖種類ごと、 個人ごとにすべての施設を 加入	【漁具】 【全損】 全部損害の場合に補償 【各網全損】 定置網を構成する網(垣網、囲い 網、箱網)ごとに全損の場合に補償 【各網分損】 定置網を構成する網(垣網、囲い 網、箱網)ごとに3割以上の損害の 場合に補償 【養殖施設】 【全損契約】 全部損害の場合に補償 【分損特約】 3割以上の損害の場合に補償 【地震等限定低てん補特約】 地震若しくは噴火又はこれらによ る津波が原因で損害が発生した場 合に補償 (地震等限定低てん補特約が付され ていない契約の2分の1を補償)
	はえ縄 いかだ 網いけす				
地域共済	漁船漁業 定置漁業	漁獲共済の 共済限度額 × 10% (漁獲共済 の共済限度 額×10%が 3千万円を 超える場合 は3千万円) または5% (漁獲共済 の共済限度 額×5%が1 千5百万円を 超える場合 は1千5百万 円)	漁船又は定置網 に生じた不慮の 事故によって、 当該漁業の操業 が10日以上制限 され、漁獲金額 が減少した場合 に補償。 また、漁船に生 じた不慮の事故 によって、代船 を借り上げて当 該漁業を操業し た場合に補償。	漁獲共済とのセット加入	【一般損害】 推定減収額の50% (3分の1の填補特約が付されてい る場合は推定減収額の3分の1) 【費用損害】 代船の借上げに最低限必要な経費
	ほたて貝 特定かき ほや の種苗	特定養殖共 済の共済限 度額 × 20% (特定養殖 共済に加入 できない者 は、当該地 域の養殖業 の事情を勘 案して組合 が決める額)	地震若しくは噴 火又はこれら による津波 により養殖 施設に垂下 している種 苗が被災し た場合に補 償(漁業施 設共済で全 損共済金 が支払われ る場合に 限る)	特定養殖共済及び漁業施設 共済とのセット加入	【一般損害】 種苗が被災したことによる損害額 の80% (補償限度額が上限)

- ※1 個別契約
漁業者が直接加入する方式
- 2 漁業者集団契約
漁業者がグループで加入する方式

森林災害復旧造林事業と被害森林整備事業の概要

区分	森林災害復旧造林事業			環境林整備事業（被害森林整備）		
根拠法	激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（激甚災害法）			森林法		
目的	激甚災害を受けた森林の復旧			気象害等の被害を受けた森林の復旧		
対象 災害の 範囲	激甚災害 国民経済に著しい影響を及ぼし、かつ、特別の助成等が特に必要と認められる災害で、政令で指定するもの			火災（山林火災）、気象災（風倒害、雪害等）、 病虫獣害等		
事業を 実施で きる地 域	農林水産大臣が告示する市町村 激甚災害による森林被害額が1,500万円以上で、かつ、要復旧面積が90ha以上の市町村 （激甚災害が暴風雨による場合） 森林被害額が4,500万円以上、かつ、要復旧面積が40ha以上の市町村			① 森林所有者の自助努力等によっては適切な整備が期待できない森林において、人工造林等を実施するため、事業主体が森林所有者等との協定を締結していること ② 1施行地の面積が0.1ha以上		
事業 内容	人工林被害跡地に おける被害木等の 伐採・搬出及び造林	倒伏した造 林木の引き こし	作業路 の開設	被害森林におけ る被害木等の伐 採・搬出及び人工 造林等	倒伏木の引 起こし	森林作業 道の開設 及び改良
事業 主体	都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、 森林組合連合会、任意団体等			都道府県、市町村、森林組合等、特定非営利 活動法人等、森林経営計画策定者（ただし、 事業主体が自ら所有する森林で実施する場合 を除く。）		
補助率	国：1／2、県：1／6			国：3／10、県：1／10 （査定係数 170）		
事業費 査定	あり			なし		

森林保険の制度と仕組み

引受対象	保険支払対象事故	加入方法（保険料）	補償方法
<p>人工林</p> <p>・樹種、林齢、面積等に制限なし。ただし、竹林や天然林は対象外</p>	<p>・火災</p> <p>・気象災害 (風害・水害・雪害・干害・凍害・潮害)</p> <p>・噴火災</p> <p>※地震、病虫獣害は対象外</p>	<p>・契約者が、付保率等を選択し、保険金額を設定</p> <p>・保険料は、設定した保険金額に対して保険料率（保険金額 1,000 円につき年間 1.2 円～4.3 円）を乗じて算出</p>	<p>保険金は、契約保険金額の範囲内で損害に応じて支払</p> <p>【保険金＝損害額×保険金額／保険価額】</p> <p>[保険金支払責任を負わない場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損害が保険契約者等の故意又は重大な過失によって生じたとき ・保険契約者等が損害が生じてから通知をせずに3年経過したとき ・損害が戦争、変乱又は地震によって生じたとき ・保険金の支払額が4,000円未満のとき <p>[支払対象とならない損害]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒木起こし等復旧可能な損害 ・成林に支障のない程度の軽微な損害 ・造林技術上の欠陥又は病虫・獣害等によるものと認められる損害 ・活着不良等により通常生じる枯損による損害

農作物災害対策要綱

(昭和61年4月1日制定)
(平成8年3月25日一部改正)
(平成13年4月1日一部改正)
(平成17年9月6日一部改正)
(平成19年12月11日一部改正)
(平成28年12月2日一部改正)

(趣旨)

第1 この要綱は、暴風雨、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、低温、渇水、降ひょうその他の異常気象による災害（以下「気象災害」という。）による農作物の被害の未然防止並びに軽減、回復及び拡大防止のための対策を促進することにより、農作物の生産確保及び再生産を図り、もって農業経営及び農家生活の安定に資するために必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2 この要綱において、「対策」とは、気象災害による農作物の被害が生じた場合に農業協同組合、農業者が組織する団体等が実施する次に掲げる対策をいう。

- (1) 緊急病虫害防除対策
- (2) 播き直し、改植又は代作
- (3) 生育回復対策
- (4) 前3号に掲げる対策以外の対策で、農業経営の維持に必要なものとして知事が特に認める対策

(被害の把握等)

第3 県は、別に定める農業被害報告要領に基づきとりまとめた農業被害状況を第4に規定する助成の措置を実施する基礎とする。

(助成措置の適用)

第4 県は、原則として、次の各号の全てに該当する場合は、対策に要する経費に対し、助成する措置を講ずるものとする。

- (1) 2以上の市町村における農作物の被害額が1億円以上の場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (2) 被害率が31パーセント以上（第2第2号に掲げる対策を実施する場合にあっては、71パーセント以上）の農作物がある場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (3) 第2各号に掲げる対策を実施することにより、気象災害による農作物の被害の未然防止又は軽減、回復若しくは拡大防止の効果が大きいと認められる場合
- (4) 気象災害の発生（発生が予測される場合を含む。）の都度、別に定める補助金交付要綱等に基づき交付される県の補助金の見込額が、1市町村1作目当たり15万円以上であり、かつ、1市町村における県の補助金の見込額が30万円以上となる場合

(対策の推進体制)

第5 第3に規定する被害の把握については農林水産企画室長が、第4に規定する助成の措置の適用については農産園芸課総括課長が所管する。

農作物災害復旧対策事業の実施状況（県単 昭和61年～平成30年被害（農作物被害額1億円以上））

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
S61	8月4日～5日	台風10号	3,272.8	500,232	水稲	病害虫防除	1,272.6	8,336	2,775	一関市等6市町村	
					大豆	代作	10.2	2,881	959	一関市等3市町村	
					野菜	代作	3.9	1,175	391	川崎村	
						生育回復	4.9	92	30	川崎村	
						小計	8.8	1,267	421	7市町村	
	桑	生育回復	60.3	2,603	865	北上市等5市町村					
計		1,351.9	15,087	5,020	7市町村						
9月7日	降雹	112.5	100,740	果樹	病害虫防除	78.0	3,779	1,259	大東町		
年度計							1,429.9	18,866	6,279		
S62	5月6日	凍霜害	4,640.0	1,201,346	果樹	病害虫防除	551.9	14,798	4,851	盛岡市等14市町村	
						生育回復	121.7	27,193	9,058	松尾村等9市町村	
						小計	673.6	41,991	13,909	14市町村	
					野菜	改植	10.0	2,961	986	滝沢村	
						生育回復	232.2	5,445	1,792	葛巻町等15市町村	
	桑	生育回復	1,547.1	5,828	1,902	大迫町等10市町村					
	計		2,462.9	56,225	18,589	25市町村					
	8月16日～18日	大雨洪水	3,670.5	678,589	水稲	病害虫防除	1,424.5	11,924	3,973	一関市等5市町村	
						病害虫防除	2.1	11	3	藤沢町	
					豆類	代作	2.8	596	198	藤沢町、川崎村	
	8月29日	大雨洪水	970.4	236,652	野菜	代作	39.6	8,394	2,794	岩手町、一関市、平泉町	
						生育回復	5.5	59	19	川崎村	
					小計	45.1	8,453	2,813	4市町村		
桑	生育回復	84.1	4,457	1,483	北上市等5市町村						
計		1,558.6	25,441	8,470	7市町村						
9月22日	降雹	10,582.1	1,479,501	果樹	病害虫防除	139.0	4,355	1,440	紫波町等4市町村		
				野菜	代作	3.2	689	224	紫波町		
				計		142.2	5,044	1,664	4市町村		
年度計							4,163.7	86,710	28,723		
S63	6月18日	降雹	221.0	110,806	野菜	病害虫防除	2.8	29	9	安代町	
						改植	5.0	672	224	安代町	
					小計	7.8	701	233			
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609	果樹	病害虫防除	31.0	1,126	374	二戸市	
						計	38.8	1,827	607	2市町	
					水稲	病害虫防除	435.9	2,812	935	胆沢町等5市町村	
						病害虫防除	100.4	839	278	金ヶ崎町等4市町村	
					大豆	代作	10.0	1,640	546	金ヶ崎町	
					小計		110.4	2,479	824	4市町村	
					野菜	病害虫防除	114.2	4,643	1,529	紫波町等5市町村	
代作	34.8	8,040	2,636	岩手町等5市町村							
小計		149.0	12,683	4,165	6市町村						
桑	生育回復	52.0	2,398	798	川崎村、北上市						
計		747.3	20,372	6,722	11市町村						
夏期	低温・日照不足	95,026.0	30,127,805	別途対策事業を実施							
年度計							786.1	22,199	7,329		
H元	6月10日～11日	降霜	2,770.8	240,701	大豆	播き直し	64.0	1,814	604	軽米町、九戸村	
					小豆	播き直し	6.4	156	52	軽米町、九戸村	
					野菜	播き直し	54.2	8,344	2,764	二戸市等3市町村	
					果樹	生育回復	9.0	177	59	軽米町	
					とうもろこし	播き直し	99.7	4,832	1,609	岩泉町等6市町村	
	計		233.3	15,323	5,088	6市町村					
7～8月	少雨	1,799.4	309,224	水稲	病害虫防除	110.2	2,622	873	紫波町		
8月下旬～9月下旬	長雨	714.8	401,839	野菜	病害虫防除	61団地	23,079	7,617	紫波町等4市町村		
					計	110.2	25,701	8,490	4市町村		
計		185.5	4,923	1,623	岩手町等4市町村						
年度計							529.0	45,947	15,201		
H2	7月24日	降雹	351.8	276,326	レタス	病害虫防除	80.7	2,553	850	川井村、一戸町	
						代作	13.3	4,112	1,369	川井村、一戸町	
					小計	94.0	6,665	2,219	2町村		
	キャベツ	病害虫防除	10.0	161	53	一戸町					
		計	104.0	6,826	2,272	2町村					
	8月26日	降雹	810.9	277,266	りんご	病害虫防除	57.0	2,056	684	東和町、北上市	
	9月19日～20日	台風19号	4,489.2	671,624	だいこん	病害虫防除	2.0	23	7	紫波町	
						代作	8.0	1,031	343	紫波町	
					小計	10.0	1,054	350			
					ねぎ	病害虫防除	2.0	17	5	花巻市	
						代作	2.0	258	85	花巻市	
					小計	4.0	275	90			
					ほうれんそう	播き直し	4.9	631	210	遠野市、宮守村	
					ブロッコリー	病害虫防除	4.0	28	9	花巻市	
						代作	4.0	515	171	花巻市	
						小計	8.0	543	180		
	レタス	代作	3.0	386	128	遠野市					
ごぼう	代作	2.0	258	85	花巻市						
わさび	植え直し	0.3	2,039	679	宮守村						
計		32.2	5,186	1,722	4市町村						
年度計							193.2	14,068	4,678		

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況									
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考				
H3	8月30日～31日	台風14号	357.3	104,153	りんどう	改植	0.8	2,080	665	安代町				
	9月27日～28日	台風19号	5,875.2	2,418,472	ほうれんそう	播き直し	67.6	9,118	3,013	岩手町等7市町村				
					りんご	病害虫防除	842.7	31,930	10,575	盛岡市等15市町村				
						改植	3,300本	3,400	1,131	盛岡市等5市町村				
					小計	842.7	35,330	11,706	15市町村					
	夏期	長雨・日照不足・低温	100,360.6	25,761,883	別途対策事業を実施									
年度計							911.1	46,528	15,384					
H4	6月14日	降雹	445.7	144,624	りんご	病害虫防除	30.0	534	178	盛岡市				
年度計							30.0	534	178					
H5	7月28日～29日	大雨洪水	311.5	112,727	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
	夏期	異常低温・日照不足	141,252.0	102,690,977	別途対策事業を実施									
H6	6月17日	降雹	112.8	105,419	レタス	病害虫防除	24.8	521	173	岩手町、一戸町				
						改植・代作	11.6	4,593	1,531	岩手町、一戸町				
						計	36.4	5,114	1,704	2町				
	7月～8月	高温乾燥・少雨	49,533.0	4,372,730	レタス	改植・代作	27.8	14,695	4,894	岩手町、遠野市、一戸町				
					だいこん	改植・代作	10.0	1,249	416	岩手町				
					キャベツ	改植・代作	5.0	1,874	624	一戸町				
					はくさい	改植・代作	2.0	626	208	一戸町				
さといも					改植・代作	23.0	14,924	4,974	北上市					
				牧草	改植・代作	20.0	694	197	金ヶ崎町					
					計	87.8	34,062	11,313	5市町村					
	9月30日	台風26号	2,824.4	155,193	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
年度計							124.2	39,176	13,017					
H7	8月2日～7日	大雨洪水	2,784.9	1,338,377	水稻	病害虫防除	1,295.0	15,214	5,056	一関市等4市町村				
	11月7日～9日	暴風雪	1,010.0	293,169	りんご	病害虫防除	23.0	464	154	大東町				
						改植	7.3	6,825	2,272	盛岡市、紫波町、石鳥谷町				
										小計	30.3	7,289	2,426	4市町村
					ぶどう	改植	23.0	8,580	2,764	紫波町、石鳥谷町、大迫町				
						ぶどう棚復旧	37.1	53,069	17,688	紫波町、石鳥谷町、大迫町				
					小計	60.1	61,649	20,452	3市町村					
					計	90.4	68,938	22,878	5市町村					
年度計							1,385.4	84,152	27,934					
H10	5月11日	凍霜害	158.7	142,760	ぶどう	薬剤散布	51.5	3,491	1,163	紫波町、大迫町				
						雨よけ被覆	6.9	30,101	10,033	紫波町、大迫町				
						改植	1,949本	3,306	1,102	紫波町、大迫町				
						計	58.4	36,898	12,298	2町				
8月26日～9月1日	大雨洪水	2,821.7	1,261,302	水稻	病害虫防除	1,719.8	17,048	5,679						
9月15日～16日	台風5号	850.5	235,454	りんご	病害虫防除	42.6	2,057	685	藤沢町、田野畑村					
					引き起こし	4.6	2,725	908	藤沢町、田野畑村					
					計	47.2	4,782	1,593	2町村					
年度計							1,825.4	58,728	19,570					
H11	7月12日～14日	大雨	705.0	115,411	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
	7月下旬～8月中旬	高温乾燥	5,988.1	552,407	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
	10月27日～28日	大雨	920.5	217,022	りんどう	改植	0.6	4,365	1,455	軽米町、九戸村				
					スプレーギク	改植	0.1	601	200	九戸村				
					計	0.7	4,966	1,655	2町村					
年度計							0.7	4,966	1,655					
H12	7月4日	降雹	180.1	100,900	葉たばこ	代作	1.5	1,898	632	宮守村				
	7月8日～9日	台風3号	3,061.8	545,492	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
年度計							1.5	1,898	632					
H13	4月下旬	凍霜害	1,959.7	1,883,809	キャベツ	改植	8.8	3,129	1,042	岩手町、西根町				
						病害虫防除	613.2	43,202	14,388	二戸市等13市町村				
					りんご	代作	0.9	1,164	387	二戸市				
						花粉購入	7.8	157	51	滝沢村、江刺市、軽米町				
						小計	621.9	44,523	14,826	13市町村				
					おうとう	病害虫防除	9.2	1,304	434	二戸市、一戸町				
				西洋なし	病害虫防除	57.5	4,517	1,503	紫波町等4市町村					
					計	697.4	53,473	17,805	14市町村					
	8月30日～31日	大雨洪水	1,615.6	173,156	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
年度計							697.4	53,473	17,805					
H14	7月10日～11日	台風6号	7,274.9	1,381,338	きゅうり	緊急薬剤散布	1.03	19	6	北上市				
						播き直し	0.07	134	45	北上市				
					ごぼう	代作(キャベツ)	0.6	450	150	北上市				
						代作(キャベツ)	0.87	648	216	北上市				
									水稻	緊急薬剤散布	314.7	4,160	1,385	川崎村、藤沢町、東山町
						計	317.27	5,411	1,802					
	8月	長雨・日照不足	1,467.5	686,136	レタス	緊急薬剤散布	164.0	9,871	3,290	一戸町、岩手町				
キャベツ					緊急薬剤散布	33.0	791	263	一戸町、岩手町					
だいこん					緊急薬剤散布	28.18	1,285	428	川井村					
					計	225.18	11,947	3,981						
年度計							542.45	17,358	5,783					
H15	6月下旬以降	低温・日照不足	95,685.6	32,906,921	水稻	緊急薬剤散布	1,889.4	10,889	3,625	滝沢村等6市町村				
						代作	10.9	7,928	2,637	雫石町等6市町村				
						計	1,900.3	18,817	6,262					
年度計							1,900.3	18,817	6,262					

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H16	4月下旬～5月上旬	凍霜害	532.6	115,327	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月20日	台風15号	1,758.8	392,461	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月31日	台風16号	1,042.4	209,739	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月30日	台風21号	522.7	100,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月～11月	降雨による品質低下	3,018.6	363,914	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H17	4月以降	豪雪	970.0	562,000	水稲	生育回復	6.5	1,391	463	沢内村	
					りんどう	生育回復	17.5	826	275	沢内村	
	年度計							24.0	2,217	738	
H18	6月22日	降雹	68.7	192,883	りんご	緊急薬剤散布	35.0	3,282	1,094	北上市、奥州市(江刺区)	
						生育回復対策	35.0	388	129	北上市、奥州市(江刺区)	
	計							70.0	3,670	1,223	
H18	10月6～8日	大雨暴風	1,402.9	264,620	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	年度計							70.0	3,670	1,223	
H19	6月6～8日	降雹	108.7	127,976	りんご	緊急薬剤散布	29.3	584	194	二戸市	
						生育回復対策	29.3	269	89	二戸市	
					おうとう	緊急薬剤散布	2.5	363	121	二戸市	
						生育回復対策	2.5	103	34	二戸市	
	計							63.6	1,319	438	
H19	9月17～20日	大雨・洪水	2,975.0	620,553	りんどう	改植	1.0	3,601	1,200	八幡平市、奥州市衣川区	
					大豆	代作	76.8	8,263	2,750	一関市、平泉町	
					飼料用稲	代替粗飼料確保	28.2	8,958	2,984	一関市、平泉町	
					計						
年度計							169.6	22,141	7,372		
H20	4～5月	低温	186.1	110,481	りんご	緊急薬剤散布	20.5	857	285	軽米町	
						生育回復対策	20.5	1,405	468	軽米町	
					加工もも	生育回復対策	16.5	986	329	軽米町	
計							57.5	3,248	1,082		
年度計							57.5	3,248	1,082		
H21	7月10日、13日	強風	134.2	113,632	ホップ	緊急薬剤散布	30.0	1,003	334	遠野市	
						生育回復対策	30.0	456	152	遠野市	
	計							60.0	1,459	486	
H21	10月8日	台風18号	1,114.33	387,157	りんご	改植	0.279	1,494	498	江刺市	
						緊急薬剤散布	29.79	669	223	江刺市	
計							30.069	2,163	721		
年度計							90.069	3,622	1,207		
H22	7月8日、17～25日	降雹・大雨	273.0	197,391	キャベツ	緊急薬剤散布	5.85	289	96	岩手町	
						まき直し	6.00	2,038	679	岩手町	
						改植	4.00	2,335	778	岩手町	
	代作(大根)	4.47	1,014	337		岩手町					
H22	7月から8月	暑熱	630.9	498,018	ほうれんそう	まき直し	15.80	2,921	950	岩手町	
						計					
年度計							43.01	10,160	3,360		
H23	9月21～22日	台風15号	2,174.0	417,985	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H24	6月4日、6日	降雹	60.0	150,454	りんご	緊急薬剤散布	50.0	1,713	571	一関市	
						生育回復対策	45.5	701	234	一関市	
計							95.5	2,414	805		
年度計							95.5	2,414	805		
H25	6月8日～8月9日	大雨・洪水	2,589.9	723,914	果菜・葉菜	播き直し等	25.4	8,274	2,758	盛岡市他3町	
						花き	播き直し等	3.6	13,621	4,540	雫石町他2町
						菌茸	菌床の更新	90.1	1,174	391	雫石町
						畜産	代替粗飼料の購入	40.6	12,786	4,262	雫石町他2町
						計					
年度計							159.8	35,855	14,765		
H27	10月1日～2日	大雨・暴風	227.3	123,923	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H28	8月30日～31日	台風10号	981.0	577,670	ほうれんそう	播き直し	1.1	968	317	洋野町	
						畑わさび	播き直し	16.0	2,395	798	岩泉町
						畜産	代替粗飼料の購入	27.3	19,367	6,444	久慈市他3市町
						計					
年度計							44.4	22,730	7,559		

1億円以上の被害額となった災害：60災害（S61～H30） ※平成8、9、26、30年には1億円以上の被害額となった災害は発生していない。
うち農作物災害復旧対策事業を実施した災害：43災害

平成元年以降の農林水産業気象災害

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
元	1月24日～27日にかけての波浪災害													37,430	37,430	37,430
	2月26日大雪災害		4,395		4,395						15,300				15,300	19,695
	3月21日～22日にかけての波浪災害									200	8,180	12,355	390,918	26,888	438,541	438,541
	4月8日～9日及び11日～12日にかけての大雨等災害	1,001	129	265,000	266,130	104,484			104,484							370,614
	5月14日～15日にかけての強風災害	650			650											650
	5月15日の降雪災害	9,110			9,110											9,110
	6月3日の降雪災害	3,434			3,434											3,434
	6月10日～11日にかけての降雪災害	240,701			240,701											240,701
	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709			468,709											468,709
	8月15日～16日にかけての台風14号による波浪災害										11,250				11,250	11,250
	8月27日～28日にかけての台風17号による大雨洪水等災害	56,414	7,172	607,000	670,586	19,498			19,498		2,630		800		3,430	693,514
	8月下旬～9月下旬にかけての長雨による被害	401,839			401,839	80,000			80,000							481,839
	9月4日～5日にかけての大雨災害					3,883			3,883							3,883
	9月5日～8日にかけての大雨洪水等災害	26,013		665,000	691,013	50,000			50,000							741,013
	9月9日～10日にかけての大雨洪水災害			41,000	41,000	1,379			1,379							42,379
11月2日の地震、波浪災害			131,000	131,000						1,300	40	3,175		4,515	135,515	
12月15日～16日にかけての波浪災害										1,730				1,730	1,730	
2	4月8日～9日にかけての強風災害		8,559		8,559											8,559
	4月15日～16日にかけての降雪災害	278	5,647		5,925											5,925
	4月22日～23日にかけての大雨洪水災害	5,194		587,000	592,194	108,404			108,404				300		300	700,898
	5月25日の凍霜災害	80,209			80,209											80,209
	6月21日～22日にかけての豪雨災害			20,000	20,000											20,000
	6月26日～28日にかけての豪雨災害	2,145		263,000	265,145											265,145
	7月4日～5日にかけての豪雨災害			21,000	21,000											21,000
	7月17日～19日にかけての大雨洪水災害	23,117		312,000	335,117	30,157		1,799	31,956							367,073
	7月24日の降雪等災害	276,326	550	18,000	294,876											294,876
	7月25日～26日にかけての豪雨災害			59,000	59,000											59,000
	8月10日～11日にかけての台風11号による大雨等災害	14,003	3,119	111,000	128,122	18,186			18,186	18,820					18,820	165,128
	8月16日～18日にかけての豪雨災害			327,000	327,000											327,000
	8月26日の降雪等災害	277,266	5,812		283,078											283,078
	9月3日の豪雨災害			39,000	39,000											39,000
	9月11日～12日にかけての豪雨災害			121,000	121,000											121,000
	9月19日～20日にかけての台風19号による大雨等災害	671,624	1,568	2,930,000	3,603,192	400,461		100,320	500,781	22,080	65,428	8,400	13,095		109,003	4,212,976
	10月24日の波浪災害									3,080	146,031	3,300	7,320		159,731	159,731
10月26日～27日にかけての大雨等災害	20,209		905,000	925,209	295,380		26,402	321,782							1,246,991	
11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	99,507	13,332	3,747,000	3,859,839	1,794,597	6,172	381,635	2,182,404	10,518	134,530	43,174	187,116	720,267	1,095,605	7,137,848	
11月11日～12日にかけての強風災害	13,994			13,994											13,994	
11月30日～12月1日にかけての台風28号から変わった温帯低気圧による大雨等災害		4,404	3,000	7,404					3,820	31,940	18,435	84,744		138,939	146,343	
3	1月19日の波浪災害										2,600				2,600	2,600
	2月15日～17日にかけての低気圧災害	24,089	48,692	10,000	82,781			2,954,892	2,954,892	483,419	391,886	554,518	3,586,701	2,781,730	7,798,254	10,835,927
	2月28日～3月1日にかけての強風災害	8,437	21,105		29,542											29,542
	3月6日～7日にかけての強風災害		1,690		1,690											1,690

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
23	9月4日の台風12号による災害		100		100											100
	9月21日から22日にかけての台風15号による災害	429,985	19,527	1,278,000	1,727,512	318,994	2,300	663,962	985,256	10,281	175,630		15,315	12,700	213,926	2,926,694
	12月3日から4日にかけての強風・波浪災害	831	29,858		30,689						500				500	31,189
24	1月29日の波浪災害										3,950			391,010	394,960	394,960
	3月12日の大雪災害	24	25,039		25,063											25,063
	4月3日から4日の暴風・波浪災害	1,672	279,838		281,510	17,946	1,360	859	20,165	3,400	14,150	35,734	50,880	1,197	105,361	407,036
	5月3日から4日の大雨災害	477	30	132,000	132,507	206,060		70,650	276,710		1,102	37,937	234,480	4,900	278,419	687,636
	5月6日の降雹災害	4,329	131		4,460											4,460
	5月11日から12日の波浪災害										1,000				1,000	1,000
	5月28日の降雹災害	2,102			2,102											2,102
	6月4日の降雹災害	144,684		9,000	153,684											153,684
	6月6日の降雹災害	5,770			5,770											5,770
	6月7日の波浪災害										2,200				2,200	2,200
	6月20日の台風4号災害	4,932	340		5,272						600				600	5,872
	7月16日の大雨災害			15,000	15,000											15,000
	9月4日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	9月25日の降雹災害	15,272			15,272											15,272
	7月から9月の暑熱・少雨災害	102,808			102,808											102,808
	10月1日の台風17号災害	1,668	120	15,000	16,788	64,000		18	64,018		1,130				1,130	81,936
11月26日から27日の強風災害	5,024	2,987		8,011											8,011	
12月4日の大雨・降雹・波浪災害	788	50		838			40,000	40,000		1,000				1,000	41,838	
25	1月25日から26日の大雪災害		1,500		1,500											1,500
	3月2日の暴風雪災害		1,786		1,786											1,786
	3月10日の暴風雪災害		20,959		20,959											20,959
	4月6日から8日の暴風雨災害	53	18,444		18,497	17,900			17,900	10,420	17,730	8,100	77,802	93,880	207,932	244,329
	5月8日の低温被害	925			925											925
	6月7日の降雹被害	499			499											499
	6月14日の少雨高温被害	28,924			28,924											28,924
	6月25日の降雹災害	20,286			20,286											20,286
	7月15日の大雨災害	25,170		42,000	67,170											67,170
	7月26日から28日の大雨・洪水災害	108,705	6,480	1,969,000	2,084,185	297,118	2,126	486,617	785,861		150			3,500	3,650	2,873,696
	8月9日の大雨洪水災害	597,212	12,642	5,298,000	5,907,854	763,328	2,600	2,273,533	3,039,461							8,947,315
	9月16日の台風18号災害	337,329	119,808	2,785,000	3,242,137	184,350		253,916	438,266	40,100	2,130	100	17,450	100	59,880	3,740,283
	10月16日の台風26号災害	309,785	71,840	48,000	429,625	12,821			12,821	15,940	506,727	7,334	125,312	826,630	1,481,943	1,924,389
10月26日から27日の大雨災害													350	350	350	
11月7日の強風災害	4,326	200		4,526											4,526	
12月15日の強風災害		100		100											100	
12月20日から21日の暴風雪災害										19,370	1,570		500	21,440	21,440	
26	2月9日の大雪・波浪災害	3,181	166,223		169,404											169,404
	2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害	5,316	1,425,105		1,430,421	29,743		8,592	38,335	840	2,310	6,201	265,051	180,300	454,702	1,923,458
	3月20日から21日の大雪・暴風雪・波浪災害	442	101,037		101,479			5,564	5,564		10,981				10,981	118,024
	3月30日の暴風雪災害		120		120						600	310	1,490		2,400	2,520

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
26	4月3日チリ地震により発生した津波災害												7,000		7,000	7,000
	4月20日の降雹災害	10,379			10,379											10,379
	5月29日の降雹災害	11,713			11,713											11,713
	6月16日の降雹災害	7,158			7,158											7,158
	7月11日の台風8号大雨災害			5,000	5,000											5,000
	8月8日の大雨災害	52			52											52
	8月10日から11日の台風11号大雨災害	48,153	2,670	13,000	63,823	1,200			1,200		1,501				1,501	66,524
	8月15日の大雨災害	137		20,000	20,137			23,000	23,000							43,137
	8月22日の大雨・降雹災害	404	120	1,000	1,524											1,524
	9月12日の降雹災害	18,230	4,000		22,230											22,230
	10月6日の台風18号災害										1,000	50	1,705		2,755	2,755
	10月14日の台風19号災害	84,406	3,688	5,000	93,094	4,000		4,000	8,000		300	398	13,754		14,452	115,546
	10月17日の強風災害	48,569	1,347		49,916											49,916
	11月2日から3日の強風災害	6,385	20		6,405											6,405
12月3日の降雪災害		25,993		25,993											25,993	
12月17日の暴風雪災害		2,620		2,620						2,046				2,046	4,666	
27	1月7日の暴風雪災害		3,372		3,372										1,000	4,372
	2月13日の暴風雪災害	574	19,550		20,124											20,124
	3月9日から11日の大雨暴風雪災害	22	9,436	23,000	32,458	7,300			7,300		1,686			1,600	3,286	43,044
	5月13日の地震災害		500	9,000	9,500	1,400			1,400							10,900
	5月14日、17日の強風災害		342		342											342
	6月4日の強風災害	807			807											807
	6月6日の降雹災害	18,672			18,672											18,672
	6月14日の降雹災害	43,899			43,899											43,899
	6月16日の大雨・降雹災害	43,717		10,000	53,717											53,717
	6月20日の落雷災害			10,000	10,000											10,000
	6月27日から28日の大雨・波浪災害			2,000	2,000	31,500			31,500				46,300		46,300	79,800
	7月25日の大雨災害	2,889		24,000	26,889											26,889
	9月10日から11日の大雨災害	12,276	300	314,000	326,576	68,650		106,000	174,650	268	1,000				1,268	502,494
	9月18日の大雨災害	95			95											95
	4月～9月の暑熱災害	48,050			48,050											48,050
	10月1日から2日の大雨災害	123,923	4,024		127,947											127,947
	10月8日の台風23号災害	36,446	7,157		43,603					28,161	1,650	1,800	54,462	786,430	872,503	916,106
11月27日の強風災害		160		160											160	
11月の暑熱災害	690			690											690	
28	1月18日から21日の暴風雪・波浪災害	2,847	124,305		127,152			66,118	66,118	22,915	41,965	34,192	579,562	5,538,647	6,217,281	6,410,551
	2月14日の強風災害	129	2,018		2,147											2,147
	4月17日の強風災害	41	108,245		108,286	342			342		4,300				4,300	112,928
	5月4日から5日及び8日の強風災害		7,874		7,874											7,874
	6月20日の落雷・波浪災害、竜巻災害	1	10		11							12			12	23
	7月3日の強風災害	453			453											453
	8月2日から3日の大雨災害	391		16,000	16,391											16,391
	8月9日の台風5号災害									100	2,250	1,100	30,890	18,040	52,380	52,380

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
28	8月17日の台風第7号災害	6,071	560	161,000	167,631	32,500			32,500		100			34,415	34,515	234,646
	8月19日の大雨災害			2,000	2,000											2,000
	8月21日の台風第11号及び8月22日から23日の台風第9号災害	13,111	33,548	40,000	86,659	1,600			1,600					29,950	29,950	118,209
	8月26日の大雨災害			79,000	79,000	4,000			4,000							83,000
	8月30日の台風第10号災害	651,803	4,968,491	8,630,000	14,250,294	9,265,880	211,933	1,988,107	11,465,920	2,172,008	1,148,270	82,376	426,733	4,009,855	7,839,242	33,555,456
	9月8日から9日の大雨災害			12,000	12,000											12,000
	10月20日から21日の強風災害	12,542	1,151		13,693											13,693
	11月22日の津波災害										4,775	321			5,096	5,096
	11月25日の低温災害	1,609			1,609											1,609
	12月2日の強風災害		2,775		2,775					18,260	2,657				20,917	23,692